

平成26年度
学習状況調査

調査結果報告書

平成27年2月
秋田県教育委員会

ま え が き

県教育委員会では、平成26年12月に、小学校第4学年から中学校第2学年までの全ての児童生徒を対象として秋田県学習状況調査を実施いたしました。この調査は、学習指導要領の内容等の定着の程度を把握し、本県が進める少人数学習の成果や課題を捉え、学習指導の工夫・改善を図るとともに、全国学力・学習状況調査及び本調査、高校入試を活用した学習指導における検証改善サイクルを確立し、児童生徒の学力向上に資することをねらいとして実施しているものです。

この調査では、小学校第4学年が国語、算数、理科の3教科及び学習の意欲等に関する質問紙調査、小学校第5学年、第6学年が国語、社会、算数、理科の4教科及び学習の意欲等に関する質問紙調査、中学校第1学年、第2学年が国語、社会、数学、理科、英語の5教科及び学習の意欲等に関する質問紙調査を実施いたしました。内容等の特色として、教科の調査においては、全国学力・学習状況調査B問題の出題趣旨を踏まえた問題を、国語と算数・数学のみならず全ての教科で出題するとともに、県の課題の改善状況を明らかにするために複数学年にわたる共通問題も出題しております。また、本県で重視している“「問い」を発する子ども”の育成に関して、その基盤づくりに資する問題や、高校入試と関連した問題も出題いたしました。学習の意欲等に関する質問紙調査においては、児童生徒の各教科等の学習に対する意識をより明確に捉えることができるよう、選択肢の内容を見直し、学習指導の一層の改善に役立てることができるようにいたしました。

さて、「平成26年度学校改善支援プラン」（秋田県検証改善委員会）にも取り上げられているように、本県では、児童生徒が主体的に学習に取り組み、考え、表現しながら「分かる」「できる」を実感することができるよう、探究型の授業づくりが推進されております。このことは、各学校が、諸調査等の結果を、日々の授業の工夫改善に生かしてきた成果と捉えております。

このたび、平成26年度の学習状況調査結果について、学習状況調査集計・分析システムによる各種データに基づいた全県的な状況や、各教科ごとの授業改善に向けた提言等を本報告書にまとめました。

各学校においては、自校の授業改善の取組状況を調査結果と関連付けて捉えるなど、本報告書及び調査問題を積極的に活用し、学年・教科を超え学校全体で、児童生徒の一層の学力向上に役立てていただくことを期待しております。

終わりに、本調査の実施に御協力いただいた県内全ての市町村教育委員会、各小・中学校に深く感謝の意を表します。

平成27年2月

秋田県教育委員会

目 次

1	調査の概要	1
2	調査の特徴、用語等	2
3	調査結果の概要	3
(1)	ペーパーテストの結果	
①	設定通過率との比較	3
②	各教科の観点別の設定通過率との比較	4
③	類似問題との比較	5
④	各教科ごとの小問別通過率と設定通過率の比較	6
(2)	学習の意欲等に関する質問紙調査結果	
①	学習全般についての結果概要	11
②	教科等の好き嫌いについての結果概要	11
③	学習全般について	12
④	生活全般について	14
⑤	家庭学習について	18
⑥	授業について	19
⑦	教科の好き嫌いについて	21
⑧	読書について	30
4	結果と考察	31
本章は、各学年とも、「評価規準と評価の観点」「小問別通過率と設定通過率」「小問別反応率、小問別通過率度数分布表」「調査結果の考察」で構成されています。		
(1)	国語	
・	小学校第4学年	31
・	小学校第5学年	35
・	小学校第6学年	39
・	中学校第1学年	43
・	中学校第2学年	47
(2)	社会	
・	小学校第5学年	51
・	小学校第6学年	55
・	中学校第1学年	59
・	中学校第2学年	63
(3)	算数、数学	
・	小学校第4学年	67
・	小学校第5学年	71
・	小学校第6学年	75
・	中学校第1学年	79
・	中学校第2学年	83
(4)	理科	
・	小学校第4学年	87
・	小学校第5学年	91
・	小学校第6学年	95
・	中学校第1学年	99
・	中学校第2学年	103
(5)	英語	
・	中学校第1学年	107
・	中学校第2学年	111
5	平均通過率の度数分布グラフ	115

1 調査の概要

(1) 学習状況調査実施の趣旨

学習指導要領の内容の定着度等を把握し、本県が進める少人数学習の成果や課題を捉え、学習指導の工夫改善を図るとともに、全国学力・学習状況調査及び本調査、高校入試を活用して、学習指導における検証改善サイクルを確立し、児童生徒の学力向上に資する。

(2) 調査対象学年、実施教科等、調査参加児童生徒数

校種・学年 実施教科等	小 学 校 (人)			中 学 校 (人)	
	第 4 学年	第 5 学年	第 6 学年	第 1 学年	第 2 学年
国 語	7 7 4 6	7 8 4 0	8 0 8 7	8 1 4 7	8 2 8 0
社 会		7 8 4 0	8 0 8 8	8 2 9 7	8 2 8 1
算数・数学	7 7 4 7	7 8 4 0	8 0 8 7	8 2 9 3	8 2 8 2
理 科	7 7 4 7	7 8 4 1	8 0 8 7	8 2 9 5	8 2 7 4
英 語				8 2 9 8	8 2 7 6
学習の意欲等に関する アンケート	7 7 5 1	7 8 4 4	8 0 8 6	8 3 1 7	8 3 0 7
参 加 者	7 7 5 1	7 8 4 4	8 0 8 8	8 3 1 7	8 3 0 7
小・中ごとの参加者計	2 3 6 8 3			1 6 6 2 4	
参加者合計	4 0 3 0 7				

(3) 出題内容

① 基本的な考え方

学習指導要領で求められている資質や能力の定着度、指導上の問題点を明らかにするとともに、学習指導の工夫改善に資することができるよう、「ペーパーテストで調査を行うことが適当な内容・項目」について出題する。

② 出題の範囲

調査対象学年の児童生徒が、前学年の後半で履修した教科の内容及び当該学年の前半で履修した教科の内容を基本とする。

ただし、これまで明らかになった課題の改善状況を把握するため、それ以前の学年で履修した内容が含まれる場合もある。

(4) 調査実施日

小学校 平成26年12月3日（水）

中学校 平成26年12月4日（木）

2 調査の特徴、用語等

(1) 特徴

- ① 評価規準の設定
 - ・観点別評価の実施
 - ・調査する基礎・基本の明確化
- ② 設定通過率の設定
 - ・県として「おおむね満足できる状況」と判断する基準の設定
- ③ ペーパーテストと学習への意欲等に関する質問紙による総合的な学習状況の把握
 - ・多面的な学力の把握
- ④ 過去に実施した国や県の調査問題の類似問題による経年比較
 - ・学力の経年変化の把握
- ⑤ 複数学年にわたる共通問題
 - ・身に付けておかなければ後の学年の学習内容に影響を及ぼす内容の定着度の把握
 - ・県の課題について改善状況の把握
- ⑥ 記述式や読解力に関する問題
 - ・全国学力・学習状況調査B問題の出題趣旨を踏まえた問題
 - ・現在求められている学力の把握
 - ・“「問い」を発する子ども”の基盤づくりに資する問題
- ⑦ 調査結果の活用の工夫
 - ・各校における結果分析に基づいた指導の改善
 - ・報告書の作成

(2) 用語

- ① 通過率
 - ・各問題ごとの正答した児童生徒の人数の割合
(各学校の通過率の例：50人中30人が正答していれば60%)
- ② 平均通過率
 - ・全問題の通過率の平均
(100点満点に換算したときの平均点とみることができる。)
- ③ 設定通過率
 - ・問題ごとに、どの程度の通過率であれば「おおむね満足できる状況」とするかをあらかじめ定めた値（本県が独自に取り入れているもので、分析する上での参考として示している。)
- ④ 正答数別度数分布
 - ・正答数ごとの児童生徒数の度数分布を示したグラフ
- ⑤ 小問別通過率度数分布表
 - ・各小問における通過率ごとの学校数を示した表

(3) データ処理の方法

採点、データ入力・集約

- ・本調査は、各校において採点を行い、その結果を学習状況調査集計・分析システムに登録することにより、全県データを集約している。
- ・各校の教科に関する調査結果及び学習への意欲等に関する質問紙調査の結果は、学習状況調査集計・分析システムの登録状況を閲覧することにより、自校の結果と全県データを比較することができる。

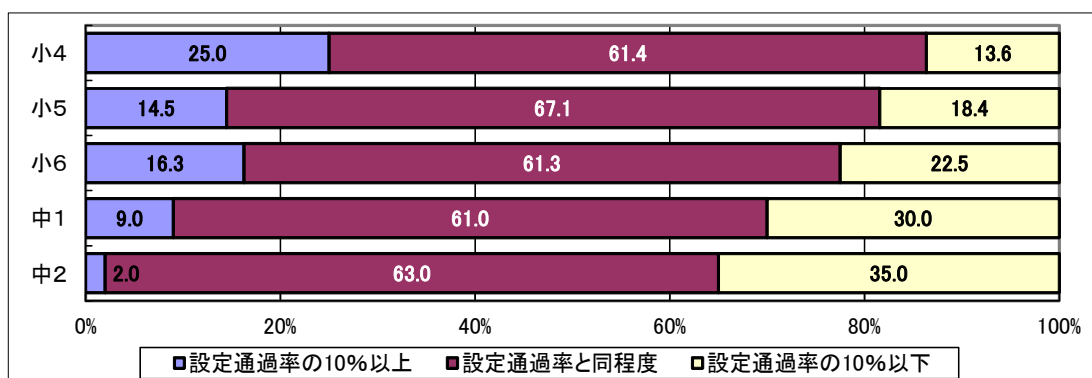
3 調査結果の概要

(1) ペーパーテストの結果

① 設定通過率との比較

- ・通過割合（通過率が設定通過率を上回るか同程度である問題数の割合）を学年別に見ると、小学校第4学年が86.4%、小学校第5学年が81.6%、小学校第6学年が77.6%、中学校第1学年が70.0%、中学校第2学年が65.0%であった。中学校第2学年の通過割合が他の学年よりも低くなっているが、昨年度より7ポイント高くなっている。
- ・平均通過率が設定通過率の平均を上回っている学年・教科は、小学校では第6学年社会、第4～6学年理科、中学校では第1学年英語であった。一方、10ポイント以上下回っている学年・教科は、小学校では第6学年算数、中学校では第2学年社会、第1、2学年数学、第2学年理科であった。

学年別の通過割合



学年別の平均通過率と設定通過率の平均との比較

校 種	教 科	学 年	平均通過率	設定通過率の平均	差	通過割合
小学校	国 語	第 4 学年	73.7	74.2	-0.5	75.0 %
		第 5 学年	68.8	71.3	-2.5	87.5 %
		第 6 学年	67.5	70.3	-2.8	80.0 %
	社 会	第 5 学年	64.3	70.0	-5.7	80.0 %
		第 6 学年	70.4	70.3	0.1	80.0 %
	算 数	第 4 学年	72.9	73.0	-0.1	85.0 %
		第 5 学年	62.8	70.0	-7.2	70.0 %
		第 6 学年	58.7	70.0	-11.3	55.0 %
	理 科	第 4 学年	82.1	73.8	8.3	100.0 %
第 5 学年		79.4	73.0	6.4	90.0 %	
第 6 学年		76.5	73.3	3.2	95.0 %	
中学校	国 語	第 1 学年	65.6	72.3	-6.7	75.0 %
		第 2 学年	67.1	73.0	-5.9	75.0 %
	社 会	第 1 学年	64.2	70.0	-5.8	75.0 %
		第 2 学年	57.9	70.0	-12.1	65.0 %
	数 学	第 1 学年	51.7	70.0	-18.3	40.0 %
		第 2 学年	55.6	70.0	-14.4	70.0 %
	理 科	第 1 学年	65.6	70.0	-4.4	85.0 %
		第 2 学年	51.1	70.0	-18.9	45.0 %
	英 語	第 1 学年	73.3	72.8	0.5	75.0 %
第 2 学年		62.7	70.3	-7.6	70.0 %	

※通過割合：全小問のうち、設定通過率と同程度（±10%の範囲内）及びそれ以上（+10%より高い）の小問の割合

② 各教科の観点別の設定通過率との比較

- ・通過割合を観点別に見ると、75%を超えたのは、小学校では国語の「書くこと」と「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、社会の「思考・判断・表現」と「知識・理解」、算数の「技能」、理科の全観点であった。中学校では、国語の「話すこと・聞くこと」と「書くこと」、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、社会の「技能」、理科の「技能」、英語の「理解の能力」であった。
- ・通過率が設定通過率を下回る問題は、小・中学校ともに「思考・判断・表現」の観点の内容が多かったが、中学校では、「知識・理解」の観点の内容でも多く見られた。

<小学校>

教科名	観点または領域	問題数	+10%より高い	±10%の範囲内	-10%より低い
国語	話すこと・聞くこと	3	0 (0.0%)	2 (66.7%)	1 (33.3%)
	書くこと	3	0 (0.0%)	3 (100.0%)	0 (0.0%)
	読むこと	16	0 (0.0%)	9 (56.3%)	7 (43.8%)
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	26	6 (23.1%)	19 (73.1%)	1 (3.8%)
社会	思考・判断・表現	13	1 (7.7%)	10 (76.9%)	2 (15.4%)
	技能	14	0 (0.0%)	9 (64.3%)	5 (35.7%)
	知識・理解	13	1 (7.7%)	11 (84.6%)	1 (7.7%)
算数	考え方	19	1 (5.3%)	9 (47.4%)	9 (47.4%)
	技能	21	2 (9.5%)	15 (71.4%)	4 (19.0%)
	知識・理解	20	1 (5.0%)	14 (70.0%)	5 (25.0%)
理科	思考・表現	23	11 (47.8%)	10 (43.5%)	2 (8.7%)
	技能	13	4 (30.8%)	8 (61.5%)	1 (7.7%)
	知識・理解	16	8 (50.0%)	8 (50.0%)	0 (0.0%)

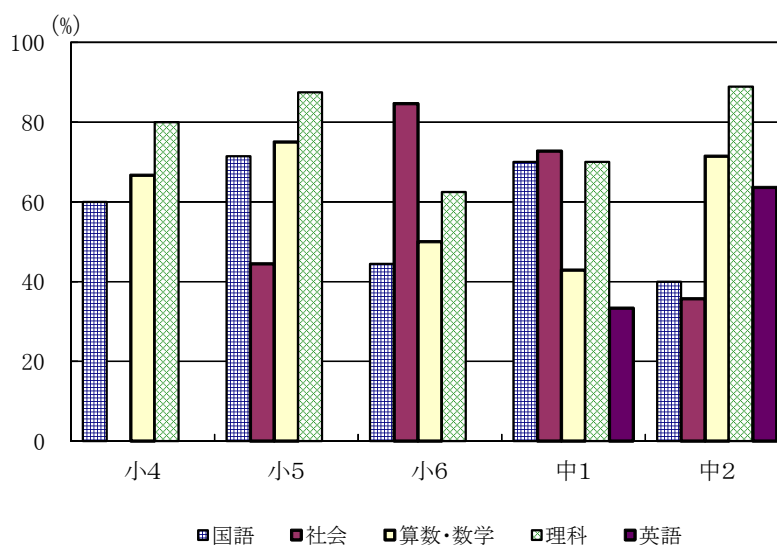
<中学校>

教科名	観点または領域	問題数	+10%より高い	±10%の範囲内	-10%より低い
国語	話すこと・聞くこと	4	0 (0.0%)	4 (100.0%)	0 (0.0%)
	書くこと	2	0 (0.0%)	2 (100.0%)	0 (0.0%)
	読むこと	12	0 (0.0%)	7 (58.3%)	5 (41.7%)
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	22	1 (4.5%)	16 (72.7%)	5 (22.7%)
社会	思考・判断・表現	15	0 (0.0%)	9 (60.0%)	6 (40.0%)
	技能	7	0 (0.0%)	6 (85.7%)	1 (14.3%)
	知識・理解	18	1 (5.6%)	12 (66.7%)	5 (27.8%)
数学	考え方	14	0 (0.0%)	8 (57.1%)	6 (42.9%)
	技能	18	0 (0.0%)	9 (50.0%)	9 (50.0%)
	知識・理解	8	0 (0.0%)	5 (62.5%)	3 (37.5%)
理科	思考・表現	14	2 (14.3%)	8 (57.1%)	4 (28.6%)
	技能	10	0 (0.0%)	8 (80.0%)	2 (20.0%)
	知識・理解	16	0 (0.0%)	8 (50.0%)	8 (50.0%)
英語	表現の能力	8	1 (12.5%)	4 (50.0%)	3 (37.5%)
	理解の能力	24	5 (20.8%)	14 (58.3%)	5 (20.8%)
	言語や文化についての知識・理解	8	1 (12.5%)	4 (50.0%)	3 (37.5%)

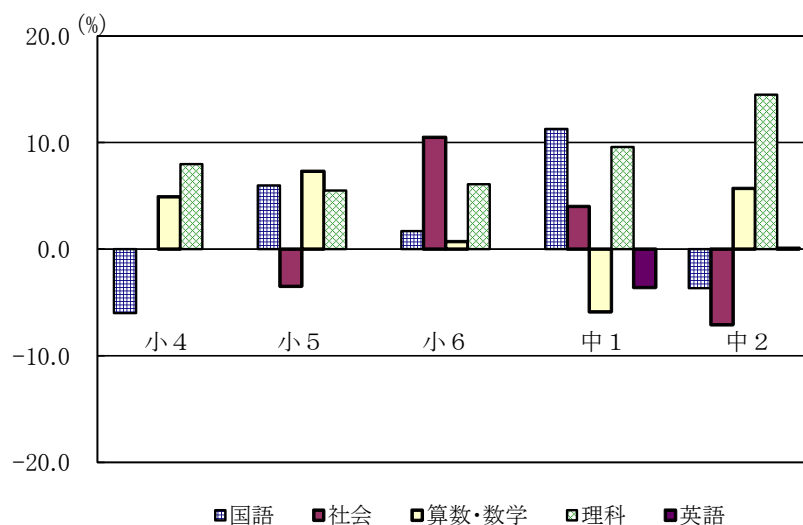
③ 類似問題との比較

- ・類似問題において過去の通過率を上回った問題数は、小学校では102問中67問（65.7%）、中学校では112問中65問（58.0%）であった。
- ・学年・教科別に見ると、類似問題の過去の通過率を上回った問題数が半数を超えたのは、小学校では第4学年の全教科、第5学年の国語、算数、理科、第6学年の社会、理科であった。中学校では、第1学年の国語、社会、理科、第2学年の数学、理科、英語であった。
- ・類似問題の通過率の平均で比較すると、ほとんどの学年・教科で過去の通過率の平均を上回っている。小学校第4学年国語、第5学年社会、中学校第1学年数学、英語、第2学年国語、社会は下回っているものの、その差は－10ポイント以内である。

類似問題における過去の通過率を上回った問題数の割合



類似問題における過去の通過率を基準とした今年度の通過率



④ 各教科ごとの小問別通過率と設定通過率の比較

【国語】

設 定：設定通過率

通過率：全県平均通過率

類 似：過去に出題された類似問題の通過率

○小学校

	番号	設定	通過率	類似
小4	1)	85	96.5	
小4	2)	85	93.6	
小4	3)	85	95.7	
小4	4)	85	91.9	
小4	5)	65	67.7	56.0
小4	6)	85	93.6	
小4	7)	85	91.3	
小4	8)	60	44.2	92.4
小4	9)	65	66.5	65.4
小4	10)	60	27.4	
小4	11)	60	49.4	38.9
小4	12)	70	66.9	72.0

設定通過率	74.2		
平均通過率		73.7	
類似問題		58.9	64.9

	番号	設定	通過率	類似
小5	1)	80	89.4	
小5	2)	80	98.5	
小5	3)	80	75.0	
小5	4)	80	81.2	
小5	5)	65	57.7	51.3
小5	6)	75	82.1	53.5
小5	7)	60	53.2	44.9
小5	8)	70	85.1	27.0
小5	9)	70	62.4	91.4
小5	10)	75	77.8	67.6
小5	11)	60	24.3	
小5	12)	70	65.6	
小5	13)	65	55.3	
小5	14)	60	42.6	83.0
小5	15)	75	70.8	
小5	16)	75	80.4	

設定通過率	71.3		
平均通過率		68.8	
類似問題		65.8	59.8

	番号	設定	通過率	類似
小6	1)	80	98.9	
小6	2)	80	99.5	
小6	3)	75	65.1	
小6	4)	75	81.4	
小6	5)	60	43.9	
小6	6)	75	67.6	
小6	7)	80	75.7	70.7
小6	8)	70	64.3	61.0
小6	9)	65	55.1	61.5
小6	10)	70	64.6	
小6	11)	85	94.4	
小6	12)	65	59.9	
小6	13)	60	58.7	68.7
小6	14)	60	47.5	59.8
小6	15)	65	60.0	22.9
小6	16)	60	45.4	68.7
小6	17)	60	40.1	
小6	18)	60	54.6	60.0
小6	19)	80	87.5	60.0
小6	20)	80	85.8	

設定通過率	70.3		
平均通過率		67.5	
類似問題		61.0	59.3

○中学校

	番号	設定	通過率	類似
中1	1)	85	97.2	
中1	2)	80	46.7	
中1	3)	70	66.5	
中1	4)	70	77.5	
中1	5)	85	90.5	64.0
中1	6)	65	68.0	
中1	7)	60	33.7	26.5
中1	8)	60	50.1	47.9
中1	9)	85	90.8	37.3
中1	10)	70	43.3	
中1	11)	75	71.7	
中1	12)	60	56.9	95.8
中1	13)	80	86.7	
中1	14)	85	90.5	25.3
中1	15)	80	70.0	81.0
中1	16)	65	68.3	42.0
中1	17)	70	42.2	
中1	18)	60	27.5	60.0
中1	19)	65	57.2	
中1	20)	75	77.6	63.0

設定通過率	72.3		
平均通過率		65.6	
類似問題		65.6	54.3

	番号	設定	通過率	類似
中2	1)	70	61.1	83.6
中2	2)	75	80.5	74.9
中2	3)	80	86.7	
中2	4)	85	81.1	
中2	5)	80	78.1	
中2	6)	80	86.3	
中2	7)	85	91.5	
中2	8)	60	40.6	61.9
中2	9)	85	93.6	48.7
中2	10)	60	40.2	60.5
中2	11)	70	63.4	72.4
中2	12)	75	79.1	
中2	13)	80	80.7	80.3
中2	14)	60	10.1	27.0
中2	15)	70	35.7	
中2	16)	75	79.7	
中2	17)	65	70.6	
中2	18)	60	30.5	52.4
中2	19)	60	63.3	
中2	20)	85	90.1	65.7

設定通過率	73.0		
平均通過率		67.1	
類似問題		59.1	62.7

【社会】

設 定：設定通過率

通過率：全県平均通過率

類 似：過去に出題された類似問題の通過率

○小学校

	番号	設定	通過率	類似
小5	1)	75	72.1	
小5	2)	60	39.1	
小5	3)	80	78.3	
小5	4)	60	46.6	86.8
小5	5)	70	67.5	80.2
小5	6)	70	63.5	
小5	7)	80	83.3	
小5	8)	70	64.0	
小5	9)	70	63.2	
小5	10)	80	82.9	91.4
小5	11)	60	55.0	85.8
小5	12)	75	76.4	55.6
小5	13)	70	65.0	63.8
小5	14)	80	82.7	
小5	15)	80	78.0	46.1
小5	16)	60	44.9	
小5	17)	60	42.4	
小5	18)	60	51.0	
小5	19)	65	61.0	50.6
小5	20)	75	68.2	71.9

設定通過率	70.0		
平均通過率		64.3	
類似問題		66.7	70.2

	番号	設定	通過率	類似
小6	1)	75	77.5	
小6	2)	65	46.8	
小6	3)	70	78.5	55.8
小6	4)	65	54.6	31.4
小6	5)	60	63.8	43.5
小6	6)	75	73.0	79.0
小6	7)	80	88.7	
小6	8)	75	74.5	
小6	9)	75	64.3	
小6	10)	70	77.8	
小6	11)	80	82.3	80.8
小6	12)	75	78.5	76.6
小6	13)	75	74.6	74.3
小6	14)	70	69.1	71.3
小6	15)	65	72.2	61.9
小6	16)	65	62.5	
小6	17)	65	50.3	29.0
小6	18)	75	85.6	75.5
小6	19)	60	72.5	39.7
小6	20)	65	60.1	60.0

設定通過率	70.3		
平均通過率		70.4	
類似問題		70.4	59.9

○中学校

	番号	設定	通過率	類似
中1	1)	85	95.8	72.1
中1	2)	60	14.0	49.8
中1	3)	85	87.6	84.6
中1	4)	85	85.2	80.2
中1	5)	60	39.3	
中1	6)	65	60.9	
中1	7)	60	53.5	
中1	8)	70	73.8	65.6
中1	9)	60	58.7	27.5
中1	10)	70	68.5	62.9
中1	11)	60	47.6	
中1	12)	60	44.8	93.2
中1	13)	75	76.3	
中1	14)	60	43.4	
中1	15)	60	53.9	
中1	16)	75	75.1	
中1	17)	80	81.6	74.6
中1	18)	85	88.3	42.9
中1	19)	75	74.7	75.6
中1	20)	70	61.1	

設定通過率	70.0		
平均通過率		64.2	
類似問題		70.3	66.3

	番号	設定	通過率	類似
中2	1)	70	68.0	36.7
中2	2)	60	36.5	
中2	3)	70	47.1	53.6
中2	4)	65	59.9	
中2	5)	70	64.4	60.1
中2	6)	65	55.6	74.1
中2	7)	70	60.1	80.3
中2	8)	85	79.0	
中2	9)	70	36.2	80.0
中2	10)	65	42.8	73.0
中2	11)	75	67.8	54.9
中2	12)	65	41.1	
中2	13)	65	59.7	63.9
中2	14)	80	72.3	72.2
中2	15)	60	45.5	45.9
中2	16)	60	42.7	37.4
中2	17)	70	64.2	91.1
中2	18)	85	78.8	81.5
中2	19)	65	56.6	
中2	20)	85	79.0	

設定通過率	70.0		
平均通過率		57.9	
類似問題		57.5	64.6

【算数、数学】

設 定：設定通過率

通過率：全県平均通過率

類 似：過去に出題された類似問題の通過率

○小学校

	番号	設定	通過率	類似
小4	1)	90	88.4	
小4	2)	90	93.9	95.5
小4	3)	90	96.8	
小4	4)	80	82.9	
小4	5)	80	93.5	70.2
小4	6)	80	93.2	89.5
小4	7)	70	68.0	
小4	8)	70	66.4	73.6
小4	9)	60	65.0	58.4
小4	10)	70	65.8	
小4	11)	80	84.5	56.4
小4	12)	70	69.9	51.8
小4	13)	80	86.9	80.7
小4	14)	80	84.6	73.4
小4	15)	60	49.5	75.5
小4	16)	60	55.1	
小4	17)	60	61.5	52.5
小4	18)	70	82.0	
小4	19)	60	34.4	46.3
小4	20)	60	34.9	

設定通過率	73.0		
平均通過率		72.9	
類似問題		73.6	68.7

	番号	設定	通過率	類似
小5	1)	75	69.8	
小5	2)	85	85.6	74.2
小5	3)	70	58.2	80.4
小5	4)	80	78.0	82.7
小5	5)	60	52.6	
小5	6)	70	66.7	
小5	7)	60	51.3	43.8
小5	8)	60	46.0	32.6
小5	9)	75	73.4	66.1
小5	10)	70	64.3	
小5	11)	80	80.0	75.0
小5	12)	85	88.7	
小5	13)	60	65.3	20.3
小5	14)	70	42.7	
小5	15)	60	30.4	
小5	16)	60	55.6	
小5	17)	60	46.1	53.9
小5	18)	80	75.9	70.0
小5	19)	80	77.5	75.3
小5	20)	60	47.0	22.3

設定通過率	70.0		
平均通過率		62.8	
類似問題		65.4	58.1

	番号	設定	通過率	類似
小6	1)	90	87.6	
小6	2)	80	51.3	
小6	3)	70	75.9	54.0
小6	4)	70	66.2	54.9
小6	5)	60	40.7	58.3
小6	6)	90	91.1	
小6	7)	70	75.3	70.3
小6	8)	70	74.9	49.2
小6	9)	60	50.6	
小6	10)	70	49.8	58.0
小6	11)	60	22.8	33.8
小6	12)	70	42.9	77.2
小6	13)	70	56.4	71.5
小6	14)	60	53.3	41.1
小6	15)	60	49.6	29.5
小6	16)	90	93.3	
小6	17)	70	24.9	
小6	18)	70	38.5	60.7
小6	19)	60	53.5	58.6
小6	20)	60	74.3	47.4

設定通過率	70.0		
平均通過率		58.7	
類似問題		55.3	54.6

○中学校

	番号	設定	通過率	類似
中1	1)	75	58.0	
中1	2)	80	62.1	67.3
中1	3)	65	57.7	66.9
中1	4)	70	60.4	45.2
中1	5)	60	22.4	
中1	6)	70	48.5	53.6
中1	7)	65	42.7	28.6
中1	8)	70	63.9	63.6
中1	9)	75	50.3	70.0
中1	10)	60	21.3	
中1	11)	65	57.5	71.6
中1	12)	90	87.2	
中1	13)	75	73.3	56.2
中1	14)	60	42.8	51.8
中1	15)	75	66.9	
中1	16)	60	52.5	45.2
中1	17)	80	20.8	86.3
中1	18)	70	54.8	54.3
中1	19)	75	48.7	
中1	20)	60	42.0	52.0

設定通過率	70.0		
平均通過率		51.7	
類似問題		52.1	58.0

	番号	設定	通過率	類似
中2	1)	70	64.4	67.2
中2	2)	80	74.6	71.2
中2	3)	65	58.4	48.3
中2	4)	65	20.2	
中2	5)	85	75.6	73.2
中2	6)	65	28.8	
中2	7)	60	53.8	
中2	8)	75	66.7	57.8
中2	9)	60	50.3	36.9
中2	10)	60	51.6	23.5
中2	11)	65	59.8	54.3
中2	12)	65	46.4	
中2	13)	90	86.0	
中2	14)	65	58.8	53.5
中2	15)	85	75.6	36.2
中2	16)	85	47.3	82.6
中2	17)	60	25.6	
中2	18)	65	58.6	37.4
中2	19)	75	68.7	81.9
中2	20)	60	40.2	47.0

設定通過率	70.0		
平均通過率		55.6	
類似問題		60.8	55.1

【理科】

設 定：設定通過率

通過率：全県平均通過率

類 似：過去に出題された類似問題の通過率

○小学校

	番号	設定	通過率	類似
小4	1)	70	87.7	
小4	2)	80	90.2	85.3
小4	3)	70	92.6	
小4	4)	75	89.3	69.7
小4	5)	70	64.5	
小4	6)	70	70.2	
小4	7)	75	78.1	79.8
小4	8)	80	96.7	
小4	9)	70	64.9	55.7
小4	10)	75	78.9	
小4	11)	70	76.0	
小4	12)	80	96.6	88.3

設定通過率	73.8		
平均通過率		82.1	
類似問題		83.8	75.8

	番号	設定	通過率	類似
小5	1)	80	84.7	
小5	2)	60	74.2	57.5
小5	3)	75	82.0	
小5	4)	80	91.2	89.4
小5	5)	60	62.1	54.4
小5	6)	70	81.3	
小5	7)	60	49.9	
小5	8)	80	86.4	
小5	9)	80	88.2	82.0
小5	10)	80	97.2	
小5	11)	80	84.5	
小5	12)	80	93.0	
小5	13)	75	67.2	
小5	14)	60	77.6	60.5
小5	15)	75	56.3	78.6
小5	16)	80	95.5	
小5	17)	70	73.7	70.8
小5	18)	75	85.6	71.9
小5	19)	80	87.5	
小5	20)	60	71.0	

設定通過率	73.0		
平均通過率		79.4	
類似問題		76.1	70.6

	番号	設定	通過率	類似
小6	1)	80	90.8	
小6	2)	65	72.9	56.7
小6	3)	80	91.9	77.6
小6	4)	60	71.1	52.6
小6	5)	75	67.2	79.7
小6	6)	75	91.7	
小6	7)	75	33.0	
小6	8)	70	62.8	68.1
小6	9)	70	73.5	
小6	10)	70	80.7	
小6	11)	70	91.9	
小6	12)	75	69.1	
小6	13)	85	94.7	
小6	14)	85	89.9	
小6	15)	70	70.7	
小6	16)	80	76.7	85.8
小6	17)	65	77.9	56.9
小6	18)	70	64.0	
小6	19)	70	81.7	76.1
小6	20)	75	76.5	

設定通過率	73.3		
平均通過率		76.5	
類似問題		75.3	69.2

○中学校

	番号	設定	通過率	類似
中1	1)	70	61.5	
中1	2)	60	53.4	58.4
中1	3)	70	63.7	
中1	4)	65	50.9	
中1	5)	60	38.2	
中1	6)	80	81.5	
中1	7)	70	46.1	62.6
中1	8)	70	68.8	56.9
中1	9)	90	91.7	86.0
中1	10)	65	75.8	38.6
中1	11)	75	67.3	
中1	12)	65	65.1	
中1	13)	65	63.5	53.9
中1	14)	60	57.0	
中1	15)	70	67.3	
中1	16)	75	70.9	
中1	17)	65	57.1	41.6
中1	18)	65	59.3	52.0
中1	19)	90	88.1	91.5
中1	20)	70	85.4	51.6

設定通過率	70.0		
平均通過率		65.6	
類似問題		68.9	59.3

	番号	設定	通過率	類似
中2	1)	65	41.0	34.0
中2	2)	60	47.6	
中2	3)	60	49.3	
中2	4)	75	67.6	38.3
中2	5)	60	53.6	34.9
中2	6)	80	70.8	
中2	7)	70	22.9	
中2	8)	80	55.3	64.1
中2	9)	80	76.4	33.9
中2	10)	60	56.7	46.3
中2	11)	60	54.5	52.3
中2	12)	70	36.7	
中2	13)	60	20.2	17.5
中2	14)	75	31.1	
中2	15)	60	38.6	
中2	16)	85	47.9	
中2	17)	80	51.1	
中2	18)	70	60.2	
中2	19)	80	79.3	52.7
中2	20)	70	60.5	

設定通過率	70.0		
平均通過率		51.1	
類似問題		56.1	41.6

【英語】

設 定：設定通過率

通過率：全県平均通過率

類 似：過去に出題された類似問題の通過率

○中学校

	番号	設定	通過率	類似
中1	1)	90	93.1	99.6
中1	2)	90	87.2	97.6
中1	3)	85	68.7	85.2
中1	4)	70	58.0	62.8
中1	5)	70	77.7	
中1	6)	75	64.9	
中1	7)	75	77.5	
中1	8)	70	87.4	
中1	9)	70	82.5	
中1	10)	75	67.0	
中1	11)	70	81.3	
中1	12)	90	70.6	91.3
中1	13)	80	81.6	80.5
中1	14)	60	62.7	36.2
中1	15)	60	75.2	
中1	16)	60	44.7	46.4
中1	17)	60	62.5	61.8
中1	18)	70	77.8	
中1	19)	60	57.7	
中1	20)	75	87.1	

設定通過率	72.8		
平均通過率		73.3	
類似問題		69.9	73.5

	番号	設定	通過率	類似
中2	1)	90	97.2	99.4
中2	2)	80	93.3	
中2	3)	70	84.6	
中2	4)	60	61.7	47.5
中2	5)	60	57.1	
中2	6)	65	71.6	
中2	7)	90	62.5	95.4
中2	8)	80	72.2	82.3
中2	9)	60	60.3	53.4
中2	10)	80	78.2	67.2
中2	11)	75	43.6	
中2	12)	65	56.2	52.6
中2	13)	65	57.2	56.0
中2	14)	60	64.7	37.6
中2	15)	65	37.9	
中2	16)	60	41.6	
中2	17)	60	55.5	
中2	18)	85	84.8	
中2	19)	60	43.4	24.7
中2	20)	75	31.0	67.1

設定通過率	70.3		
平均通過率		62.7	
類似問題		62.2	62.1

① 学習全般についての結果概要（５点換算による県平均）

質 問 項 目

1-1 勉強が好きだ
1-2 勉強は大切だ
1-3 学校の勉強がよく分かる
1-4 ふだんの生活や社会に出て
役立つよう、勉強したい

項目	小4	小5	小6	中1	中2
1-1	3.9	3.8	3.7	3.4	3.2
1-2	4.7	4.65	4.65	4.55	4.45
1-3	4.3	4.25	4.2	3.9	3.7
1-4	4.5	4.5	4.5	4.4	4.3

大好き… 5 点 好き… 4 点 きらい… 2 点
 大好き… 1 点 分からない・どちらでもない… 3 点



③ 学習全般について

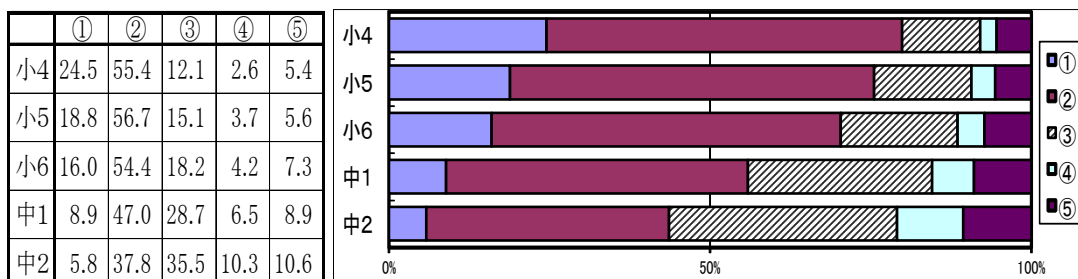
[グラフ等の見方]

表及び帯グラフ……回答類型ごとの割合 (%)

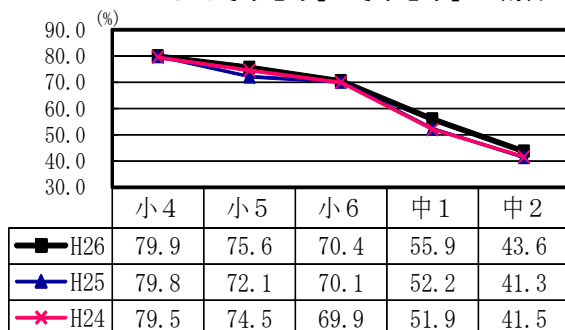
折れ線グラフ……肯定的回答の割合の経年比較

[1 - 1] 勉強が好きだ

①つよくそう思う ②そう思う ③そう思わない ④まったくそう思わない ⑤分からない・どちらでもない



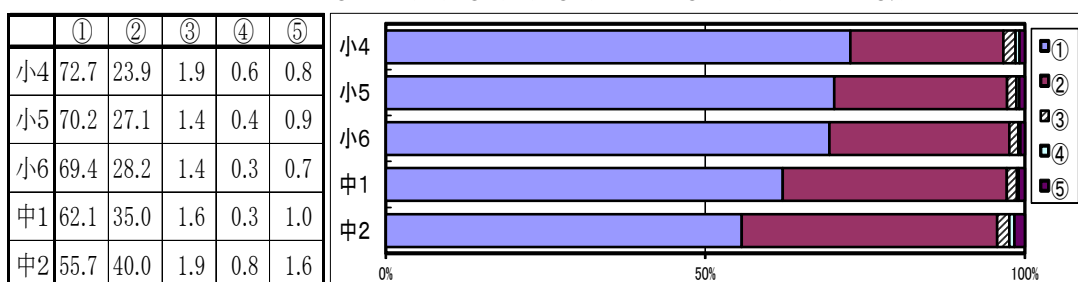
「つよくそう思う」「そう思う」の割合



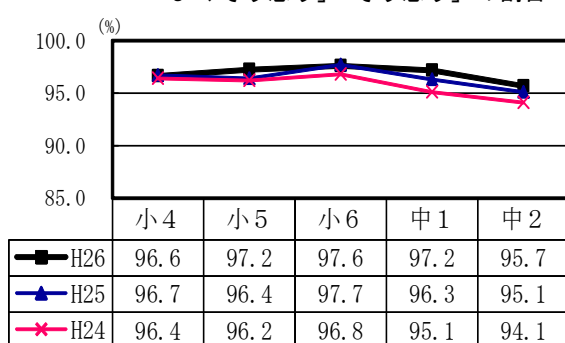
「つよくそう思う」「そう思う」と肯定的に回答した割合が、学年が上がるに従って減少していく状況は依然として見られるが、全ての学年において肯定的な回答の割合が、この3年間で最も高い数値を示している。

[1 - 2] 勉強は大切だ

①つよくそう思う ②そう思う ③そう思わない ④まったくそう思わない ⑤分からない・どちらでもない



「つよくそう思う」「そう思う」の割合

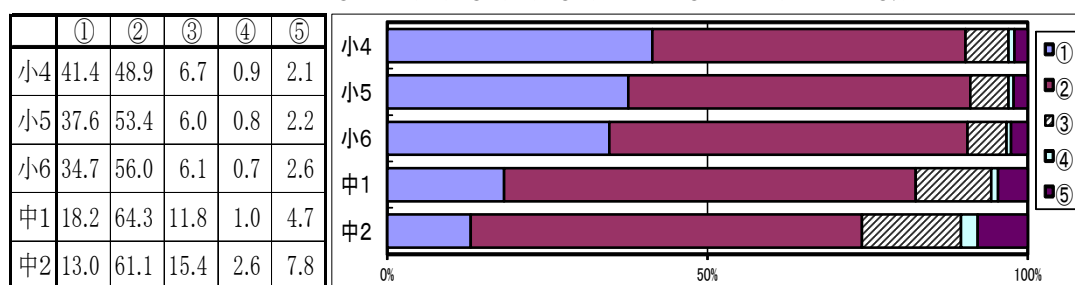


肯定的な回答の割合は、平成25年度と同様に今年度も全ての学年で95%を超えた。特に、小学校第5学年と中学校の全ての学年で、肯定的な回答の割合が、この3年間で最も高くなっている。

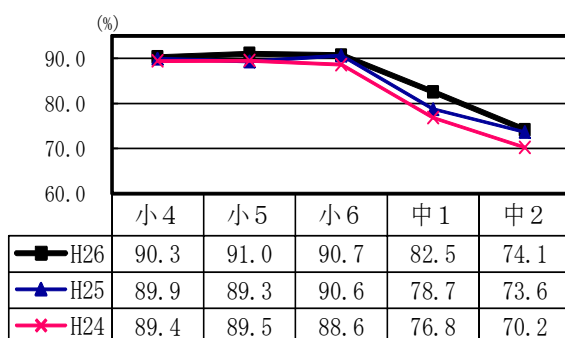
学習することの重要性に対する意識が高まっていることがうかがえる。

〔1－3〕 学校の勉強がよくわかる

①つよくそう思う ②そう思う ③そう思わない ④まったくそう思わない ⑤分からない・どちらでもない



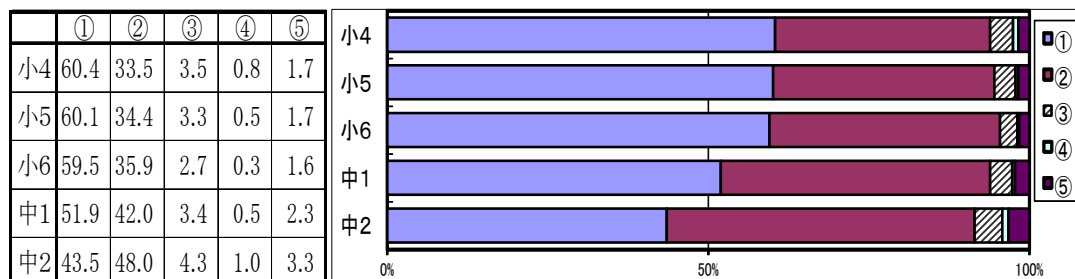
「つよくそう思う」「そう思う」の割合



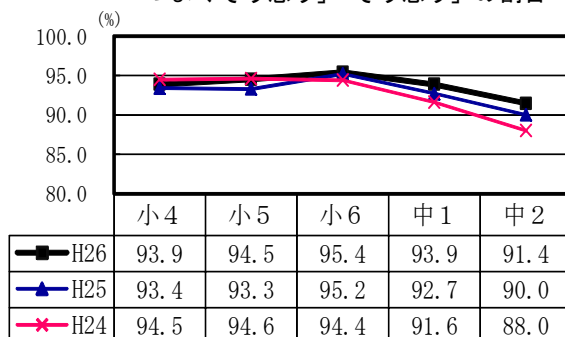
小学校では、肯定的な回答の割合が90%を超えており、30%以上が「つよくそう思う」と回答している。中学校においても70%以上の生徒が肯定的な回答をしており、その割合も年々少しずつ高くなっている。

〔1－4〕 ふだんの生活や社会に出て役立つよう、勉強したい

①つよくそう思う ②そう思う ③そう思わない ④まったくそう思わない ⑤分からない・どちらでもない



「つよくそう思う」「そう思う」の割合



平成25年度と同様に今年度も全ての学年で、90%以上が肯定的な回答をしている。学年が上がるにつれて伸びが大きくなっており、中学校では、この3年間で最も高くなっている。

勉強する目的意識を明確にもっている児童生徒が多いことがうかがえる。

④ 生活全般について

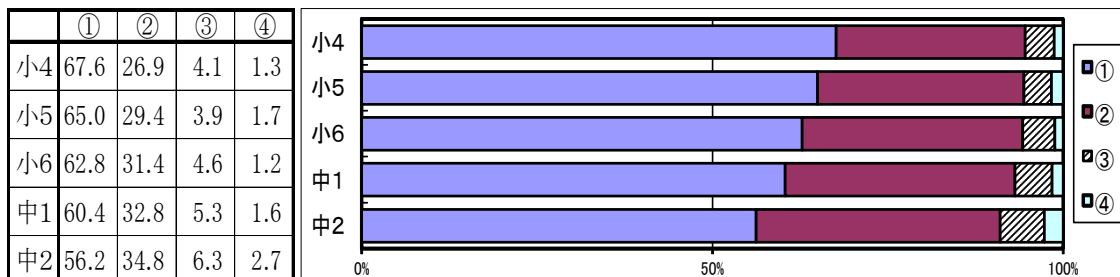
[グラフ等の見方]

表及び帯グラフ……回答類型ごとの割合(%)

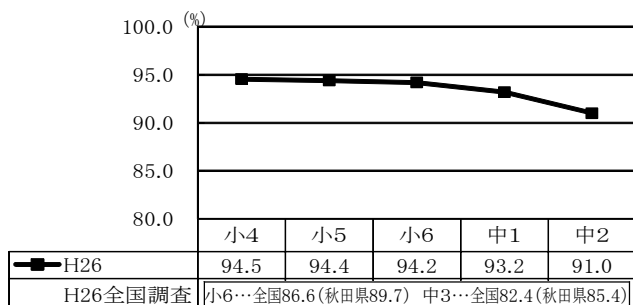
折れ線グラフ……肯定的回答の割合の経年比較

[2-1] 学校が楽しい

①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる ③どちらかといえば当てはまらない ④当てはまらない



「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合

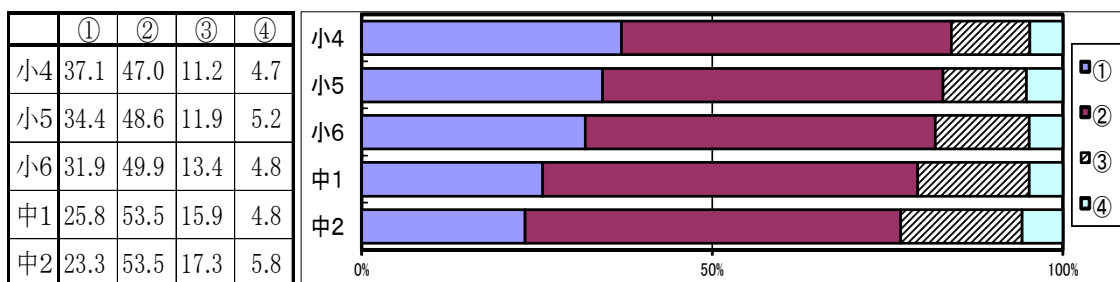


全ての学年で、90%以上が肯定的な回答をしており、そのうち「当てはまる」と回答した割合が、小学校では60%を超え、中学校では50%を超えている。小学校第6学年では、全国学力・学習状況調査の結果より数値が伸びている。

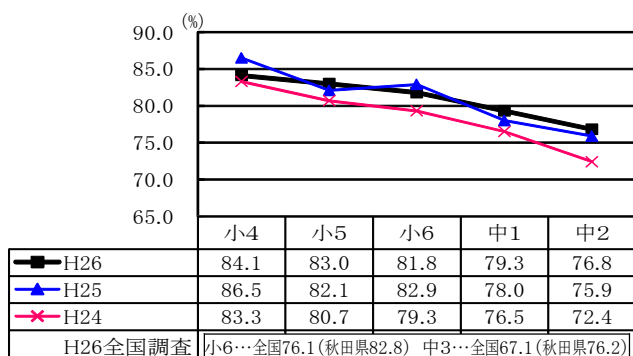
一方、否定的な回答(③、④)の割合が、学年が上がるにつれて増加することも注視する必要がある。

[2-2] 自分にはよいところがあると思う

①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる ③どちらかといえば当てはまらない ④当てはまらない



「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合

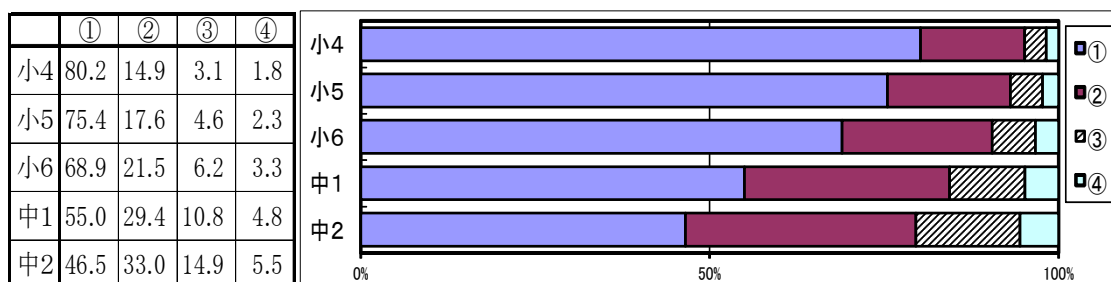


小学校では80%以上、中学校では75%以上が、肯定的な回答をしている。中学校では、肯定的な回答の割合が、平成24年度から少しずつ高くなっている。

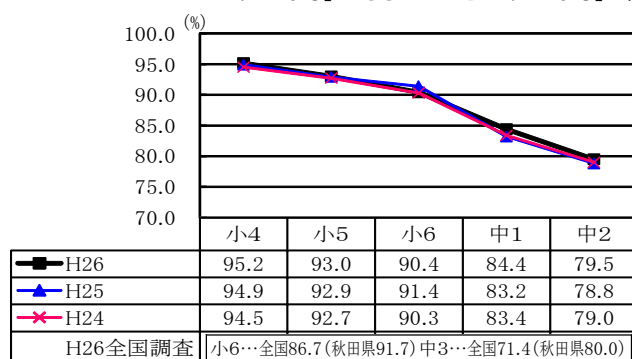
学校生活等の様々な場面での声かけ等、自己有用感の醸成が図られている様子がうかがえる。

〔2－3〕 将来の夢や目標をもっている

①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる ③どちらかといえば当てはまらない ④当てはまらない



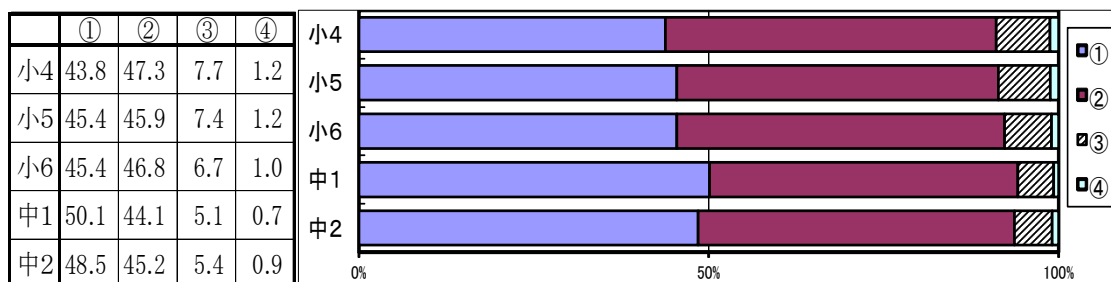
「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合



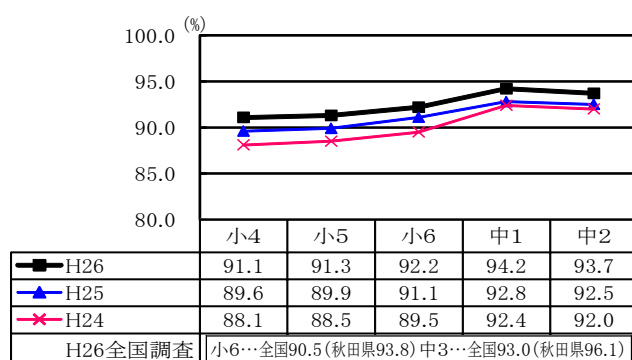
肯定的な回答の割合が、学年が上がるに従って低くなっているものの、小学校では、90%以上が肯定的な回答をしており、中学校では、この3年間で最も高く、80%程度が肯定的な回答をしている。

〔2－4〕 学校のきまりを守っている

①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる ③どちらかといえば当てはまらない ④当てはまらない



「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合

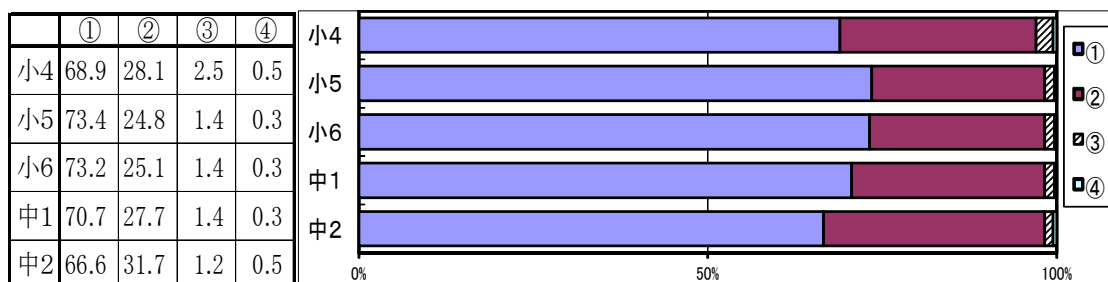


全ての学年で、肯定的な回答の割合が90%を超え、この3年間で最も高い。小学校に比べて中学校の数値が高く、全般的に良い傾向を示している。

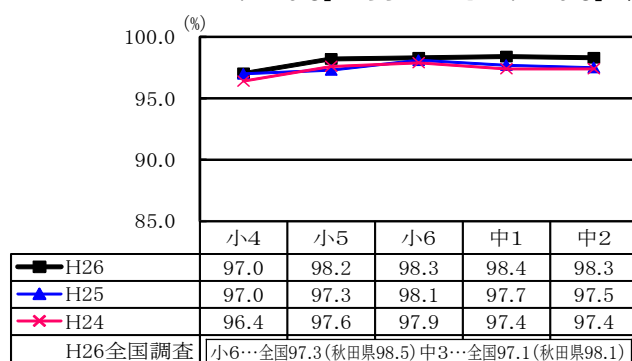
学校生活等の様々な場面で、児童生徒の規範意識が醸成される取組がなされていることがうかがえる。

〔２－５〕 友達との約束を守っている

①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる ③どちらかといえば当てはまらない ④当てはまらない



「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合

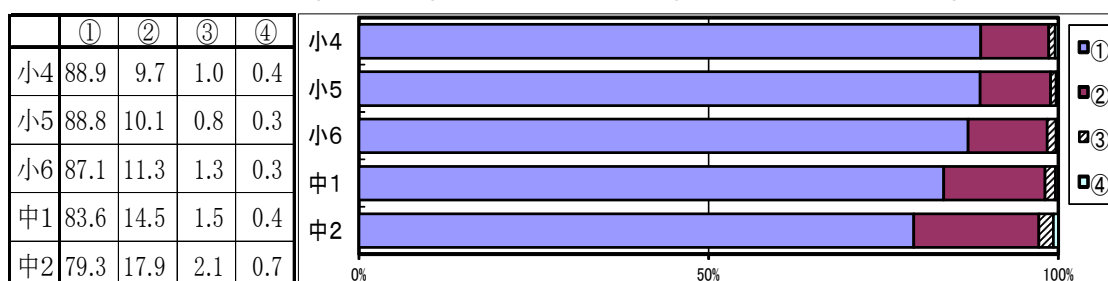


肯定的な回答の割合が、全ての学年で、100%に近く、この3年間で最も高くなっている。

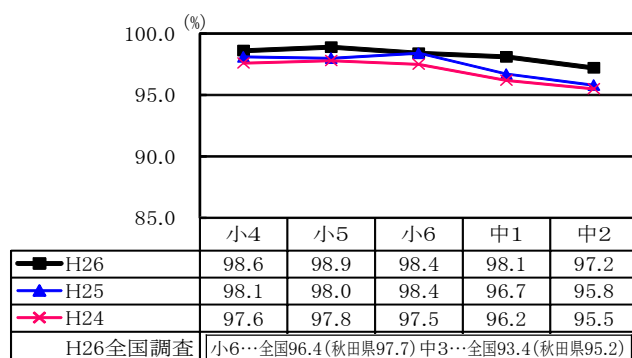
児童生徒は、約束を守って生活することで、友達との良好な人間関係を築こうとしている様子等がうかがえる。

〔２－６〕 いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う

①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる ③どちらかといえば当てはまらない ④当てはまらない



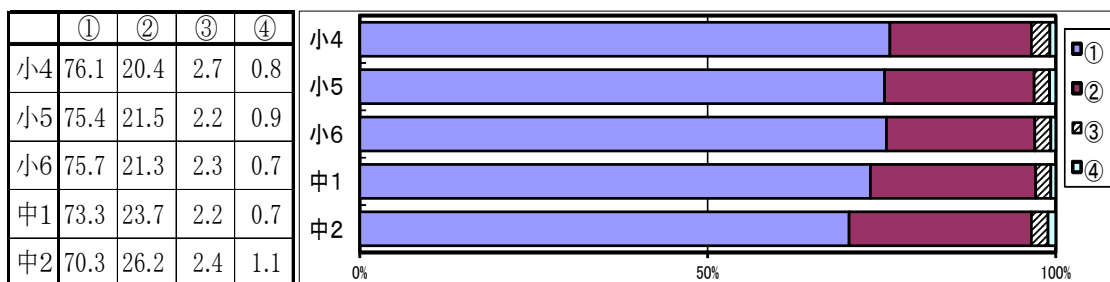
「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合



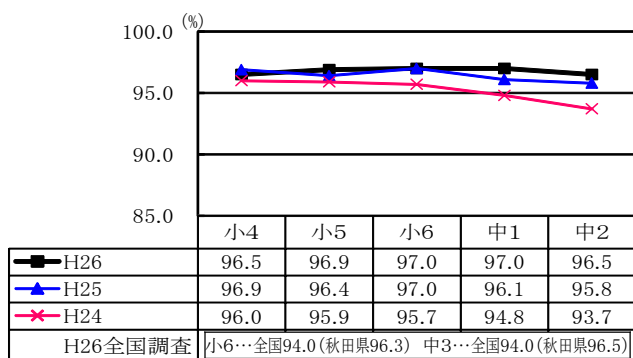
全ての学年で、肯定的な回答の割合が極めて高く、「当てはまる」と回答している割合は、小学校では80%以上、中学校では70%以上となっており、他の質問に比べて高い数値を示している。

〔２－７〕 人の役に立つ人間になりたいと思う

①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる ③どちらかといえば当てはまらない ④当てはまらない



「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合



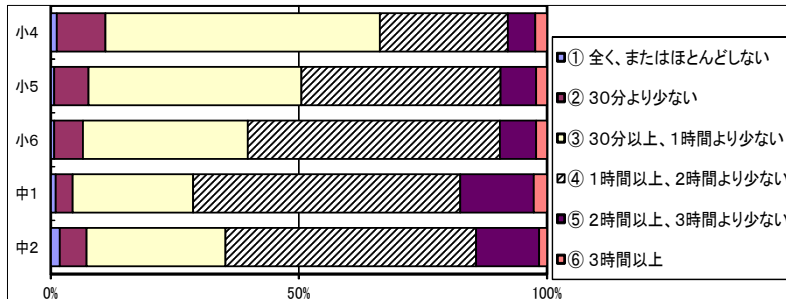
肯定的な回答の割合が、平成25年度と同様に今年度も全ての学年で95%以上である。肯定的な回答のうち、「当てはまる」と回答している割合が、全ての学年で70%を超えている。

⑤ 家庭学習について

[グラフ等の見方]

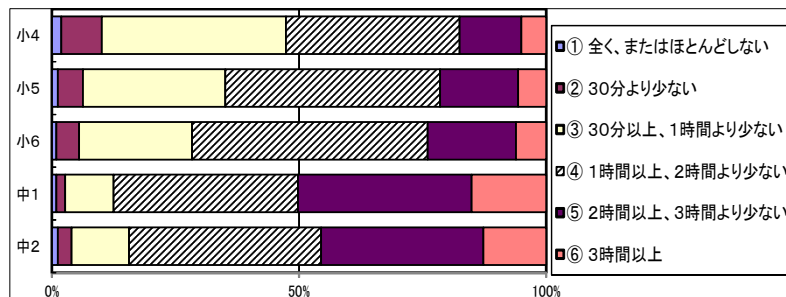
表及び帯グラフ……回答類型ごとの割合（％）

学校がある日の勉強時間



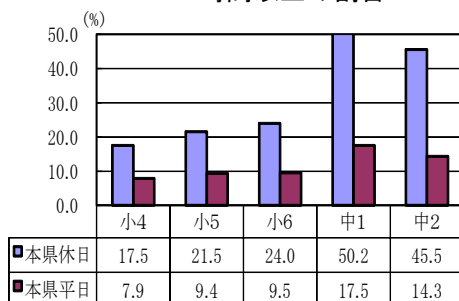
	①	②	③	④	⑤	⑥
小4	1.2	9.8	55.3	25.8	5.5	2.4
小5	0.7	6.9	42.9	40.1	7.2	2.2
小6	0.7	5.8	33.2	50.8	7.3	2.2
中1	1.0	3.4	24.3	53.8	14.8	2.7
中2	1.8	5.4	28.0	50.5	12.7	1.6

土曜日や日曜日の勉強時間

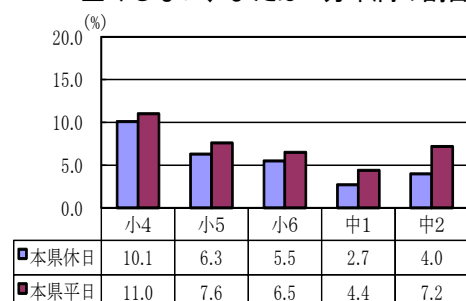


	①	②	③	④	⑤	⑥
小4	1.9	8.2	37.2	35.1	12.5	5.0
小5	1.2	5.1	28.8	43.5	15.8	5.7
小6	0.9	4.6	22.9	47.7	17.9	6.1
中1	0.9	1.8	9.8	37.3	35.1	15.1
中2	1.2	2.8	11.6	38.8	32.8	12.7

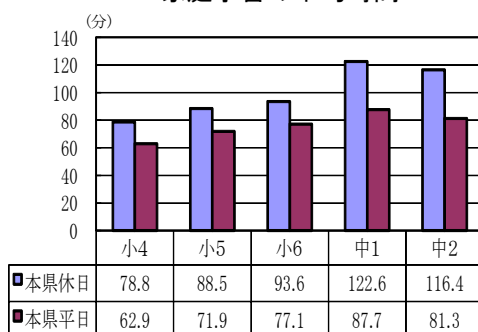
2時間以上の割合



全くしない、または30分未満の割合



家庭学習の平均時間



平日の家庭学習の平均時間は、1時間から1時間20分程度である。また、家庭学習を全くしない、または家庭学習時間が30分未満の児童生徒の割合は、全ての学年で昨年度よりも低くなっており、家庭学習の習慣が一層定着してきていることがうかがえる。

全ての学年において、休日に2時間以上の学習をしている児童生徒の割合が、平日におけるその割合に比べて高く、特に、中学生でその傾向が見られる。

⑥ 授業について

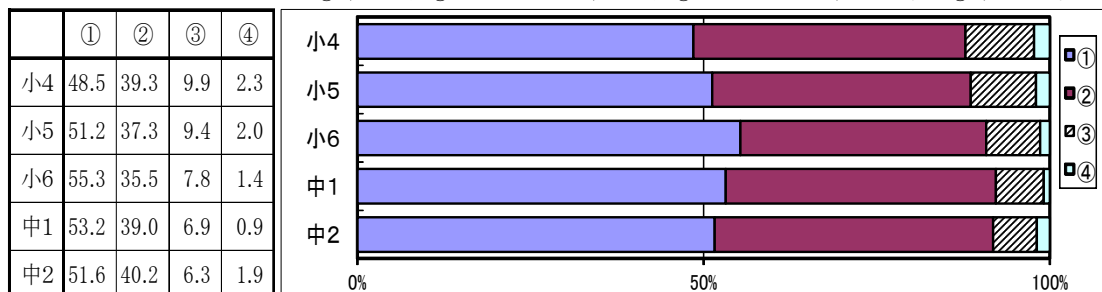
[グラフ等の見方]

表及び帯グラフ……回答類型ごとの割合 (%)

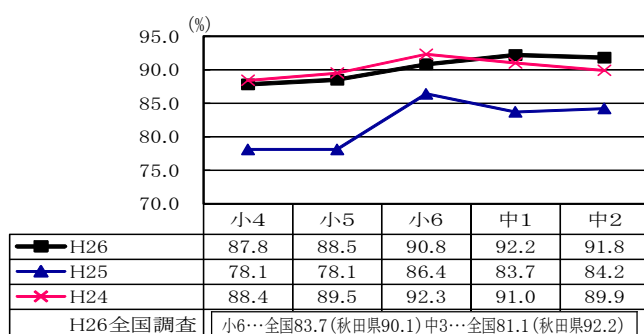
折れ線グラフ……肯定的回答の割合の経年比較

[4-1] ふだんの授業では、自分の考えを発表する機会があると思う

①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる ③どちらかといえば当てはまらない ④当てはまらない



「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合

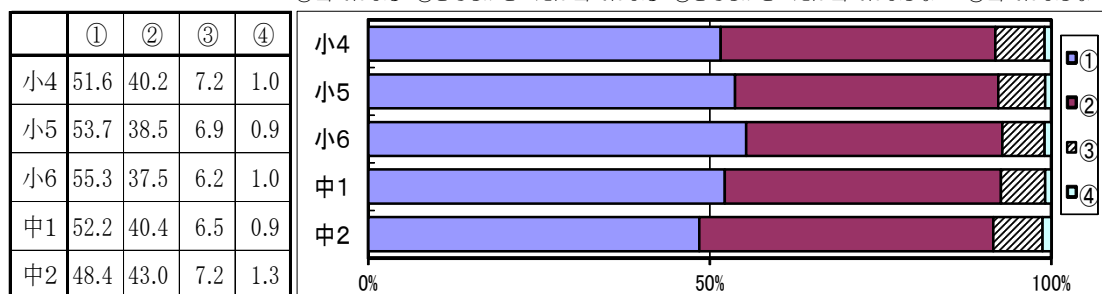


全ての学年において、ほぼ90%が肯定的な回答をしており、全ての学年で昨年度より高くなっている。また、中学校における割合は、小学校に比べて高くなっている。

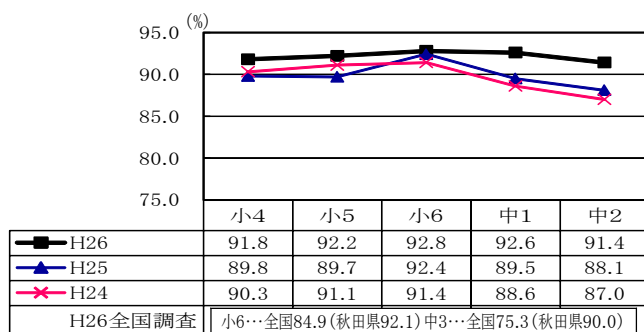
ふだんの授業において、児童生徒が発表する場がしっかりと設定されていることがうかがえる。

[4-2] ふだんの授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っている

①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる ③どちらかといえば当てはまらない ④当てはまらない



「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合

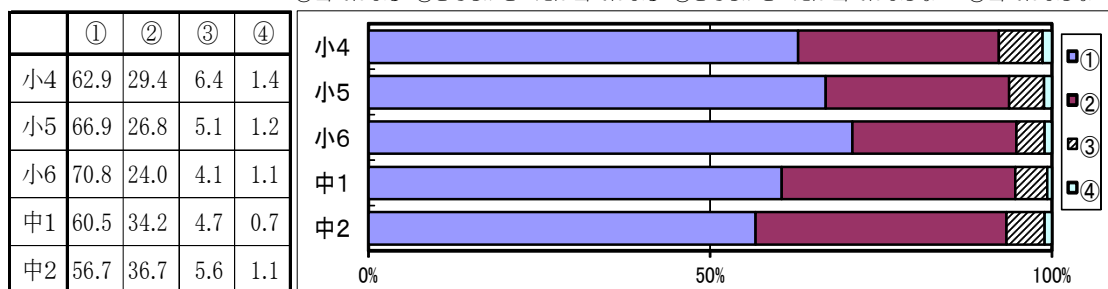


肯定的な回答の割合が、全ての学年で90%以上と高い数値を示しており、中学校では、年々少しずつ増えてきている。

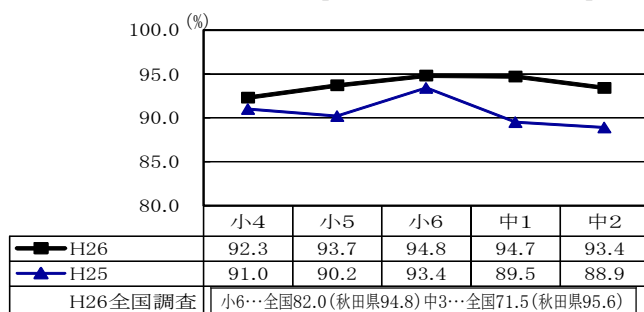
ふだんの授業において、児童生徒が話し合いを行う場面を意図的に設定し、言語活動の充実が図られていることがうかがえる。

〔４－３〕 ふだんの授業では、はじめに授業の目標（めあて・ねらい）を立てて取り組んでいると思う

①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる ③どちらかといえば当てはまらない ④当てはまらない



「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合

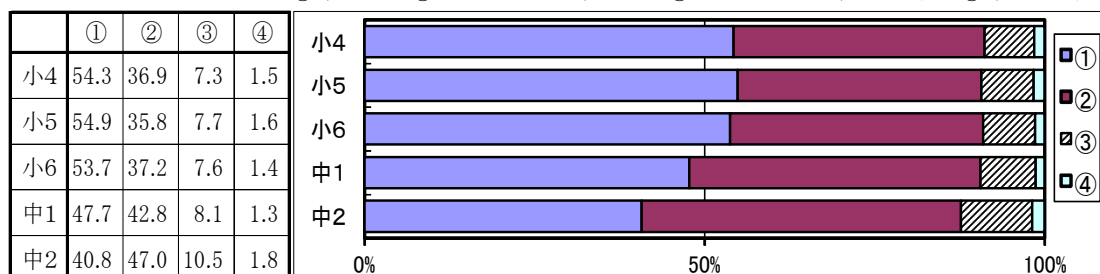


肯定的な回答の割合が、全ての学年で90%以上であり、全ての学年で昨年度より高くなっている。特に、中学校でその傾向が高い。

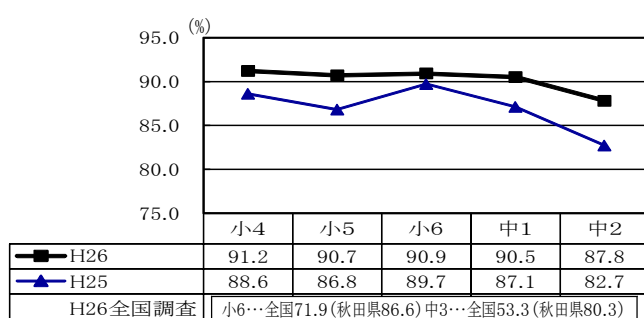
児童生徒が学習に見通しをもち、主体的に学習に取り組むことができるよう導入場面を工夫していることがうかがえる。

〔４－４〕 ふだんの授業では、最後に振り返る活動をよく行っていると思う

①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる ③どちらかといえば当てはまらない ④当てはまらない



「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合



小学校では90%以上、中学校では80%以上が、肯定的な回答をしており、昨年度より肯定的な回答をしている割合が高くなっている。特に、中学校でその傾向が高い。

各学校において、振り返りを大切にした取組が進められていることがうかがえる。

⑦ 教科の好き嫌い

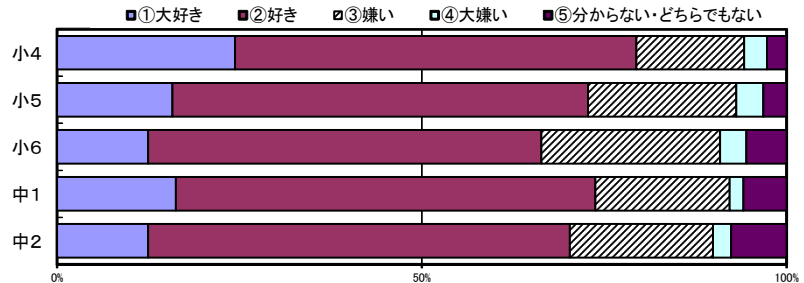
[グラフ等の見方]

表及び帯グラフ……回答類型ごとの割合 (%)

折れ線グラフ……肯定的回答の割合の経年比較

【国語】

	①	②	③	④	⑤
小4	24.4	55.0	14.8	3.1	2.7
小5	15.8	57.0	20.3	3.7	3.2
小6	12.5	53.9	24.5	3.6	5.5
中1	16.3	57.5	18.4	1.9	5.9
中2	12.5	57.8	19.6	2.5	7.6

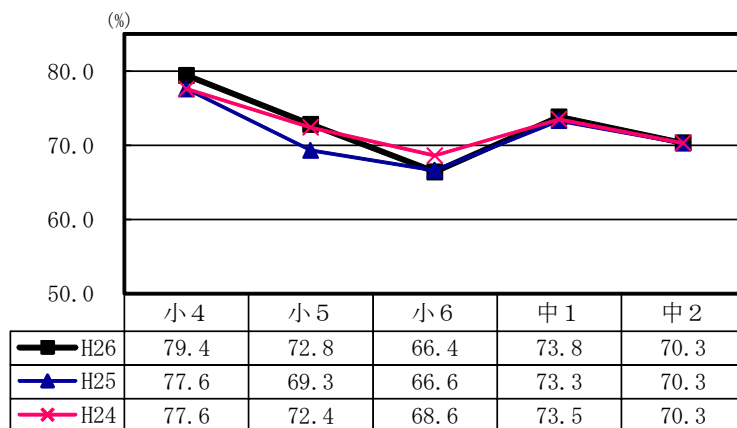


[好きな理由・嫌いな理由]

%は全児童生徒に対する割合

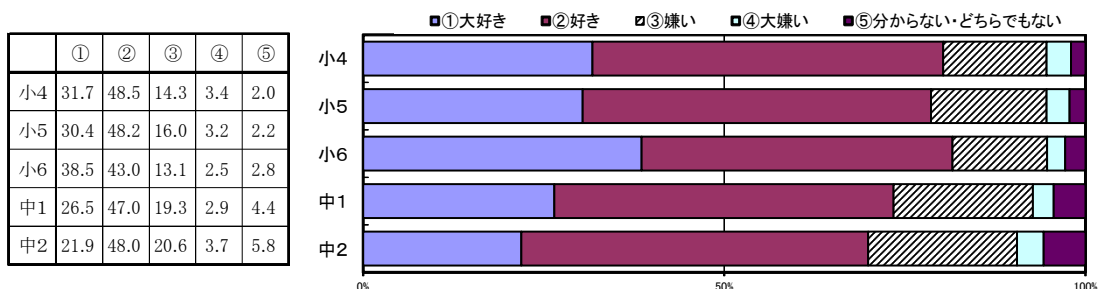
	国語	小4	小5	小6	中1	中2
好きな理由	① 内容に興味があっておもしろい	19.3%	16.3%	13.5%	18.9%	18.8%
	② 分かりやすい	18.5%	14.6%	10.7%	16.0%	14.7%
	③ 将来、社会に出たときに役立つ	10.0%	13.9%	17.0%	15.1%	14.9%
	④ 生活の中で役立つ	9.5%	9.5%	10.3%	9.0%	8.7%
	⑤ 考えるのが楽しい	13.5%	10.5%	9.9%	9.2%	7.7%
	⑥ 得意	6.7%	5.4%	4.8%	5.7%	6.6%
嫌いな理由	⑦ 内容に興味がない	3.0%	4.2%	5.3%	3.7%	5.2%
	⑧ 分かりにくい	5.1%	5.5%	5.5%	3.6%	4.7%
	⑨ 将来、社会に出たときに役立たない	0.1%	0.0%	0.1%	0.1%	0.2%
	⑩ 生活の中で役立たない	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.2%
	⑪ 考えるのがめんどろ	2.0%	2.7%	3.3%	1.9%	2.8%
	⑫ 不得意	6.8%	10.7%	14.1%	11.1%	9.7%
	⑬ その他・不明	5.3%	6.5%	5.5%	5.6%	5.9%

「大好き」「好き」と回答した割合の推移



小学校では、肯定的な回答の割合が学年が上がるに従って減少しているが、好きな理由として、「将来、社会に出たときに役立つ」「生活の中で役立つ」という回答は学年が上がるに従って高くなっている。中学校では、肯定的な回答の割合が小学校第6学年より高くなり、好きな理由として「内容に興味があっておもしろい」「分かりやすい」という回答が相対して高くなっている。

【社会】

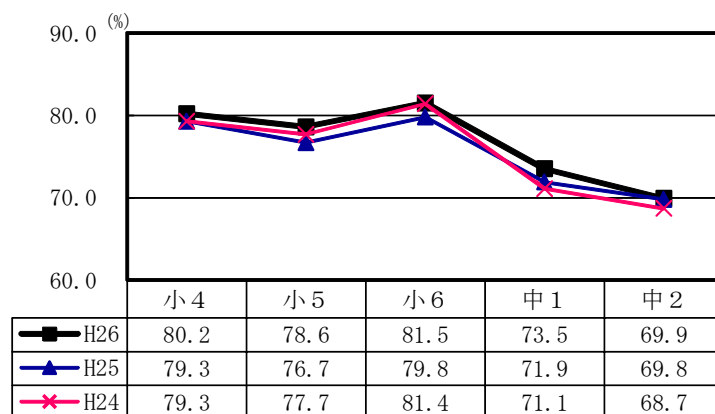


〔好きな理由・嫌いな理由〕

%は全児童生徒に対する割合

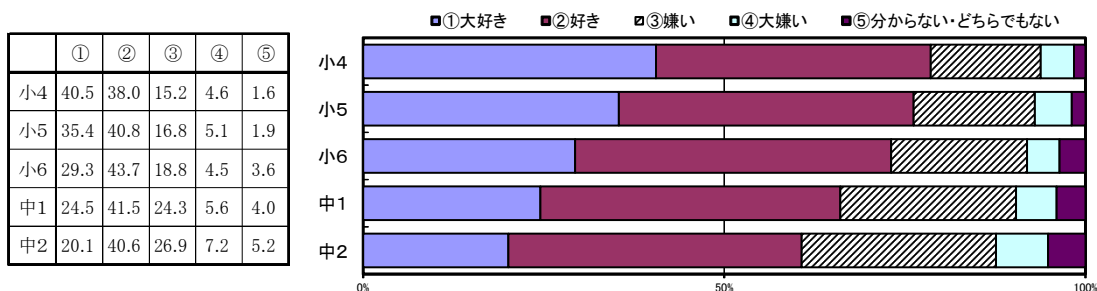
	社会	小4	小5	小6	中1	中2
好きな理由	① 内容に興味があっておもしろい	14.4%	18.1%	40.3%	33.3%	31.4%
	② 分かりやすい	9.9%	10.1%	9.0%	11.2%	12.0%
	③ 将来、社会に出たときに役立つ	34.1%	31.4%	14.5%	12.5%	10.6%
	④ 生活の中で役立つ	10.3%	7.0%	2.9%	3.2%	3.4%
	⑤ 考えるのが楽しい	7.0%	6.6%	8.8%	8.4%	6.9%
	⑥ 得意	3.6%	4.4%	6.0%	4.7%	6.0%
嫌いな理由	⑦ 内容に興味が無い	3.7%	3.3%	3.0%	3.3%	4.6%
	⑧ 分かりにくい	5.8%	5.4%	3.8%	5.5%	6.3%
	⑨ 将来、社会に出たときに役立たない	0.3%	0.1%	0.4%	0.8%	1.2%
	⑩ 生活の中で役立たない	0.3%	0.2%	0.3%	0.5%	0.9%
	⑪ 考えるのがめんどろ	1.6%	1.6%	1.0%	1.1%	1.0%
	⑫ 不得意	5.7%	8.0%	6.9%	11.2%	10.9%
	⑬ その他・不明	3.4%	3.8%	3.0%	4.3%	5.0%

「大好き」「好き」と回答した割合の推移



小学校では80%程度、中学校では70%程度が肯定的な回答をしており、全ての学年で、肯定的な回答の割合が、この3年間で最も高くなっている。小学校第4・5学年では、「将来、社会に出たときに役立つ」という回答の割合が比較的高く、小学校第6学年及び中学校第1・2学年では、「内容に興味があっておもしろい」という回答の割合が比較的高くなっている。

【算数、数学】

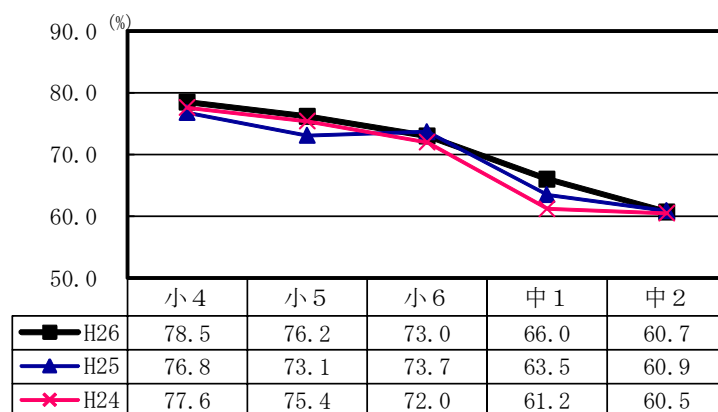


[好きな理由・嫌いな理由]

%は全児童生徒に対する割合

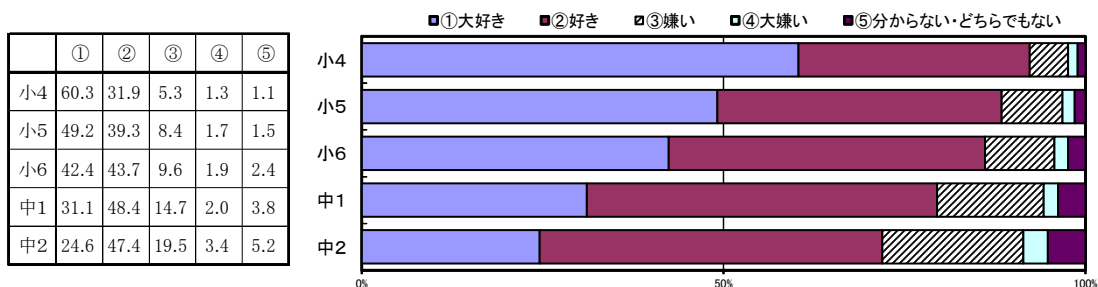
算数、数学		小4	小5	小6	中1	中2
好きな理由	① 内容に興味があっておもしろい	9.6%	10.1%	7.9%	8.1%	8.6%
	② 分かりやすい	13.3%	13.3%	10.9%	11.9%	10.4%
	③ 将来、社会に出たときに役立つ	10.2%	11.5%	15.8%	12.5%	8.9%
	④ 生活の中で役立つ	13.2%	11.3%	13.2%	9.4%	6.3%
	⑤ 考えるのが楽しい	19.4%	18.1%	16.8%	16.6%	19.0%
	⑥ 得意	12.0%	10.9%	9.3%	8.0%	8.2%
嫌いな理由	⑦ 内容に興味が無い	1.5%	1.7%	1.9%	2.3%	3.4%
	⑧ 分かりにくい	6.6%	5.9%	5.5%	7.8%	8.4%
	⑨ 将来、社会に出たときに役立たない	0.1%	0.1%	0.1%	0.3%	0.6%
	⑩ 生活の中で役立たない	0.1%	0.1%	0.1%	0.2%	0.7%
	⑪ 考えるのがめんどろ	3.1%	3.6%	4.3%	3.9%	4.4%
	⑫ 不得意	7.8%	9.7%	11.4%	15.9%	17.3%
	⑬ その他・不明	3.2%	3.7%	2.8%	3.1%	3.8%

「大好き」「好き」と回答した割合の推移



肯定的な回答の割合は、小学校から中学校へと学年が上がるに従って減少しているが、好きな理由として、「考えるのが楽しい」という回答の割合が全ての学年で比較的高くなっている。また、「分かりやすい」という回答の割合が、全ての学年で昨年度より高くなっている。一方、嫌いな理由として、「分かりにくい」「不得意」という回答の割合が高く、「不得意」という回答は学年が上がるに従って高くなっている。

【理科】

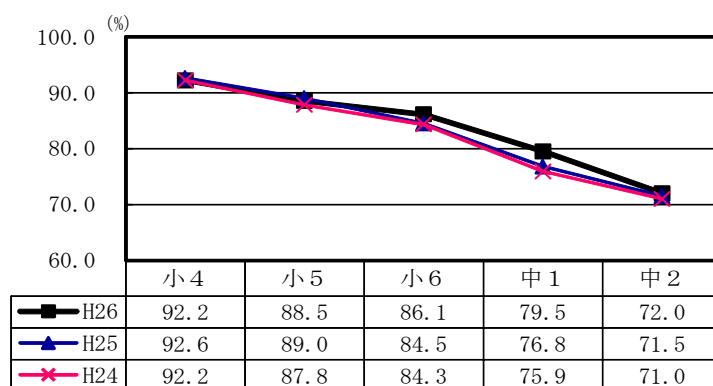


[好きな理由・嫌いな理由]

%は全児童生徒に対する割合

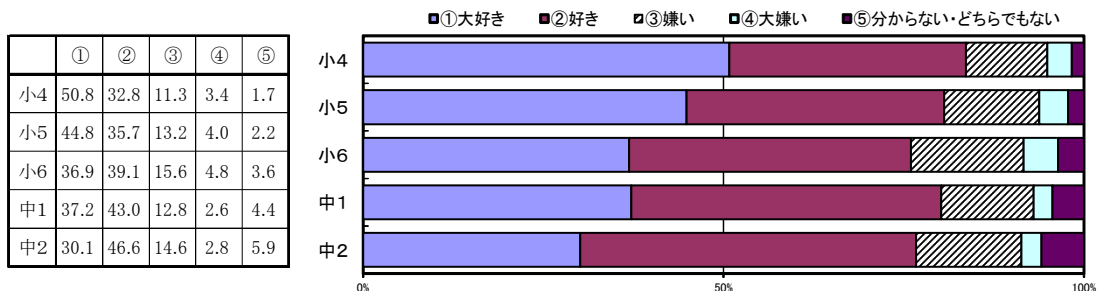
	理科	小4	小5	小6	中1	中2
好きな理由	① 内容に興味があっておもしろい	33.4%	34.2%	33.6%	34.5%	32.2%
	② 分かりやすい	10.4%	11.7%	11.9%	10.8%	9.5%
	③ 将来、社会に出たときに役立つ	4.2%	4.8%	4.6%	4.0%	3.7%
	④ 生活の中で役立つ	9.3%	6.7%	7.5%	6.8%	6.3%
	⑤ 考えるのが楽しい	22.4%	19.3%	18.0%	15.5%	12.9%
	⑥ 得意	10.1%	9.2%	8.9%	6.6%	7.0%
嫌いな理由	⑦ 内容に興味が無い	1.1%	1.7%	2.9%	2.3%	3.3%
	⑧ 分かりにくい	1.8%	2.7%	2.6%	4.6%	7.3%
	⑨ 将来、社会に出たときに役立たない	0.1%	0.4%	0.5%	1.0%	1.3%
	⑩ 生活の中で役立たない	0.3%	0.2%	0.4%	0.5%	0.7%
	⑪ 考えるのがめんどろ	0.6%	0.9%	0.8%	1.0%	1.6%
	⑫ 不得意	2.3%	3.5%	3.9%	7.4%	9.3%
	⑬ その他・不明	4.0%	4.5%	4.4%	5.1%	4.9%

「大好き」「好き」と回答した割合の推移



小学校では、肯定的な回答の割合が高く、他の教科と比べても高い数値になっている。中学校では、肯定的な回答の割合がこの3年間で最も高い。しかし、学年が上がるに従って肯定的な回答の割合が低くなる傾向は、例年と同様に見られる。好きな理由として、「考えるのが楽しい」と回答した割合が、昨年（選択肢は「考えるのが好き」）よりも5～11%増えている。

【音楽】

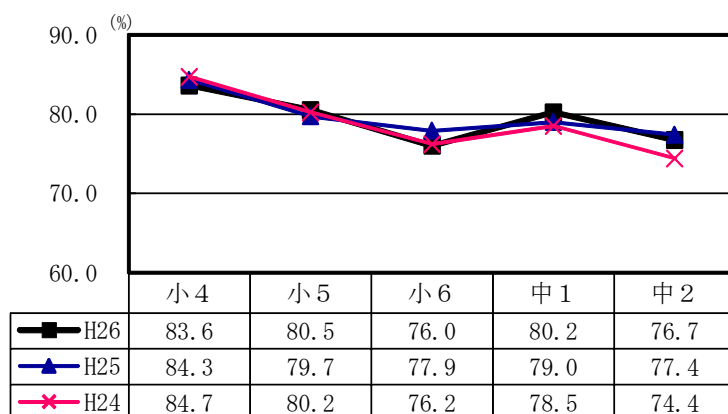


[好きな理由・嫌いな理由]

%は全児童生徒に対する割合

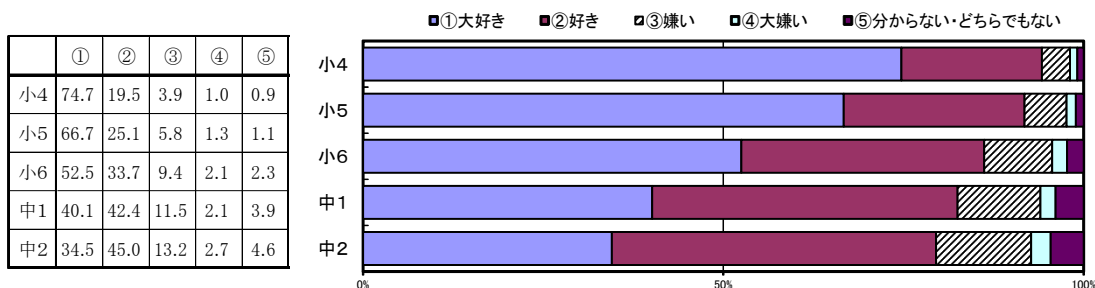
音楽		小4	小5	小6	中1	中2
好きな理由	① 内容に興味があっておもしろい	22.1%	26.3%	25.9%	37.2%	38.7%
	② 分かりやすい	13.4%	10.7%	9.9%	9.1%	7.1%
	③ 将来、社会に出たときに役立つ	2.2%	1.5%	1.9%	1.6%	1.3%
	④ 生活の中で役立つ	2.8%	2.2%	2.2%	2.0%	1.6%
	⑤ 考えるのが楽しい	7.6%	6.4%	5.6%	6.4%	5.7%
	⑥ 得意	25.7%	22.9%	19.8%	15.1%	13.3%
嫌いな理由	⑦ 内容に興味が無い	2.2%	3.1%	3.9%	3.4%	5.1%
	⑧ 分かりにくい	2.8%	2.8%	2.1%	1.0%	0.9%
	⑨ 将来、社会に出たときに役立たない	0.7%	1.4%	1.8%	1.9%	2.5%
	⑩ 生活の中で役立たない	0.6%	0.7%	1.3%	1.0%	1.5%
	⑪ 考えるのがめんどろ	0.4%	0.3%	0.4%	0.3%	0.5%
	⑫ 不得意	6.8%	8.5%	10.5%	7.6%	7.1%
	⑬ その他・不明	12.7%	13.2%	14.6%	13.2%	14.8%

「大好き」「好き」と回答した割合の推移



肯定的な回答の割合は、全ての学年で8割程度と高くなっている。好きな理由としては、「内容に興味があっておもしろい」という回答の割合が比較的高く、学年が上がるに従って高くなっている。また、「分かりやすい」「得意」という項目は、全ての学年で昨年度より高くなっている。

【図画工作、美術】

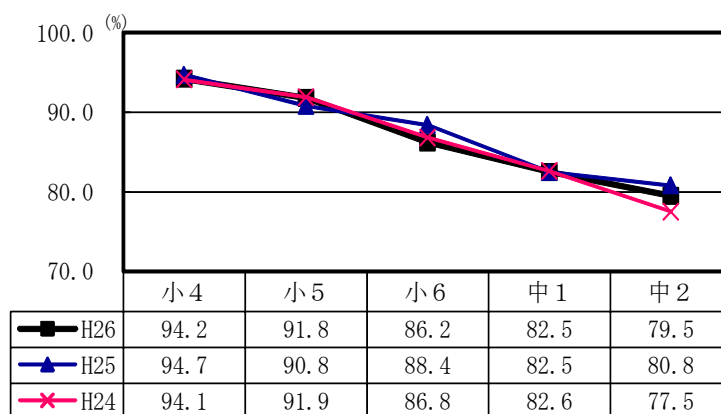


[好きな理由・嫌いな理由]

%は全児童生徒に対する割合

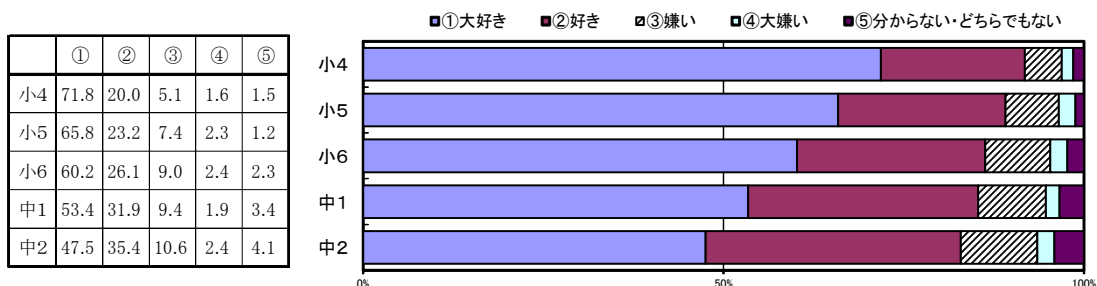
	図画工作、美術	小4	小5	小6	中1	中2
好きな理由	① 内容に興味があっておもしろい	28.4%	33.5%	31.5%	37.0%	38.0%
	② 分かりやすい	4.9%	4.0%	4.2%	5.9%	4.6%
	③ 将来、社会に出たときに役立つ	2.4%	1.8%	1.9%	1.4%	1.2%
	④ 生活の中で役立つ	3.9%	3.2%	3.7%	2.6%	2.2%
	⑤ 考えるのが楽しい	21.7%	22.3%	20.3%	17.1%	14.8%
	⑥ 得意	26.9%	21.2%	18.6%	13.0%	12.5%
嫌いな理由	⑦ 内容に興味が無い	0.7%	1.0%	1.8%	2.7%	3.6%
	⑧ 分かりにくい	0.3%	0.3%	0.4%	0.5%	0.5%
	⑨ 将来、社会に出たときに役立たない	0.4%	0.4%	0.8%	1.7%	1.8%
	⑩ 生活の中で役立たない	0.2%	0.3%	0.5%	0.9%	1.1%
	⑪ 考えるのがめんどろ	0.4%	0.5%	0.6%	0.5%	0.6%
	⑫ 不得意	2.8%	3.9%	7.1%	7.2%	8.4%
	⑬ その他・不明	7.1%	7.6%	8.6%	9.5%	10.8%

「大好き」「好き」と回答した割合の推移



肯定的な回答の割合は全ての学年で高く、小学校では90%程度、中学校では80%程度となっている。特に、肯定的な回答のうち「大好き」と回答している割合が、小学校では50%を超えている。また、好きな理由としては、「内容に興味があっておもしろい」「考えるのが楽しい」「得意」という回答の割合が高くなっており、「得意」については、全ての学年で昨年度より高くなっている。

【体育、保健体育】

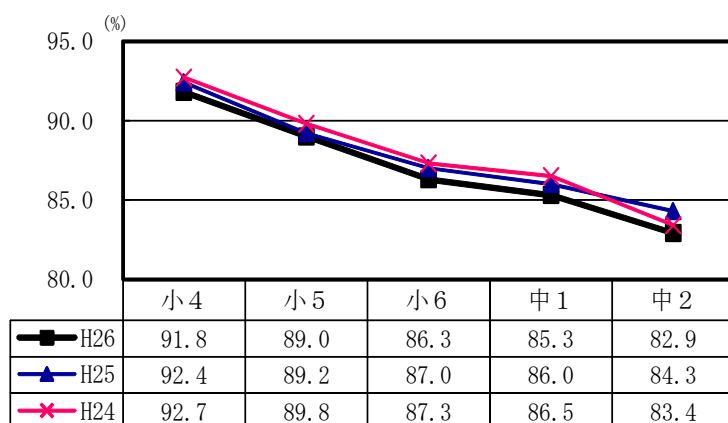


[好きな理由・嫌いな理由]

%は全児童生徒に対する割合

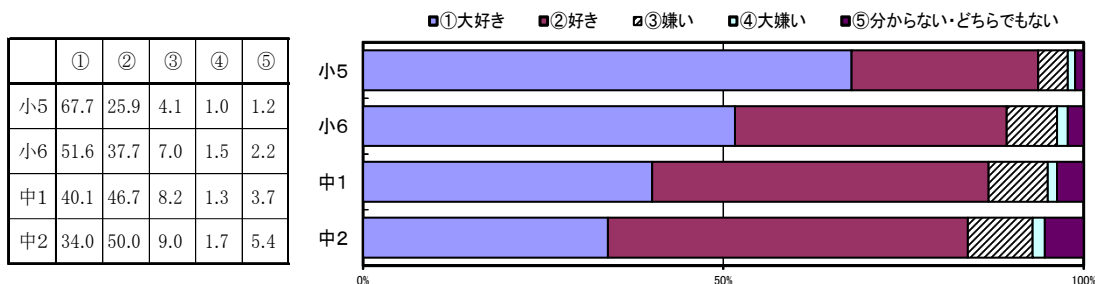
体育、保健体育		小4	小5	小6	中1	中2
好きな理由	① 内容に興味があっておもしろい	23.6%	26.4%	26.5%	32.7%	33.9%
	② 分かりやすい	4.1%	4.0%	3.8%	4.4%	3.3%
	③ 将来、社会に出たときに役立つ	3.8%	3.4%	3.5%	3.7%	3.1%
	④ 生活の中で役立つ	6.7%	5.2%	4.6%	5.6%	4.8%
	⑤ 考えるのが楽しい	2.1%	2.1%	1.8%	2.7%	2.6%
	⑥ 得意	40.6%	36.9%	34.7%	28.9%	27.1%
嫌いな理由	⑦ 内容に興味がない	0.6%	0.8%	1.1%	1.2%	1.4%
	⑧ 分かりにくい	0.2%	0.2%	0.1%	0.2%	0.3%
	⑨ 将来、社会に出たときに役立たない	0.3%	0.4%	0.6%	0.5%	0.4%
	⑩ 生活の中で役立たない	0.2%	0.2%	0.2%	0.3%	0.2%
	⑪ 考えるのがめんどろ	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.2%
	⑫ 不得意	5.0%	7.4%	9.3%	8.8%	10.1%
	⑬ その他・不明	12.9%	12.8%	13.8%	10.9%	12.5%

「大好き」「好き」と回答した割合の推移



全ての学年で肯定的な回答の割合が高く、昨年度と同様に、「大好き」の割合が「好き」の割合を上回っている。また、学年進行に伴う肯定的な回答の減少の程度は、他の教科に比べて非常に小さい。また、「内容に興味があっておもしろい」の割合は、学年が上がるに従って高くなっている。

【家庭、技術・家庭】

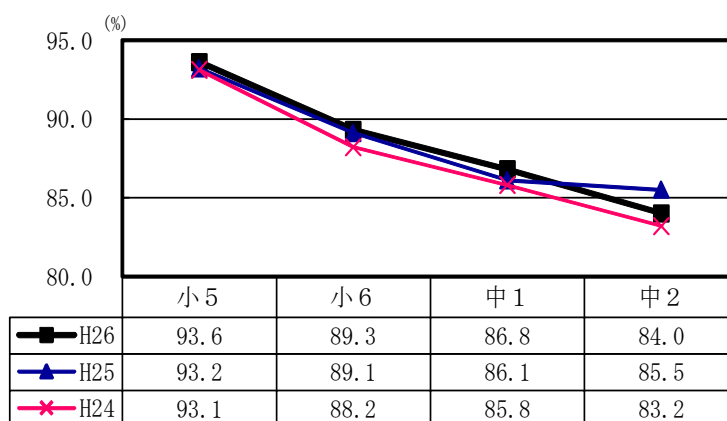


[好きな理由・嫌いな理由]

%は全児童生徒に対する割合

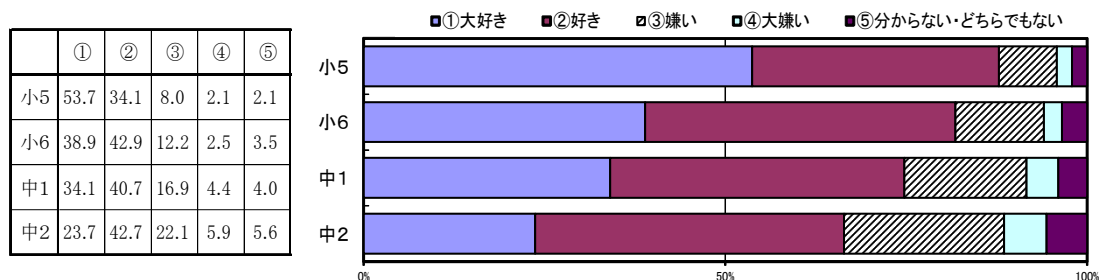
家庭、技術・家庭		小5	小6	中1	中2
好きな理由	① 内容に興味があっておもしろい	20.1%	14.7%	26.2%	27.3%
	② 分かりやすい	5.1%	3.9%	5.2%	4.6%
	③ 将来、社会に出たときに役立つ	14.9%	16.6%	13.6%	13.2%
	④ 生活の中で役立つ	33.4%	37.7%	22.9%	22.0%
	⑤ 考えるのが楽しい	3.4%	3.0%	8.2%	6.9%
	⑥ 得意	14.5%	11.8%	9.6%	9.2%
嫌いな理由	⑦ 内容に興味がない	1.1%	1.9%	2.4%	3.6%
	⑧ 分かりにくい	0.7%	1.1%	1.2%	1.3%
	⑨ 将来、社会に出たときに役立たない	0.1%	0.1%	0.3%	0.3%
	⑩ 生活の中で役立たない	0.1%	0.1%	0.2%	0.1%
	⑪ 考えるのがめんどろ	0.2%	0.3%	0.6%	0.6%
	⑫ 不得意	2.7%	4.8%	4.6%	4.6%
	⑬ その他・不明	3.7%	4.0%	5.0%	6.3%

「大好き」「好き」と回答した割合の推移



全ての学年で肯定的な回答の割合が高く、中でも、教科の学習が始まる小学校第5学年では、「大好き」と回答している割合が65%を超え、昨年度よりも高くなっている。また、好きな理由として、「将来、社会に出たときに役立つ」と回答した割合が全ての学年で10%を超え、「生活の中で役立つ」と回答した割合は、小学校では30%以上、中学校では20%以上となっている。

【英語（小学校外国語活動、中学校外国語）】

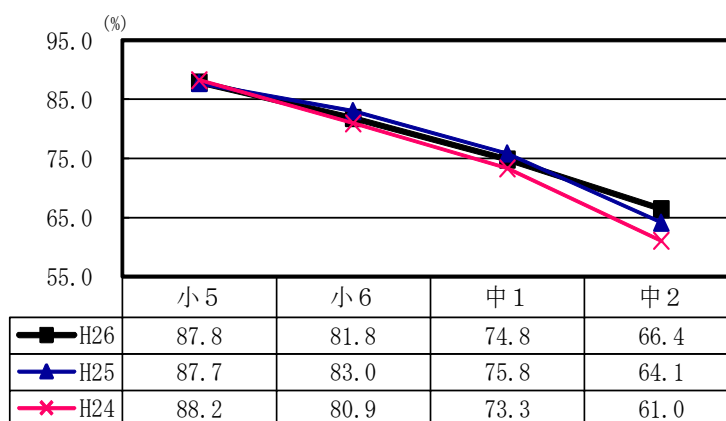


[好きな理由・嫌いな理由]

%は全児童生徒に対する割合

	外国語活動、外国語（英語）	小5	小6	中1	中2
好きな理由	① 内容に興味があっておもしろい	21.9%	17.7%	14.6%	13.4%
	② 分かりやすい	9.6%	8.5%	9.0%	8.4%
	③ 将来、社会に出たときに役立つ	27.6%	31.9%	29.3%	26.8%
	④ 生活の中で役立つ	5.6%	6.2%	4.9%	5.2%
	⑤ 考えるのが楽しい	11.9%	8.5%	6.4%	5.5%
	⑥ 得意	7.9%	6.8%	9.7%	7.6%
嫌いな理由	⑦ 内容に興味がない	1.8%	2.2%	2.1%	2.7%
	⑧ 分かりにくい	3.8%	5.4%	6.1%	8.0%
	⑨ 将来、社会に出たときに役立たない	0.1%	0.1%	0.4%	0.6%
	⑩ 生活の中で役立たない	0.2%	0.3%	0.4%	0.8%
	⑪ 考えるのがめんどろ	0.5%	0.8%	1.1%	1.7%
	⑫ 不得意	3.1%	5.8%	11.2%	14.4%
	⑬ その他・不明	6.0%	5.8%	5.0%	4.8%

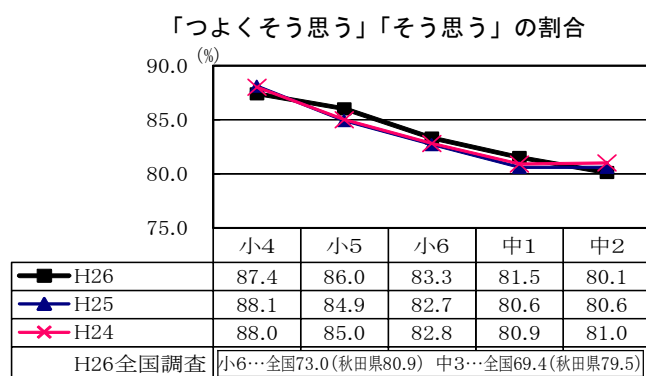
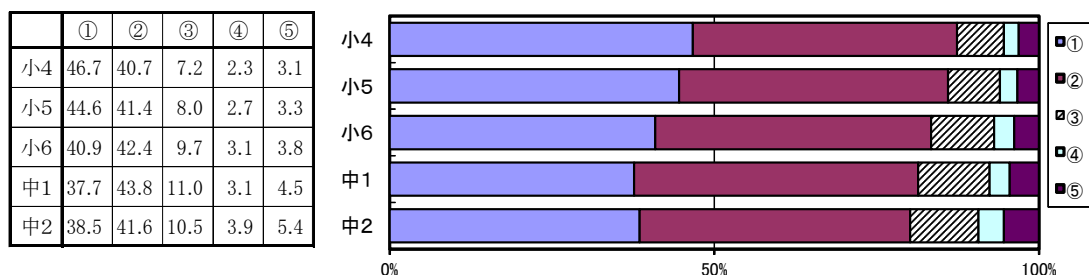
「大好き」「好き」と回答した割合の推移



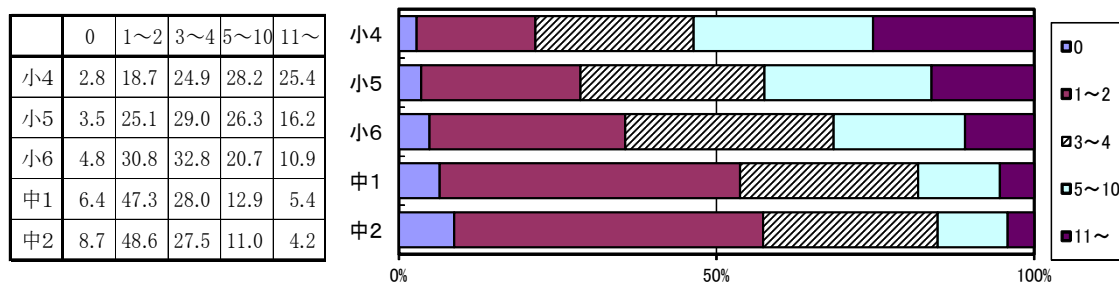
小学校外国語活動については、肯定的な回答が80%以上と高く、中学校英語については、肯定的な回答の割合が70%程度である。好きな理由として、「内容に興味があっておもしろい」という回答の割合が、学年が上がるに従って減少するものの、全ての学年で「将来、社会に出たときに役立つ」という回答の割合が高い。

⑧ 読書について
 [読書は好きだ]

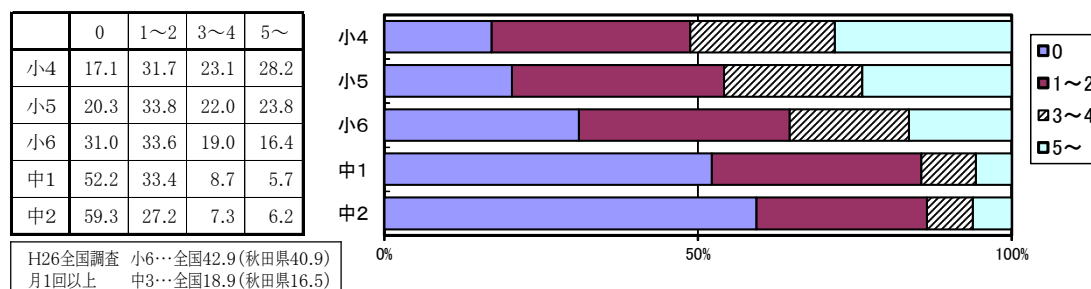
①つよくそう思う ②そう思う ③そう思わない ④まったくそう思わない ⑤分からない・どちらでもない



[1か月に何冊くらい本を読むか(教科書・学習参考書・マンガ・雑誌や付録を除く)]



[1か月に何回くらい図書館を利用するか]



全ての学年において、児童生徒の80%以上が読書が好きだという意識をもっている。また、児童生徒の90%以上が1か月に1冊以上の本を読んでおり、特に小学校では1か月に5冊以上の本を読んでいる児童が30%以上いることから、日常的に読書に親しんでいる様子がうかがえる。図書館の利用回数については、小学校では月に1回以上利用している児童がおよそ7割いるが、中学校では月に1回以上利用している生徒は5割を下回っている。

4 結果と考察 (1)国語

平成26年度小学校学習状況調査 第4学年 国語 評価規準と評価の観点

学 年	領 域	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点		
					書 く 能 力	読 む 能 力	知 言 識 語 ・ に 理 つ 解 い ・ て 技 の 能
第 4 学 年	書 く こ と	ア(3・4年)	・日常的に興味や関心をもっていることなどから、自分なりに関心を深めて書いている。	12)	○		
		ウ(3・4年)	・書こうとする文章の特性を理解し、目的や条件に応じて適切に書いている。		○		
	読 む こ と	ウ(3・4年)	・叙述を基に、登場人物の状況を把握し、気持ちを想像しながら読んでいる。	7)		○	
				8)		○	
				9)		○	
			・場面や情景の移り変わりとともに、変化する登場人物の気持ちを捉えて読んでいる。	10)		○	
				11)		○	
	伝 統 的 な 言 語 文 化 と 国 語 の 特 質 に 関 す る 事 項	(1)ウ(イ) (3・4年)	・第4学年までに配当されている漢字について、文や文章の中で正しく読んでいる。	1)			○
				2)			○
			・第3学年までに配当されている漢字について、文や文章の中で正しく書いている。	3)			○
				4)			○
		(1)イ(キ) (3・4年)	・修飾と被修飾との関係について正しく理解している。	5)			○
		(1)イ(ク) (3・4年)	・接続語が文と文との意味のつながりを果たす役割を理解している。	6)			○

小学校 4 年 国語 小問別通過率と設定通過率

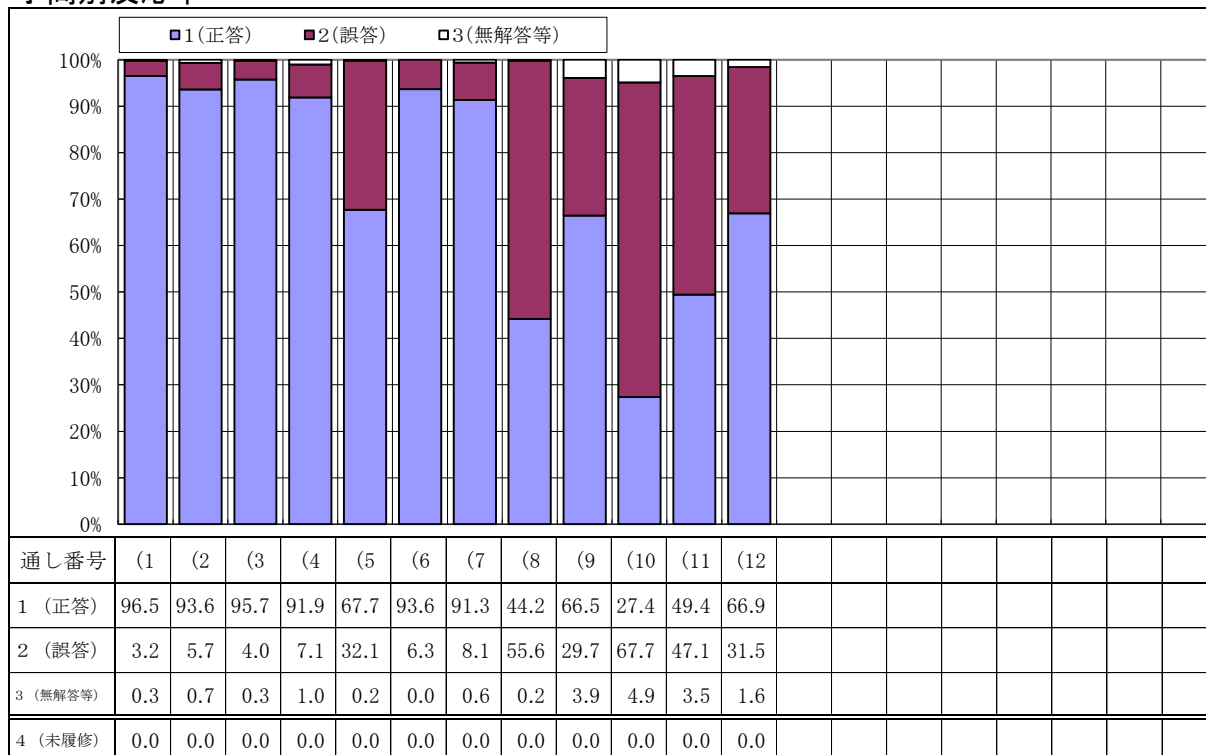
平均通過率 73.7%

通し 番号	出 題 内 容	通過率 (%)	設 定 通過率 (%)	0% 100%
(1)	漢字の読み (治るーなおる)	96.5%	85.0%	
(2)	漢字の読み (森林ーしんりん)	93.6%	85.0%	
(3)	漢字の書き (仕事)	95.7%	85.0%	
(4)	漢字の書き・正しい送り仮名 (温める)	91.9%	85.0%	
(5)	修飾・被修飾	67.7%	65.0%	
(6)	文と文をつなぐ言葉	93.6%	85.0%	
(7)	内容の理解 (短答)	91.3%	85.0%	
(8)	内容の理解 (選択)	44.2%	60.0%	
(9)	内容の理解 (記述)	66.5%	65.0%	
(1 0)	内容の理解 (記述)	27.4%	60.0%	
(1 1)	内容の理解 (記述)	49.4%	60.0%	
(1 2)	想像をして文章を書く (作文)	66.9%	70.0%	

※「——」 は設定通過率±10%を示している。

小学校 4年 国語

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (223校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	平均 通過率
100%	101	77	93	64	8	63	56	2	9	1	2	35	
90～100%	106	93	100	88	7	111	83	2	4	1	1	34	
80～90%	14	41	24	58	43	42	70	2	34	2	7	39	44
70～80%	1	10	6	7	52	7	10	14	46	9	20	27	122
60～70%	1	2		4	61		3	15	69	14	34	18	53
50～60%				2	32		1	36	37	19	47	9	4
40～50%					17			68	13	31	34	13	
30～40%					2			64	9	28	44	16	
20～30%								15	2	23	20	12	
10～20%								4		37	10	13	
0～10%					1			1		58	4	7	

※表中の数値は設問数

2 考察

①「書くこと」と「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」についての学習状況はおおむね良好である。

(2) 成果

②「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、漢字の読み書き、修飾・被修飾、接続語の働きについて指導の成果が見られる。

①「読むこと」では、叙述を基に、登場人物の状況を把握し、気持ちを想像しながら読み取る力を伸ばしていく必要がある。

②「読むこと」では、場面や情景の移り変わりとともに、変化する登場人物の気持ちを捉えて読み取る力を伸ばしていく必要がある。

「読むこと」では、叙述を基に、登場人物の状況を把握し、気持ちを想像しながら読み取る力を伸ばす指導の充実を図る。

- ・文章中の言葉や話の展開に即して、登場人物の言動の意味を考えさせるなど、叙述を基に捉えさせる指導を工夫する。
- ・登場人物の言動を、前後の叙述と関連付けて読む活動を取り入れるなど、登場人物の心情を読み取る指導の工夫を図る。
- ・読み取ったことをお互いに伝え合うなど、交流することにより自分の考え方を深める言語活動を取り入れた指導過程を工夫する。

「読むこと」では、読み取ったことを条件に応じてまとめるなどの言語活動を設定し、場面と場面を関連付けながら登場人物の気持ちを捉える指導の充実を図る。

- ・登場人物の性格や気持ちを考える際には、細部の読み取りとともに、各場面の様子に気を付けながら場面と場面を関連付けて読む活動を取り入れる。
- ・要約する目的を明確にし、表現の生かし方などを考え、要点や細かい点に注意しながら書く経験を積み重ねていく。

9) おじいちゃん、さびしそうな顔でぼくを見た。とありますが、このときのおじいちゃんがふみやに伝えたかったことはどんなことですか。文中の言葉を使って、**三十字以内**で書きなさい。

8) おじいちゃんがじつとぼくを見た　とありますが、おじいちゃん**が**ぼくを「じつと」見た理由に当てはまるものを、次のア～エから一つ選んで、□の中に記号を書きなさい。

ア	ふみやの本当の気持ちをさぐっているから。
イ	ふみやに対して無言の注意をしているから。
ウ	ふみやの言葉に心からがっかりしているから。
エ	ふみやの両親に対していかりがこみ上げたから。

平成26年度小学校学習状況調査 第5学年 国語 評価規準と評価の観点

学 年	領 域	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点			
					聞 く 能 力	話 す 能 力	書 く 能 力	読 む 能 力 知 識 ・ 理 解 ・ 技 能
第 5 学 年	聞 話 く す こ と	イ(5・6年)	・伝えたいことの根拠や事例を挙げながら筋道立てて、話す内容を考えている。	14)	○			
		エ(5・6年)	・話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べて考えている。	15)	○			
	こ 書 と く	ウ(3・4年)	・言葉の意味を実感した事例を挙げて書いている。	16)		○		
	読 む こ と	イ(3・4年)	・段落の内容を押さえ、段落相互の関係を考えて読んでいる。	10)			○	
		エ(3・4年)	・文章の要点や細かいところに注意しながら読み、文章を要約している。	11)			○	
		イ(3・4年)	・中心となる語や文を捉えて段落相互の関係を考え、文章を読んでいる。	12)			○	
		イ(5・6年)	・目的に応じて文や文章を比べて読むなど効果的な読み方を工夫している。	13)			○	
	伝 統 的 な 言 語 文 化 と 国 語 の 特 質 に 関 す る 事 項	(1)ウ(7) (5・6年)	・第5学年までに配当されている漢字を、文や文章の中で正しく読んでいる。	1) 2)				○
			・第4学年までに配当されている漢字を、文や文章の中で正しく書いている。	3) 4)				○
		(1)イ(エ) (5・6年)	・4種類の漢字の成り立ちを理解し、分類している。	5)				○
		(1)イ(キ) (3・4年)	・文の中での修飾と被修飾との関係について理解している。	6)				○
		(1)ア(イ) (5・6年)	・俳句の季語の役割を理解し、俳句に詠まれている季節を理解している。	7)				○
		(1)イ(エ) (5・6年)	・文脈に即して外来語を適切な漢語に直している。	8)				○
		(2)ウ (3・4年)	・漢字や仮名の大きさに気を付けて毛筆で書いている。	9)				○

小学校 5年 国語 小問別通過率と設定通過率

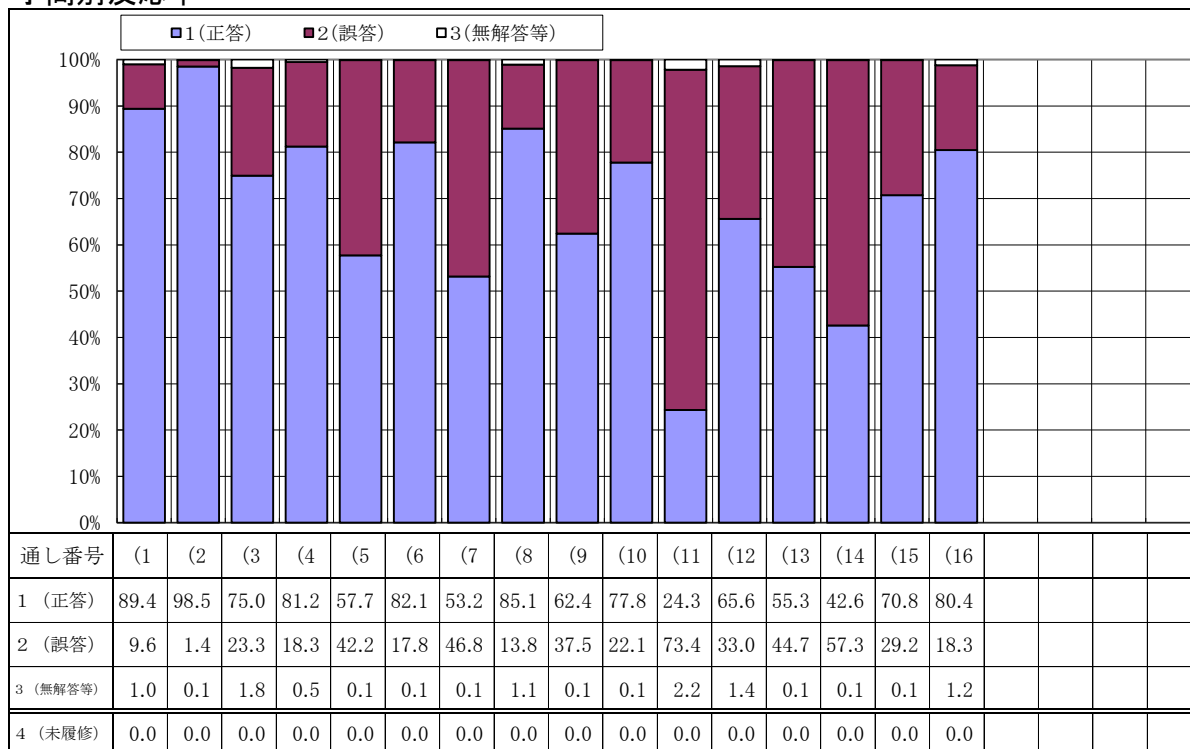
平均通過率 68.8%

通し 番号	出題内容	通過率 (%)	設定 通過率 (%)	0% 100%
(1)	漢字の読み（組織ーそしき）	89.4%	80.0%	
(2)	漢字の読み（述べるーのべる）	98.5%	80.0%	
(3)	漢字の書き（積極）	75.0%	80.0%	
(4)	漢字の書き（借りる）	81.2%	80.0%	
(5)	漢字の成り立ち	57.7%	65.0%	
(6)	修飾・被修飾	82.1%	75.0%	
(7)	俳句の季語	53.2%	60.0%	
(8)	漢語・和語・外来語	85.1%	70.0%	
(9)	書写（漢字や仮名の大きさ、配列）	62.4%	70.0%	
(10)	文の相互関係の理解	77.8%	75.0%	
(11)	内容の理解（記述）	24.3%	60.0%	
(12)	内容の理解（短答）	65.6%	70.0%	
(13)	内容の理解（選択）	55.3%	65.0%	
(14)	知識や情報を関連付けたスピーチ	42.6%	60.0%	
(15)	自分の意見と比較した聞き取り	70.8%	75.0%	
(16)	言葉と体験や考えを関連付けて書く（作文）	80.4%	75.0%	

※「——」 は設定通過率±10%を示している。

小学校 5年 国語

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (223校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	平均 通過率
100%	46	150	21	22	3	37	3	37	12	19	1	12	2	5	5	26	
90～100%	81	66	29	49	2	47	7	40	20	19		5			5	46	
80～90%	62	5	58	75	9	71	16	99	33	77	1	27	6	6	49	57	14
70～80%	26	1	53	42	32	41	24	35	28	64	4	58	23	3	72	54	96
60～70%	7		29	23	60	15	35	7	31	38	6	55	48	16	58	27	101
50～60%	1	1	24	10	55	6	51	4	26	6	8	44	79	41	24	9	12
40～50%			7	1	39	4	48		28		11	16	37	60	6	2	
30～40%			2		13	1	23		18		28	3	18	54	3	1	
20～30%				1	8		11	1	12		70	3	7	27		1	
10～20%					2	1	3		10		64		2	9			
0～10%							2		5		30		1	2	1		

小学校5年 国語 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

分類 設定通過率の	領 域 別				計
	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	
+10%より高い	0	0	0	2	2
±10%の範囲内	1	1	3	7	12
-10%より低い	1	0	1	0	2
計	2	1	4	9	16

2 考察

(1) 全体について

- ① 設定通過率の±10%の範囲内及び+10%より高い問題が16問中13問あり、学習状況はおおむね良好である。
- ② 設定通過率の±10%の範囲内ではあるが、漢字の成り立ちや季語の理解など、知識としての定着にやや課題が見られる。

(2) 成果

- ① 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、漢字の読み、修飾・被修飾語の関係、和語や漢語、外来語の理解についてはおおむね良好である。
- ② 「書くこと」では、ことわざや慣用句などのもつ意味と体験を結び付けて書くことについてはおおむね良好である。

(3) 課題

- ① 「読むこと」では、言い換えの表現の工夫に注意して読んだり、決められた字数で、文章の構成や表現をそのまま生かして要約したりする力が十分でない。
- ② 「話すこと・聞くこと」では、伝えたい事柄を明確に伝えるために、話し手がどのように話の構成を工夫しているかを考えながら聞くことに課題がある。

3 今後の指導

「読むこと」では、文章の内容を的確に押さえて要旨を捉える指導の充実を図る。

- ・ 指導事項ウの目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨を捉えて読むことと関連付けながら、決められた字数でまとめさせる指導が大切である。
- ・ 文学的な文章では、同じ内容を別の表現で言い換えている叙述を捉えたり、説明的な文章では、具体から抽象への言い換えを捉えたりする場や機会を意図的に設けて指導したい。

事柄が明確に伝わる話の構成の工夫については、三領域を関連させた指導の充実を図る。

- ・ 文章全体の構成については、説明的文章における「序論－本論－結論」などの構成や、物語における「現状認識－問題提起－解決－結論－展望」など、「書くこと」や「読むこと」の学習と関連させて指導することが効果的である。
- ・ このほか、話の構成の工夫については、事実と意見の区別、自分の立場の明確化、概説の導入など、実際に話す場面や原稿を推敲するなどして、その効果を実感させることが必要である。

14) エウイア
 自は問結
 分じ題ろ
 のま提ん
 意り起を
 見`を最
 に出し初
 理来てと
 由事か最
 をのら後
 をのら後
 つ起`に
 けこ答述
 てりえべ
 述とをる
 べ変述構
 る化べ成
 構`る
 成む構
 す成
 びの
 構
 成

のんしの
 中がた授秋
 に取`業山
 記り次でさ
 号入の学ん
 をれ①習は
 書たくし、
 き工⑤た聞
 な夫はこき
 さを`と手
 い`話をに
 次す二分
 の順つか
 ア番取り
 `にりや
 エな入す
 のられく
 中べて伝
 かた、え
 らメ発る
 ニモ表た
 つでメめ
 選すモに
 ん`を、
 で秋作説
 山り明
 さま文

11) で以外に
 書きな
 どのの
 さい。
 がでセ
 できるミ
 のよあ
 のとあ
 なり場
 様ま合
 子すは
 か、鳴
 らミ声
 知ンと
 るミし
 ことン
 がゼて
 でミ耳
 できの
 まの数
 すのっ
 か。変き
 三。化り
 十は、と
 以鳴
 内声

平成26年度小学校学習状況調査 第6学年 国語 評価規準と評価の観点

学 年	領 域	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点			
					話 す 能 力 聞 く 能 力	書 く 能 力	読 む 能 力	知 言 識 語 ・ に 理 解 い て 技 の 能
第 6 学 年	聞話 くす ことと	エ (5・6年)	・話し手の意図を捉えながら聞き、考えをまとめている。	12)	○			
	書 く こ と	ア (5・6年)	・考えたことなどから書くことを決め、目的や意図に応じて、書く事柄を収集し、全体を見通して書いている。	20)		○		
	読 む こ と	エ (5・6年)	・登場人物の相互関係や心情、場面についての描写を捉えている。 ・優れた叙述について自分の考えをまとめている。	15)			○	
				16)			○	
				13)			○	
				14)			○	
				17)			○	
		イ (5・6年)	・目的に応じて、本や文章を比べて読むなど効果的な読み方を工夫している。	18)			○	
				19)			○	
	国伝 語統 の的 特な 質言 に語 関文 す化 ると 事項	(1)ウ(ア) (5・6年)	・第6学年までに配当されている漢字を文や文章の中で正しく読んでいる。	1)			○	
		(1)ウ(ア) (5・6年)	・第5学年までに配当されている漢字を文や文章の中で正しく書いている。	2)			○	
		(1)イ(カ) (5・6年)	・送り仮名に注意して漢字を正しく書いている。	3)			○	
		(1)イ(キ) (5・6年)	・語句の係り方や照応の仕方に気付き、文や文章にはいろいろな構成があることについて理解している。	4)			○	
		(1)イ(ク) (3・4年)	・長い間使われてきたことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、実際の言語生活で使っている。	5)			○	
		(1)イ(ケ) (1・2年)	・文の中における主語と述語との関係に注意している。	6)			○	
		(1)イ(コ) (5・6年)	・日常よく使われている敬語の使い方に慣れている。	7)			○	
		(1)ア(イ) (5・6年)	・昔の人のものの見方や感じ方に関心をもち、古典への興味・関心を深めている。	8)			○	
		(1)イ(エ) (5・6年)	・語句の構成を理解し、正しい構成で熟語を書いている。	9)			○	
				10)			○	
				11)			○	

小学校 6年 国語 小問別通過率と設定通過率

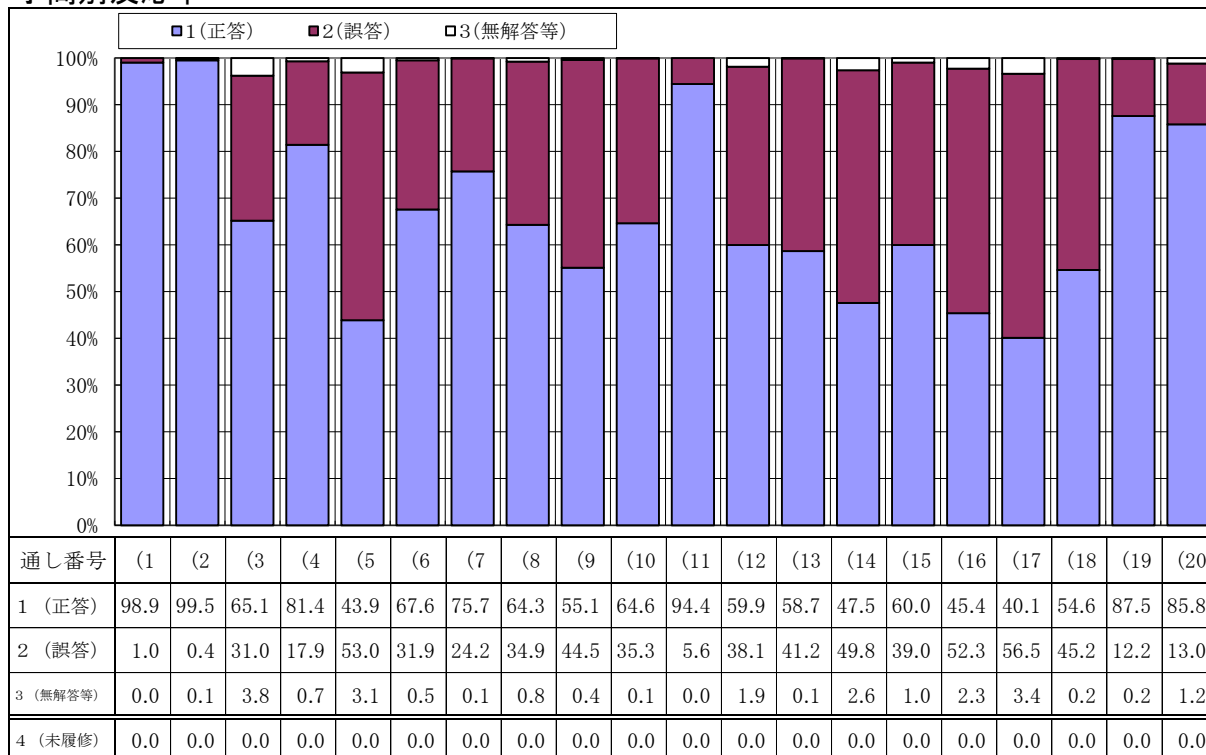
平均通過率 67.5%

通し 番号	出題内容	通過率 (%)	設定 通過率 (%)	0% 100%
(1)	漢字の読み（細かく－こまかく）	98.9%	80.0%	
(2)	漢字の読み（呼吸－こきゅう）	99.5%	80.0%	
(3)	漢字の書き（構える）	65.1%	75.0%	
(4)	漢字の書き（筋道）	81.4%	75.0%	
(5)	漢字の書き・正しい送り仮名（下りる）	43.9%	60.0%	
(6)	語の呼応	67.6%	75.0%	
(7)	ことわざの理解	75.7%	80.0%	
(8)	文の構成	64.3%	70.0%	
(9)	敬語の理解	55.1%	65.0%	
(10)	季語の意味の理解	64.6%	70.0%	
(11)	語句の構成	94.4%	85.0%	
(12)	話し手の意図の理解	59.9%	65.0%	
(13)	内容の理解（選択）	58.7%	60.0%	
(14)	内容の理解（記述）	47.5%	60.0%	
(15)	内容の理解（短答）	60.0%	65.0%	
(16)	内容の理解（記述）	45.4%	60.0%	
(17)	内容の理解（記述）	40.1%	60.0%	
(18)	内容の理解（選択）	54.6%	60.0%	
(19)	内容の理解（選択）	87.5%	80.0%	
(20)	目的に応じて紹介文を書く（作文）	85.8%	80.0%	

※ ―― は設定通過率±10%を示している。

小学校 6年 国語

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (223校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	平均通過率
100%	161	193	4	29	3	10	8	10	8	10	69	2	5	6	4	3	5	4	31	53	
90～100%	57	26	12	44	5	30	17	8	8	11	119	6	3		5		2		83	57	1
80～90%	5	4	31	66	14	47	54	30	27	27	29	20	10	7	14	6	4	12	72	70	7
70～80%			48	51	19	32	74	35	37	44	6	42	23	14	38	16	11	26	19	20	83
60～70%			61	23	12	26	49	55	36	55		37	63	25	66	32	13	40	12	14	108
50～60%			34	9	29	19	16	55	26	53		62	71	49	55	50	29	64	3	7	24
40～50%			24	1	31	17	3	14	19	15		26	29	56	33	33	54	44	2	1	
30～40%			7		41	15	1	13	18	6		15	14	35	5	41	54	28	1		
20～30%			2		46	11	1		19	2		8	3	21	3	30	35	5		1	
10～20%					19	10		3	16			4		8		8	14				
0～10%					4	6			9			1	2	2		4	2				

小学校6年 国語 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

分類 設定通過率の	領 域 別				計
	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	
+10%より高い	0	0	0	2	2
±10%の範囲内	1	1	4	8	14
-10%より低い	0	0	3	1	4
計	1	1	7	11	20

2 考察

(1) 全体について

- ①「読むこと」の領域では、設定通過率の-10%より低い問題が7問中3問あり、課題が見られる。
- ②「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」については、ほとんどの問題が設定通過率の±10%の範囲内か+10%より高いものの、同音異字を文脈に応じて区別して書くことに課題がある。

(2) 成果

- ①「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、漢字の読み、熟語の構成の理解についてはおおむね良好である。
- ②「書くこと」では、目的や意図に応じて情報を収集し、全体を見通して書くことについてはおおむね良好である。
- ③「話すこと・聞くこと」では、話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめることについてはおおむね良好である。

(3) 課題

- ①「読むこと」では、優れた叙述について自分の考えをまとめて簡潔に説明する力が十分でない。
- ②「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、同音異字を文脈に応じて区別して書くことに課題がある。

3 今後の指導

「読むこと」では、優れた叙述について、解釈したと関連付けて価値付け、簡潔に説明する能力の育成を図る。

- 人物の言動や情景の描写に着目し、文脈に即して解釈したり、異なる表現を意図的に取り上げて比較させ、内容や表現効果の違いについて考えることを通して、叙述の意味や表現意図について理解を深めたりするなど、表現形式と内容を一体的に捉える学習が有効である。
- 単元を貫いて、文章中の好きな場面や心に残った場面を紹介する言語活動を取り入れ、叙述の優れた点と関係付けながら場面のよさを説明できるようにする。

「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、同音異字を文脈に応じて使い分けて記述する指導の工夫改善を図る。

- 同音異字の区別をする場面を取り入れ、国語辞典や漢字辞典を活用するなどして、正しい記述について意識させたい。

5 若芽のうす緑が、という表現を「うす緑の若芽が」と比べると、「うす緑」の色により強い印象を感じることが出来ます。少女はこの色にどのような印象を受けたのか、想像して書きなさい。

17)

3 次の文の「おろす」を漢字一字と送りがないに直して、中に書きなさい。

木の切りかぶにこしをおろす。

5) の

平成26年度中学校学習状況調査 第1学年 国語 評価基準と評価の観点

学 年	領 域	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点			
					聞 話 く す こ こ と と	書 く 能 力	読 む 能 力	知 言 語 ・ に 理 解 い て 技 の 能
第 1 学 年	聞話 くす ここと	オ（中1）	・話合いの方向を捉えて的確に話したり，相手の発言を注意して聞いたりしている。	13)	○			
	こ書 とく	ウ（中1）	・伝えたい事柄について，根拠を明確にして自分の考えを書いている。	20)		○		
	読 む こ と	イ（中1）	・文章を目的や必要に応じて要約し，内容を理解している。	14)			○	
		イ（中1）	・段落ごとに内容を捉え，相互の関係を正しく押さえている。	15)			○	
		イ（中1）	・目的に応じて，要約したり要旨を捉えたりしている。	16)			○	
		ア（中1）	・思考力や想像力を働かせて，文脈の中における語句の意味を捉えている。	17)			○	
		エ（中1）	・文章の表現の特徴を捉え，その工夫や効果について自分の考えをもっている。	18)			○	
		イ（中1）	・目的や必要に応じて情報を選択し，整理している。	19)			○	
	国伝 語統 の的 特な 質言 に語 関文 す化 ると 事項	(1) ウ(ア)(中1)	・学年別配当表に示されている漢字に加え，その他の常用漢字のうち250字程度から300字程度の漢字を正しく読んでいる。	1) 2)				○ ○
		(1) ウ(ア)(小5・6)	・学年別配当表に示されている漢字を正しく書いている。	3) 4)				○ ○
		(1) ウ(イ)(中1)	・文脈に即して漢字を適切に使っている。	5)				○
		(1) イ(オ)(小5・6)	・文章の中での語句と語句との関係を正しく理解している。	6)				○
		(1) イ(エ)(中1)	・文節の区切り方について理解している。	7)				○
		(1) イ(ウ)(中1)	・四字熟語の意味を理解している。	8)				○
		(1) ア(ア)(中1)	・歴史的仮名遣いを理解している。	9)				○
		(2) イ(中1)	・行書の基礎的な書き方を理解している。	10)				○
		(1) イ(オ)(小5・6)	・語句と語句との関係を理解している。	11)				○
		(1) イ(ク)(小5・6)	・日常よく使われる敬語の使い方について理解している。	12)				○

中学校 1 年 国語 小問別通過率と設定通過率

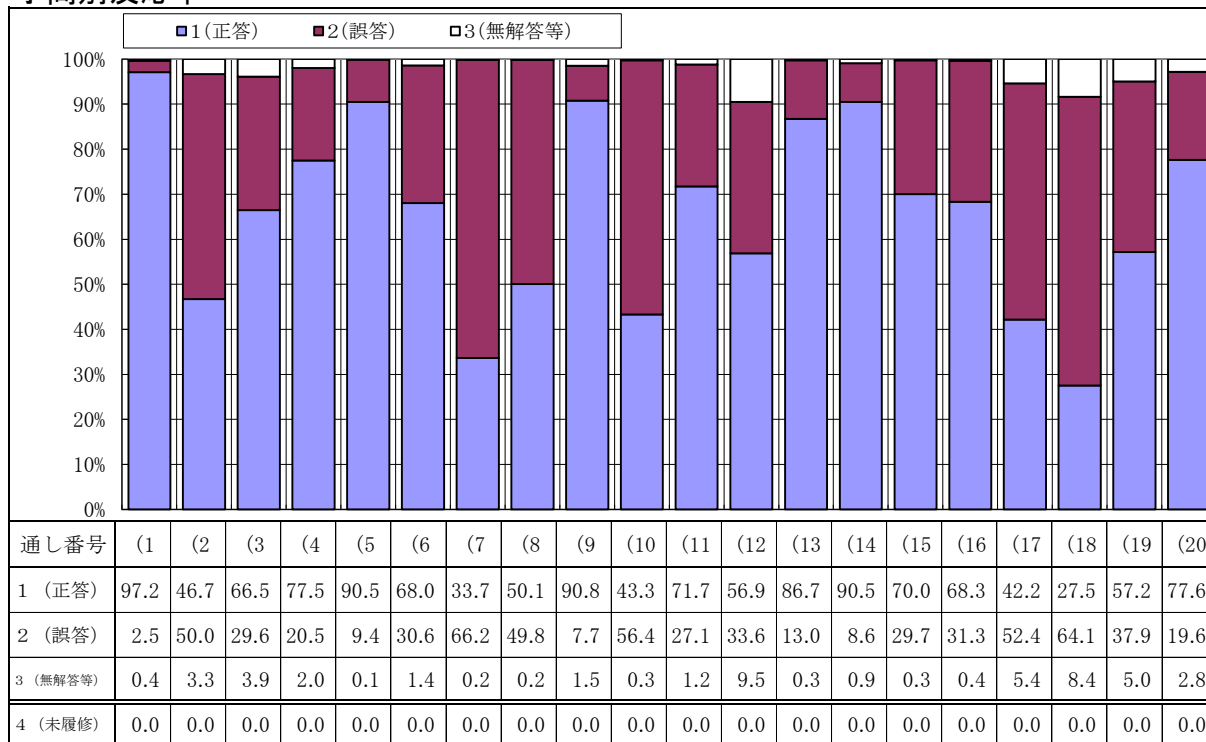
平均通過率 65.6%

通し 番号	出 題 内 容	通過率 (%)	設 定 通過率 (%)	0% 100%
(1)	漢字の読み (裁くーさばく)	97.2%	85.0%	
(2)	漢字の読み (従順ーじゅうじゅん)	46.7%	80.0%	
(3)	漢字の書き (映る)	66.5%	70.0%	
(4)	漢字の書き (意外)	77.5%	70.0%	
(5)	同音の漢字	90.5%	85.0%	
(6)	文節の係り受け	68.0%	65.0%	
(7)	文節の区切り方	33.7%	60.0%	
(8)	四字熟語の意味	50.1%	60.0%	
(9)	歴史的仮名遣い	90.8%	85.0%	
(1 0)	行書の書き方	43.3%	70.0%	
(1 1)	主述のねじれ	71.7%	75.0%	
(1 2)	敬語の理解	56.9%	60.0%	
(1 3)	話題や方向を捉えて話す	86.7%	80.0%	
(1 4)	要約し内容理解	90.5%	85.0%	
(1 5)	段落相互の関係	70.0%	80.0%	
(1 6)	目的に応じて要旨を捉える	68.3%	65.0%	
(1 7)	文脈を捉えた内容理解	42.2%	70.0%	
(1 8)	表現の効果	27.5%	60.0%	
(1 9)	情報を選択し整理	57.2%	65.0%	
(2 0)	根拠を明確にして考えを書く (作文)	77.6%	75.0%	

※ ―― は設定通過率±10%を示している。

中学校 1 年 国語

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (120校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	平均通過率
100%	38	1	3	3	10	4	1	1	11		1		5	11	1	2		1		8	
90～100%	77		4	4	60	4			68	1	1		43	68	2	2			1	23	
80～90%	4	4	22	40	44	16	2	3	34		18	1	60	28	5	13			14	34	3
70～80%	1	2	25	52	4	31	1	3	6	1	46	9	12	10	52	32	2	3	22	29	12
60～70%		17	29	17	2	27	6	14		12	40	29		1	47	49	3	4	27	18	95
50～60%		18	25	4		25	5	42		23	12	50		1	11	18	17	10	26	6	10
40～50%		46	7			11	20	38		30	1	23				2	51	16	13	2	
30～40%		26	5			1	33	18		35		6			2	2	31	16	9		
20～30%		5					29	1		15		1					12	30	3		
10～20%							16			1				1			2	29	2		
0～10%		1				1	7		1	2	1	1					2	11	3		

中学校 1 年 国語 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

分類 設定通過率の	領 域 別				計
	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	
+10%より高い	0	0	0	1	1
±10%の範囲内	1	1	4	8	14
-10%より低い	0	0	2	3	5
計	1	1	6	12	20

2 考察

(1) 全体について

- ①「話すこと・聞くこと」と「書くこと」についての学習状況はおおむね良好である。
- ②「読むこと」と「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、昨年度の課題の改善が図られていない問題が見られる。

(2) 成果

- ①「話すこと・聞くこと」では、聞き手として相手の発言を聞いたり話したりする問題で、指導の成果が見られる。
- ②「書くこと」では、資料から必要な情報を取り出し、根拠を明確にして自分の考えをまとめて書くことに指導の成果が見られる。

(3) 課題

- ①「読むこと」では、文章の表現の特徴を分析的に捉え、その工夫や効果について、条件に応じて自分の考えをまとめることが十分とは言えない。
- ②「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、正確な知識の獲得が課題である。特に、文節の見分け方、四字熟語の理解は、昨年に続き今年度も課題が見られた。

3 今後の指導

説明的文章の「読むこと」の指導では、段落ごとの詳細な読み取りだけでなく、読みの視点を基に文章を俯瞰的に見ることによって表現の特徴を捉える指導を充実させる。

- 必要な情報を読み取るために、どんな目的でどのように読むのかといった視点を明確にし、文章全体で話の展開を捉える学習活動を取り入れる。
- 課題解決を図る主体的な活動となるために、指導のねらいを十分に吟味し、取り上げる言語活動の特徴を生かした学習活動を工夫する。その際に「全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた授業アイディア例」などの活用を図ることも効果的である。

18) 12 段落には、文末が、気がし
ます。いえそうです。となっ
ている文がありますが、この
ような表現にすることの効果
を、「筆者の意見」と「読者」
という言葉を使い、「くする
効果。」に続くように書きな
さい。

「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の指導では、教科書教材での理解にとどまらず、自分の知識や経験と結び付けて解釈することによって定着を図るよう工夫する。

- 文法の指導については、取り立てて指導するだけでなく、三領域の学習と関連させて指導したり、実生活で活用している言葉を意図的に取り上げて指導したりするなど、時宜を捉えて指導することが望ましい。
- 四字熟語に関しては、組立や語源などを調べ、興味・関心を高める学習活動を工夫したり、身に付けさせた言葉を掲示したりするなど、折に触れ取り上げていく。

8) 怒りに身をまかせて物をこわすことは（ ）な行為だ。
ア 言語道断 イ 針小棒大
ウ 自業自得 エ 臨機応変

7) 次の文はいくつの文節に分けられますか。
自分の故郷を好きな人は少ない。

平成26年度中学校学習状況調査 第2学年 国語 評価規準と評価の観点

学 年	領 域	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点			
					聞 く 能 力	書 く 能 力	読 む 能 力	知 識 ・ 理 解 ・ 技 能
第 2 学 年	聞 話 く す こ と と	ウ（中2）	・話の要点を明らかにし聞き手に分かりやすくするために、目的や状況に応じて効果的な資料を選んでいる。	1)	○			
		エ（中2）	・話の中心的な部分と付加的な部分などを聞き分け、話の要点を捉えている。	2)	○			
		オ（中2）	・相手の考えを尊重し目的に沿って話し合い、互いの発言を検討して自分の考えを広げている。	3)	○			
		書 く こ と	ウ（中2）	20)		○		
	読 む こ と	ア（中2）	・文脈における語句の意味を正確に捉え、内容を理解している。	14)			○	
		イ（中2）	・描写の効果、登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てている。	15)			○	
				16)			○	
				17)			○	
				19)			○	
		ウ（中2）	・文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を基にして自分の考えをまとめている。	18)			○	
	国 伝 語 統 的 特 な 質 言 に 語 関 文 化 と 事 項	(1) ア(ア) (中1)	・歴史的仮名遣いを理解している。	13)				○
		(1) ウ(ア) (中2)	・第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を正しく読んでいる。	4)				○
				5)				○
				9)				○
		(1) ウ(イ) (中1)	・学年別配当表に示されている漢字のうち900字程度について、正しく書いている。	6)				○
		(1) イ(ア) (中2)	・日常よく使われている敬語の使い方を理解している。	7)				○
				10)				○
		(1) イ(イ) (中2)	・抽象的な概念を表す語句、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、語彙を豊かにしている。	8)				○
		(1) イ(ウ) (中2)	・文の成分の順序や照応、文の構成などについて理解している。	11)				○
				12)				○

中学校 2 年 国語 小問別通過率と設定通過率

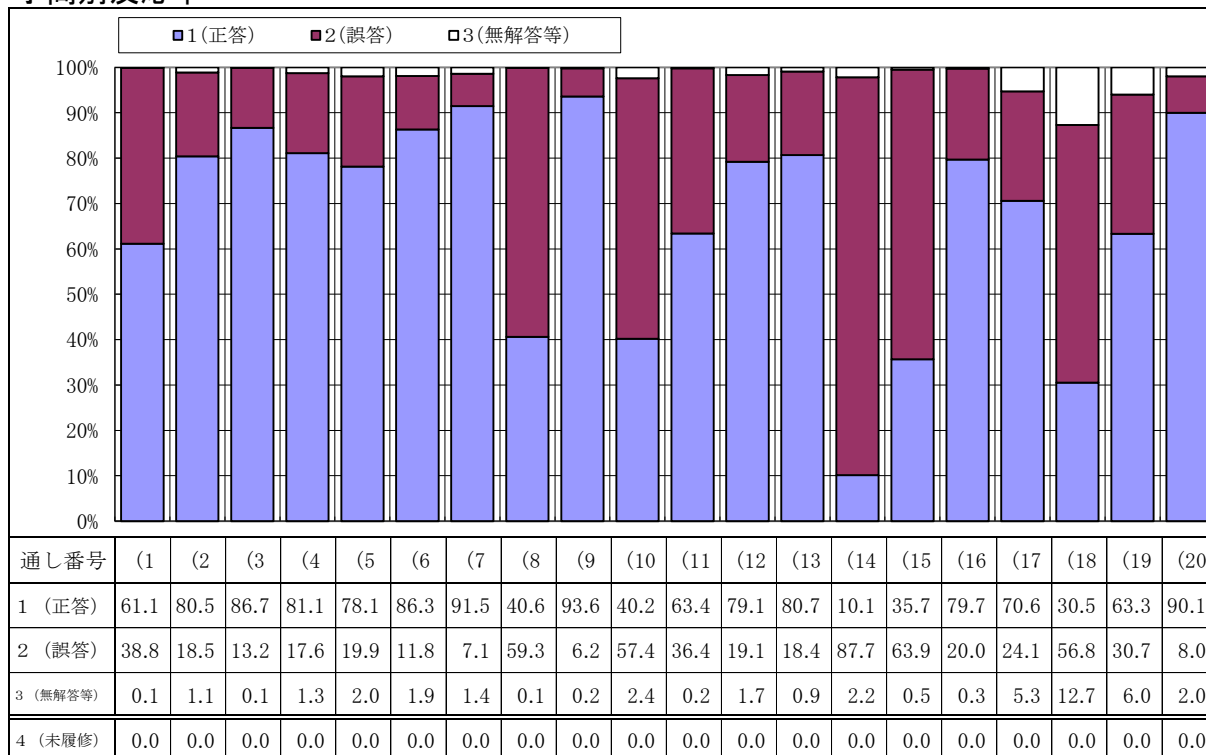
平均通過率 67.1%

通 し 番 号	出 題 内 容	通過率 (%)	設 定 通過率 (%)	0% 100%
(1)	聞き取り・効果的な資料提示	61.1%	70.0%	
(2)	聞き取り・話の中心	80.5%	75.0%	
(3)	聞き取り・目的に沿った話し合い	86.7%	80.0%	
(4)	漢字の読み（詳細－しょうさい）	81.1%	85.0%	
(5)	漢字の読み（償う－つぐなう）	78.1%	80.0%	
(6)	漢字の書き（たんじょう－誕生）	86.3%	80.0%	
(7)	漢字の書き（おさない－幼い）	91.5%	85.0%	
(8)	慣用句（腰をすえる）	40.6%	60.0%	
(9)	同音の漢字	93.6%	85.0%	
(1 0)	敬語の理解	40.2%	60.0%	
(1 1)	対義語の意味	63.4%	70.0%	
(1 2)	文の構成・文と文のつながり	79.1%	75.0%	
(1 3)	歴史的仮名遣い	80.7%	80.0%	
(1 4)	会話の始まりと終わり	10.1%	60.0%	
(1 5)	古文の内容の理解	35.7%	70.0%	
(1 6)	内容の理解（選択）	79.7%	75.0%	
(1 7)	人物の心情の理解	70.6%	65.0%	
(1 8)	表現の意図や効果の理解	30.5%	60.0%	
(1 9)	登場人物の言動の意味の理解	63.3%	60.0%	
(2 0)	自分の考えを明確にして書く（作文）	90.1%	85.0%	

※ ―― は設定通過率±10%を示している。

中学校 2年 国語

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (122校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	平均通過率
100%		1	5	3	4	5	15	1	19	1	1	7	8			1	2	1	1	18	
90～100%		12	32	19	10	36	74		87	1	1	10	24			11	7		4	66	
80～90%	7	59	72	45	40	61	28	2	15		7	51	45			50	17	1	14	28	
70～80%	12	33	12	42	42	16	4	2	1	3	31	38	26			44	49	3	25	7	36
60～70%	51	11	1	11	20	3	1	4		9	35	10	12	1	3	13	31	8	31	1	80
50～60%	40	5		2	5	1		12		21	30	6	5	1	7	3	14	10	30	1	6
40～50%	9				1			36		25	10		1		19		1	14	12	1	
30～40%	2							43		25	5			4	59		1	21	4		
20～30%								20		26	1			9	26			32			
10～20%								2		8				42	5			24			
0～10%	1	1								3	1		1	65	3			8	1		

中学校2年 国語 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

分類 設定通過率の	領域別				計
	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	
+10%より高い	0	0	0	0	0
±10%の範囲内	3	1	3	8	15
-10%より低い	0	0	3	2	5
計	3	1	6	10	20

2 考察

(1) 全体について

- ①「話すこと・聞くこと」「書くこと」についての学習状況はおおむね良好である。
- ②「読むこと」「伝統的な言語文化と国語に特質に関する事項」に課題が見られる。

(2) 成果

- ①「話すこと・聞くこと」では、相手の考えを尊重し目的に沿って話し合うことに関する問題について、おおむね良好である。
- ②「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、同音の漢字を選択する問題で、指導の成果が見られる。

(3) 課題

- ①「読むこと」では、古文に関わる問題において、登場人物の言葉や行動が、話の展開や作品全体に表れたものの見方にどのように関わっているかを考えながら、内容の理解を深められるようにする必要がある。
- ②同じく「読むこと」では、文学的文章の問題において、文章の構成や展開、表現の仕方について、自分の考えをまとめる力が十分に身に付いているとは言えない。

3 今後の指導

「読むこと」の古文の指導においては、登場人物の言動について話の展開や作品全体に表れたものの見方と関連付けて読み進める指導を充実させる。

- ・会話文は文章中のどこからどこまでか、誰がどのような内容を話したかなどを確認して、内容を捉えられるようにする。
- ・登場人物の言動の意味について考え、登場人物や作者の思いを想像する学習活動を取り入れる。
- ・様々な方法で古典の世界に触れさせることにより、現代と比較しながらそこに表れるものの見方や考え方に気付かせる学習活動を設定する。

15) 「翁」の言葉を聞いて、筆者はどのようなことに気付いたか。次のア～エから適切なものを一つ選んで記号を書きなさい。

ア 人を判断するには、その長所に目を向けるようにしなければならない。

イ 人を判断するには、何よりも外見を重視しなければならない。

ウ 人を判断するには、正確にその善悪を見極めなければならない。

エ 人を判断するには、多くの人の意見を聞かなければならない。

14) 「翁」が人を見るときの見方を説いている会話部分の始めと終わりの三字を本文中からそれぞれ抜き書きしなさい。

文学的文章の表現の仕方について自分の考えをまとめさせる際には、自分の考えを支える根拠となる段落や部分等を明確にさせるとともに、書き手の意図との関連を考えさせる指導を充実させる。

- ・文章の構成や展開、表現の仕方に込められた書き手の目的や意図を考えたり、その効果について考えたりする学習活動を取り入れる。
- ・自分の考えの根拠となる部分や表現の特徴などを具体的に考えるために、互いの考えを交流させる言語活動を設定する。交流によって自分の考えが更に深まっていくことが期待できる。

池田 (略)

「岳」からは、父親として息子を見ている「私」の様子が伝わってくるし、「彼」からは何か客観的に見ている感じが伝わってくるね。それとは反対に「やつ」は何か乱暴な言い方で、息子に対する男同士の対抗意識のようなものが伝わってくるね。

渡辺 そうだね。でも「やつ」は確かに乱暴な言い方だけれど、その分表現になっている場面もあると思うなあ。

18) 渡辺さんと池田さんは、この文章の表現の意図や効果について、次のように意見を交換しました。□に入る内容を十五字以内で書きなさい。

4 結果と考察 (2)社会

平成26年度小学校学習状況調査 第5学年 社会 評価規準と評価の観点

学年	内容	評価規準	通し番号	観 点		
				思考判断表現	技能	知識理解
第3・4学年	目標(3)	・地図帳の統計資料を活用し、必要な情報を適切に収集している。	(1)		○	
	目標(3)	・地図帳を活用し、必要な情報を適切に収集している。	(2)		○	
	(1)ア	・地図を読み取り、道順を正しく表現している。	(3)	○		
	(1)ア	・方位に関する基礎的な知識を活用して、適切に地図を読み取っている。	(4)		○	
	目標(3)	・地図記号や地図上の距離の求め方に関する知識・技能を活用して、適切に地図を読み取っている。	(5)		○	
	(6)イ	・秋田県の主な平野と川について、名称を理解している。	(6)			○
	(6)イ	・秋田県の主な盆地について、名称を理解している。	(7)			○
	(5)イ	・年表から地域に残る年中行事について、必要な情報を読み取っている。	(8)		○	
	(5)イ	・地域の年中行事を継承していく取組について、資料と関連付けて考え、適切に表現している。	(9)	○		
	(3)ア	・ごみの出し方のきまりについて、必要な情報を読み取っている。	(10)		○	
第5学年	(3)ア	・ごみの出し方のきまりを守ることが健康な生活や良好な生活環境の維持・向上に役立っていることを、自分たちの生活と関連付けて考え、適切に表現している。	(11)	○		
	(2)ウ	・米の生産の過程や生産物の輸送などに様々な費用がかかることを理解している。	(12)			○
	(2)イ	・稲作と気候条件との関わりについて、資料を適切に読み取っている。	(13)		○	
	(2)ウ	・漁業に従事している人々の工夫の意味について理解している。	(14)			○
	(2)ウ	・漁業に従事している人々の工夫や努力の目的について考え、適切に表現している。	(15)	○		
	(2)イ	・日本の魚介類の生産量、消費量及び輸入量を、関連付けて読み取っている。	(16)		○	
	(1)イ	・気候の特色を生かした花づくりについて、資料を適切に読み取っている。	(17)		○	
	(1)イ	・気候の特色を生かした花づくりについて考え、適切に表現している。	(18)	○		
	(1)ア	・日本の北端、南端、東端、西端にある島について、名称と位置を理解している。	(19)			○
	(1)ア	・世界の主な大陸等と我が国の国土との位置関係について、適切に表現している。	(20)	○		

小学校 5年 社会 小問別通過率と設定通過率

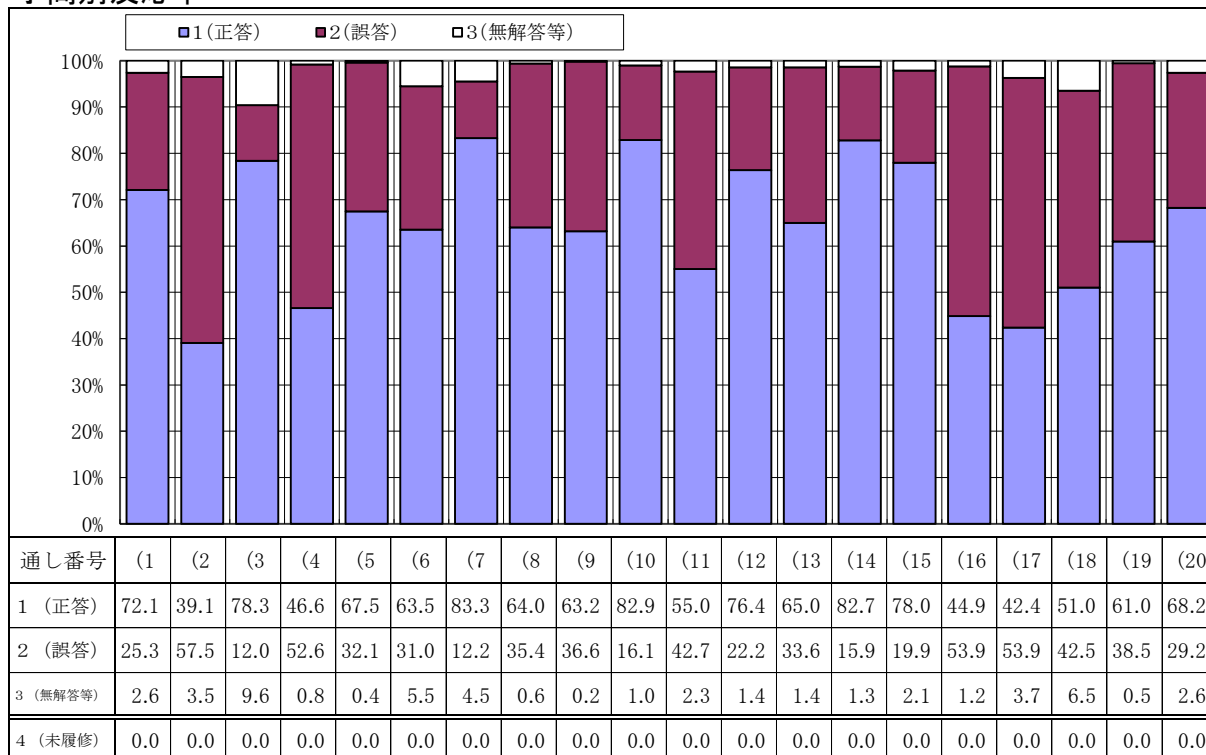
平均通過率 64.3%

通し 番号	出題内容	通過率 (%)	設定 通過率 (%)	0%100%
(1)	地図帳の統計資料の活用	72.1%	75.0%	
(2)	地図帳の総合的な活用	39.1%	60.0%	
(3)	地図の読み取りと地図記号	78.3%	80.0%	
(4)	地図上での方位	46.6%	60.0%	
(5)	地図記号や地図上の距離	67.5%	70.0%	
(6)	秋田県の主な平野と川の名称	63.5%	70.0%	
(7)	秋田県の主な盆地の名称	83.3%	80.0%	
(8)	引き継がれてきた年中行事	64.0%	70.0%	
(9)	引き継がれてきた年中行事	63.2%	70.0%	
(10)	廃棄物の処理	82.9%	80.0%	
(11)	廃棄物の処理と自分の生活との関わり	55.0%	60.0%	
(12)	米づくりの価格と費用	76.4%	75.0%	
(13)	稲作と自然条件との関連	65.0%	70.0%	
(14)	食料生産に従事している人々の工夫や努力	82.7%	80.0%	
(15)	食料生産に従事している人々の工夫や努力	78.0%	80.0%	
(16)	漁業についての複数のグラフを関連させた読み取り	44.9%	60.0%	
(17)	気候の特色を生かした花づくり	42.4%	60.0%	
(18)	気候の特色を生かした花づくり	51.0%	60.0%	
(19)	日本の領域	61.0%	65.0%	
(20)	日本の位置に関する表現	68.2%	75.0%	

※「——」は設定通過率±10%を示している。

小学校 5年 社会

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (223校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	平均通過率
100%	28	3	26	4	6	15	37	7	6	34	7	32	8	53	37	3	5	4	17	19	
90～100%	35	2	35	5	6	6	53	1	2	47	6	33	4	65	49			1	4	18	1
80～90%	48	10	61	13	23	34	54	26	13	75	20	53	37	55	59	6	2	15	32	54	13
70～80%	32	10	51	20	73	39	35	48	48	39	25	57	49	25	35	6	10	12	36	33	66
60～70%	30	18	31	24	62	36	20	70	72	16	38	23	61	14	17	14	24	44	40	40	94
50～60%	25	27	11	51	38	35	14	58	63	8	54	19	41	9	7	51	40	51	41	32	44
40～50%	13	33	4	33	11	19	4	8	17	2	37	3	14		2	66	52	52	29	14	4
30～40%	9	49	3	43	3	21	1	3	1	2	24	2	4	1	2	52	51	29	10	7	1
20～30%	1	42	1	16	1	8	4	2	1		4	1	5	1	7	19	29	13	7	4	
10～20%	2	22		6		7					6				3	4	7	2	4	2	
0～10%		7		8		3	1				2				5	2	3		3		

小学校 5 年 社会 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

分類 設定通過率の	観 点 別			内 容 別			計
	思考・判断・表現	技能	知識・理解	共通問題	地理的内容	3・4年	
+10% より高い	0	0	0	0	0	0	0
±10% の範囲内	6	5	5	3	5	8	16
-10% より低い	0	4	0	1	2	1	4
計	6	9	5	4	7	9	20

2 考察

(1) 全体について

全体の80%の設問が設定通過率の「±10%の範囲内」で、学習状況はおおむね良好である。一方で、複数の資料を関連させて読み取ったり、地図帳を活用して考えたりする問題などに、「-10%より低い」設問が4問あった。

(2) 成果

①米づくりの価格と費用、水産業に従事している人々の工夫や努力、日本の領域など、経年比較している設問で通過率の上昇が見られ、指導の改善が図られている。

②秋田県の様子や我が国の水産業についての新聞では通過率が高く、基本的な知識がおおむね身に付いている。

(3) 課題

①方位や主な地図記号を活用したり、地図上の距離を表す目盛りや地図帳の索引を使って調べたりするなど、地図帳を自由自在に活用できる知識や技能を身に付ける必要がある。

②社会的事象の意味について考える上で、複数の資料を比較・関連付けて読み取ることができる技能を高める必要がある。

3 今後の指導

統計などの複数の資料を比較・関連付けて読み取り、社会的事象の意味について考える学習活動の充実を図る。

○ポイント [(17) を例として]

複数の資料をそれぞれ読み取り、比較することで分かったことを整理させ、それを基に社会的事象の意味について考えさせる。

○具体例

①一つ一つの資料を読み取らせる。

- ・沖縄県が1番多く、約9億円取り引きされている
- ・茨城県が次に多く、約5億円取り引きされている
- ・沖縄県の取り引きは12月と3月が多い
- ・沖縄県の取り引きは11月から5月まで5,000万円をこえている
- ・茨城県の取り引きは6月から10月まで5,000万円をこえている

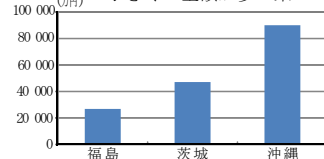
②比較して分かったことを整理させる。

- ・沖縄県と茨城県は取り引き金額の多い月が違う
- ・沖縄県と茨城県の取り引き金額が5,000万円をこえる月は、それぞれ11～5月、6～10月で重なっていない

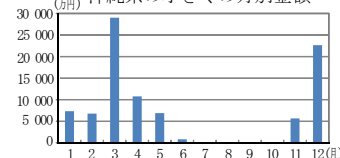
③比較・関連付けて分かったことから、更に社会的事象の意味について考えさせる。

- ・取り引き金額が多い沖縄県と茨城県だが、取り引き金額が多い月が重なっていないのは理由があるのではないか
- ・どのような理由があるのか調べてみよう

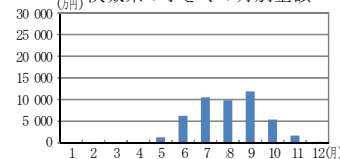
東京都の市場で取り引きされる
小ぎくの金額が多い県



東京都の市場で取り引きされる
沖縄県の小ぎくの月別金額



東京都の市場で取り引きされる
茨城県の小ぎくの月別金額



平成26年度小学校学習状況調査 第6学年 社会 評価規準と評価の観点

学年	内容	評価規準	通し 番号	観 点		
				思考 判断 表現	技能	知識 理解
第5学年 (第3・4学年の内容を含む)	目標(3)	・地図帳の統計資料を活用し、必要な情報を適切に収集している。	(1)		○	
	目標(3)	・地図帳を活用し、必要な情報を適切に収集している。	(2)		○	
	※(6)ア	・都道府県の名称や位置を理解している。	(3)			○
	(3)イ	・大工場の特色について、資料を読み取り、複数の数値を関連付けて考えたことを、適切に表現している。	(4)	○		
	(1)ア	・日本の北端、南端、東端、西端について、名称と位置を理解している。	(5)			○
	(1)ア	・世界の主な大陸等と我が国の国土との位置関係について考え、適切に表現している。	(6)	○		
	目標(3)	・等高線に関する基礎的な知識を活用して地図を適切に読み取っている。	(7)		○	
	目標(3)	・方位、地図記号、等高線に関する知識を活用して、地図を適切に読み取っている。	(8)		○	
	(1)エ	・自然環境と自然災害の関連について、理解している。	(9)			○
	(1)エ	・自然災害に対する自助について自分たちの行動と関連付けて考えたことを、適切に表現している。	(10)	○		
第6学年	(1)イ	・紫式部や清少納言の活躍などを通して、平安時代に日本風の文化が起こったことが分かっている。	(11)			○
	(1)イ,エ,カ	・主な文化の特色についての基礎的な知識を活用して、資料を読み取り、適切に表にまとめている。	(12)		○	
	(1)イ,ウ	・人物の働きについて、歴史上の主な事象と結び付けて理解している。	(13)			○
	(1)イ	・聖徳太子が、大陸文化を積極的に摂取し、天皇中心の政治を目指したことを理解している。	(14)			○
	(1)イ,ウ	・主な文化遺産についての基礎的な知識を活用して、適切に年表にまとめている。	(15)			○
	(1)イ,ウ	・歴史上の主な人物が活躍した時代の特色について考え、適切に表現している。	(16)	○		
	(1)ウ	・武士による政治が始まり、幕府の力がどうなってきたのかについて考え、適切に表現している。	(17)	○		
	(1)オ	・豊臣秀吉の業績について理解している。	(18)			○
	(1)オ	・信長や秀吉、家康、家光についての基礎的な知識を活用し考えたことを、適切に表現している。	(19)	○		
	(1)オ	・参勤交代についての基礎的な知識を活用し考えたことを、適切に表現している。	(20)	○		

※は〔第3学年及び第4学年〕の範囲である。

小学校 6年 社会 小問別通過率と設定通過率

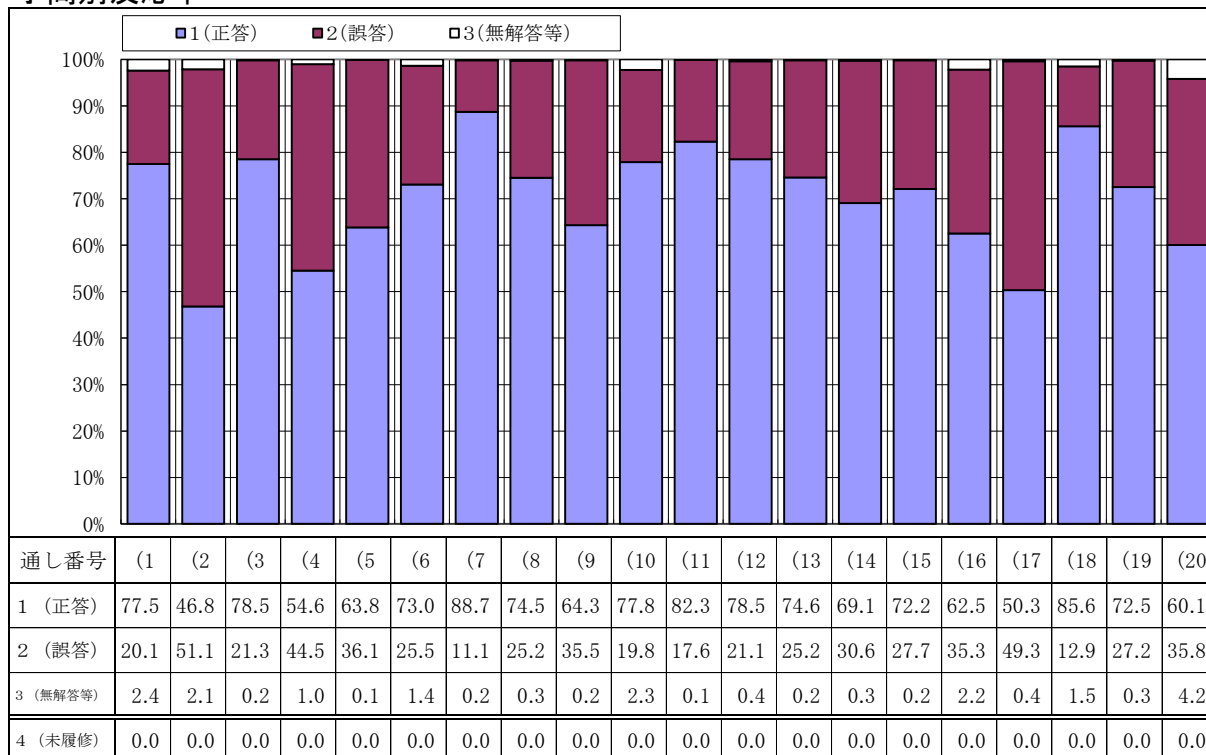
平均通過率 70.4%

通し 番号	出題内容	通過率 (%)	設定 通過率 (%)	0%100%
(1)	地図帳の統計資料の活用	77.5%	75.0%	
(2)	地図帳の総合的な活用	46.8%	65.0%	
(3)	都道府県の名称と位置	78.5%	70.0%	
(4)	大工場の特色	54.6%	65.0%	
(5)	日本の領域	63.8%	60.0%	
(6)	日本の位置に関する表現	73.0%	75.0%	
(7)	等高線の活用	88.7%	80.0%	
(8)	方位, 地図記号, 等高線の活用	74.5%	75.0%	
(9)	国土と自然災害	64.3%	75.0%	
(10)	自然災害の被害の防止	77.8%	70.0%	
(11)	平安時代の日本風の文化の特徴	82.3%	80.0%	
(12)	各時代の主な文化の特徴	78.5%	75.0%	
(13)	主な歴史上の人物と業績	74.6%	75.0%	
(14)	聖徳太子の政治	69.1%	70.0%	
(15)	主な文化遺産	72.2%	65.0%	
(16)	歴史上の人物とその時代の特徴	62.5%	65.0%	
(17)	鎌倉幕府の支配範囲と元寇の関係	50.3%	65.0%	
(18)	豊臣秀吉の政治	85.6%	75.0%	
(19)	全国統一から鎖国までの流れ	72.5%	60.0%	
(20)	参勤交代の目的	60.1%	65.0%	

※ ―― は設定通過率±10%を示している。

小学校 6年 社会

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (223校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	平均通過率
100%	39	5	30	10	10	22	42	11	4	44	35	26	22	8	17	10	5	48	14	17	
90～100%	38	8	33	5	16	33	85	13	6	45	46	25	13	9	19	9	2	65	13	14	7
80～90%	51	12	60	32	38	51	72	64	20	42	68	77	61	49	52	28	18	69	56	30	48
70～80%	42	21	53	39	40	39	19	68	41	34	52	52	64	55	52	35	24	30	66	38	87
60～70%	29	26	32	28	43	35	5	51	83	23	14	37	39	51	56	53	28	7	48	34	60
50～60%	16	36	10	32	35	24		13	47	17	7	6	16	36	19	46	51	3	18	33	20
40～50%	4	38	5	31	21	11		1	15	10	1		4	13	7	28	33	1	6	17	1
30～40%	3	42		26	14	6		2	6	5			4	2	1	10	38		2	22	
20～30%	1	28		11	5	2			1	3						2	19			15	
10～20%		5		4	1											1	2			2	
0～10%		2		5												1	3			1	

小学校6年 社会 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

設定通過率の分類	観 点 別			内 容 別			計
	思考・判断・表現	技能	知識・理解	共通問題	地理的内容	歴史的内容	
+10% より高い	1	0	1	0	0	2	2
±10% の範囲内	4	4	6	3	4	7	14
-10% より低い	2	1	1	1	2	1	4
計	7	5	8	4	6	10	20

2 考察

(1) 全体について

全体の80%の設問が設定通過率の「+10%より高い」または「±10%の範囲内」で、学習状況はおおむね良好である。一方で、複数の資料から読み取ったことを基に思考・判断する問題や、「自然災害の防止」「元との戦い」に関する問題などに、設定通過率の「-10%より低い」設問があった。

(2) 成果

- ①経年比較している13問中11問において通過率の上昇が見られ、指導の改善が図られている。
- ②各時代の主な文化の特色、主な文化遺産について、基礎的な知識を活用して適切に表現する力が付いてきている。

(3) 課題

- ①複数の資料を関連付け、分かったことを表現する力を高める必要がある。
- ②歴史上の人物の働きや業績、歴史的事象の意味についての理解を深める必要がある。

3 今後の指導

複数の資料を活用して、比較・関連付けて分かったことや考えたことを表現する学習を充実させる必要がある。

○ポイント〔4 を例として〕

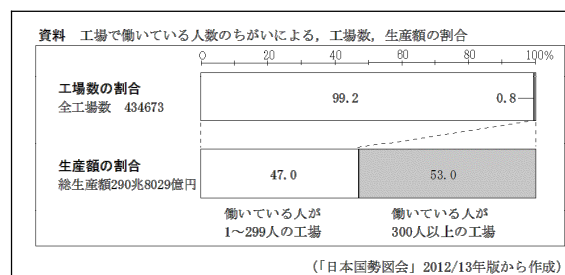
児童が導入資料を丁寧に読み取り、比較・関連付けて考えたことを基に学習問題を設定し、導入資料を学習問題に照らし合わせて解釈させる授業を構成する。

○具体例

- ①「工場数の割合」「生産額の割合」の順番に着目させ、資料名、内訳の項目、単位、出典などを確認しながら、資料を読み取らせる。

例) ・日本の約99%は中小工場だ

- ・日本の総生産額は約291兆円もある
- ・大工場数は1%もないのに日本の生産額の約半分を占めている
- ・中小工場数の割合は高いのになぜ生産額の割合は少ないのだろう
- ・大工場では値段が高い製品をつくって、中小工場では値段の安い製品をつくっているのではないか



- ②児童が読み取ったことや個々の疑問、予想などを基に、全員で追究していく学習問題を設定する。

例) 「大工場、中小工場には、それぞれどのような特色があるのだろうか？」

- ③調査活動で各自が分かったことを、全体やグループで共有させながら、学習問題について話し合わせる。

- ④導入資料を活用し、学習問題に照らし合わせて、学習の成果を実感できるよう児童一人一人に分かったことをまとめさせる。

- ・資料を一度に読み取らせるのではなく、一つ目の視点（工場数の割合）で読み取らせ、次に「生産額の割合はどうなっているのだろう。」と予想させながら、二つ目の視点（生産額の割合）で読み取らせるなどの工夫が必要である。
- ・導入資料を活用し、学習問題に照らし合わせて授業で分かったことをまとめさせることは、学びを実感させる大切な活動である。

平成26年度中学校学習状況調査 第1学年 社会 評価規準と評価の観点

学年・分野	内 容	評 価 規 準	通し 番号	観 点		
				思考 判断 表現	技能	知識 ・ 理解
小学校第6学年	(1)キ	・福沢諭吉が紹介した思想を通して、人々の生活が大きく変化したことを理解している。	(1)			○
	(1)ク	・陸奥宗光や小村寿太郎の働きなどを通して、条約改正に成功したことを理解している。	(2)			○
	(1)ケ	・戦後、我が国が民主的な国家として出発したことを理解している。	(3)			○
	(1)ケ	・オリンピックが開催されたところに国民生活が向上したことを理解している。	(4)			○
	(2)ア	・国民生活には地方公共団体の政治の働きが反映していることについて考え、適切に表現している。	(5)	○		
	(2)イ	・選挙の意味について考え、適切に表現している。	(6)	○		
	(3)イ	・国際連合の働きについて、有用な情報を資料から読み取っている。	(7)		○	
	(3)イ	・国際連合における我が国の貢献などについて理解している。	(8)			○
中学校地理的分野	(1)ア	・緯度と経度を用いて、地球儀の模式図におけるキャンベラの位置を適切に読み取っている。	(9)		○	
	(1)ア	・地球儀を活用し、大陸と大洋の位置関係を考察し、適切に表現している。	(10)	○		
	※	・我が国の位置と領土に関連のある都道府県の名称と位置について理解している。	(11)			○
	(1)ウ	・資料から読み取った事実を基に、適切な課題を設定している。	(12)	○		
	(1)ウ	・世界の諸地域の地域的特色を捉え、適切に資料を読み取っている。	(13)		○	
	(1)ウ	・世界の諸地域の地域的特色について、資料と図の情報を基に考察し、その結果を適切に表現している。	(14)	○		
中学校歴史的分野	(2)ア	・世界の文明が起こった地域について理解し、その知識を身に付けている。	(15)			○
	(2)ア	・世界の古代文明に共通する特色について、資料の情報を基に考察し、その結果を適切に表現している。	(16)	○		
	(1)ア	・年代と世紀の関係を理解し、その知識を身に付けている。	(17)			○
	(2)ア	・我が国の古代国家のおこりについて、大まかな流れと各時代の特徴を結び付けて考察し、その結果を適切に表現している。	(18)	○		
	(2)イ	・政治の中心地について理解し、その知識を身に付けている。	(19)			○
	(2)ウ	・平安京に政治の中心地があった時代の文化について理解し、その知識を身に付けている。	(20)			○

※は47都道府県の名称と位置に関する内容である。

中学校 1 年 社会 小問別通過率と設定通過率

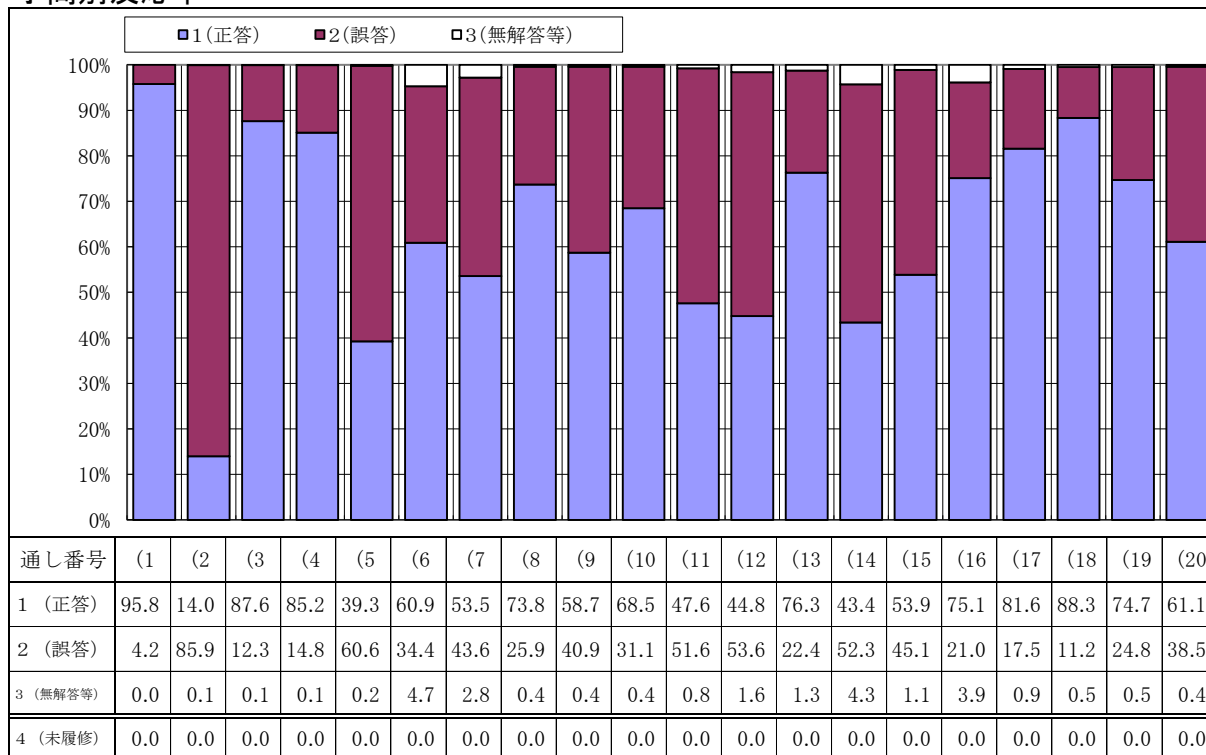
平均通過率 64.2%

通し 番号	出 題 内 容	通過率 (%)	設 定 通過率 (%)	0% 100%
(1)	文明開化に関わった人物	95.8%	85.0%	
(2)	不平等条約改正に至るまでの出来事	14.0%	60.0%	
(3)	戦後の日本の独立	87.6%	85.0%	
(4)	戦後の日本の様子（東京オリンピック）	85.2%	85.0%	
(5)	地方公共団体の政治の働き	39.3%	60.0%	
(6)	選挙の課題	60.9%	65.0%	
(7)	国際連合の働き	53.5%	60.0%	
(8)	国際連合に関する資料の読み取り	73.8%	70.0%	
(9)	地球儀の活用と首都の位置	58.7%	60.0%	
(1 0)	地球儀の活用と大陸と海洋の分布	68.5%	70.0%	
(1 1)	我が国の位置と領土の理解	47.6%	60.0%	
(1 2)	世界の諸地域の地域的特色の考察	44.8%	60.0%	
(1 3)	世界の諸地域の地域的特色に関する資料の読み取り	76.3%	75.0%	
(1 4)	世界の諸地域の地域的特色の考察	43.4%	60.0%	
(1 5)	古代文明の位置	53.9%	60.0%	
(1 6)	古代文明の特色	75.1%	75.0%	
(1 7)	年代と世紀の関係	81.6%	80.0%	
(1 8)	国家が形成されていく過程のあらましと各時代の特徴	88.3%	85.0%	
(1 9)	政治の中心地	74.7%	75.0%	
(2 0)	平安京に政治の中心地があった頃の文化を担った人々	61.1%	70.0%	

※ ―― は設定通過率±10%を示している。

中学校 1 年 社会

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (121校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	平均 通過率
100%	28		13	8		4	5	3		2		4	4	2	1	5	14	10	6	2	
90～100%	89		38	39		6	2	14		4	1	12	12		2	9	32	44	13	2	
80～90%	4		56	52		16	13	28	7	19		20	40	2	4	39	39	58	36	3	3
70～80%			11	14		21	12	38	14	38	7	5	33	7	14	41	19	6	33	25	26
60～70%		1	3	8	4	20	24	20	40	36	21	5	20	11	20	20	8	2	24	40	71
50～60%					12	30	20	8	36	21	27	3	9	23	43	5	5		8	27	20
40～50%		1			34	18	13	8	20		41	3	1	31	22	2	3		1	16	1
30～40%		6			59	5	19	1	3		17	19		22	12		1			6	
20～30%		12			11	1	9			1	3	26		20	1						
10～20%		59					4				2	21	1	2	1						
0～10%		42			1			1	1		2	3	1	1	1			1			

中学校 1 年 社会 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

分類 設定通過率の	観 点 別			内 容 別			計
	思考・判断・表現	技能	知識・理解	小学校	地理的分野	歴史的分野	
＋10% より高い	0	0	1	1	0	0	1
±10% の範囲内	4	3	7	5	3	6	14
－10% より低い	3	0	2	2	3	0	5
計	7	3	10	8	6	6	20

2 考察

(1) 全体について

平均通過率が64.2%であり、昨年度を1.6%下回った。設定通過率から「－10%より低い」設問が知識・理解では10問中2問（新問1問）、思考・判断・表現では7問中3問（新問2問）あった。観点別の平均通過率は知識・理解は高く、思考・判断・表現はやや低い傾向にある。学習指導要領を基に、各設問で求められている力を分析し指導の改善を図りたい。

(2) 成果

- ①経年比較している設問の11問中8問において通過率の上昇が見られ、前年度の結果を踏まえた指導が改善されている。特に、地球儀を活用し、緯度や経度を用いて主な国や都市の位置を表すことができる力が身に付いてきている。
- ②社会の様子や文化の特色など他の時代との共通点や相違点に着目して各時代の特色を明らかにした上で、歴史の大きな流れを理解する学習が定着してきている。

(3) 課題

- ①一つ一つの資料を丁寧に読み取った上で、他の資料と関連付けたり、学習した内容と結び付けたりして考え、適切に表現する力を一層高める必要がある。
- ②歴史学習に関わる地図を有効に活用して、地理的条件に着目させ、多面的・多角的に考察し、適切に表現する学習活動を展開する必要がある。

3 今後の指導

図や統計など各種の資料から、丁寧に情報を読み取り、社会的事象の特色や相互の関連等について考察した結果を、根拠を示しながら自分の言葉で表現する力を高める学習を展開する。

○ポイント〔(14)を例として〕

世界の諸地域の学習においては、適切な主題を設け、生徒に統計資料等から読み取った情報を基に考察させ、その結果を表現させる授業を構成する。

○具体例

資料3や図を丁寧に読み取らせ、読み取った情報を関連付けて表現させる。

資料3 カカオ豆 1 kgあたりの国際価格の推移

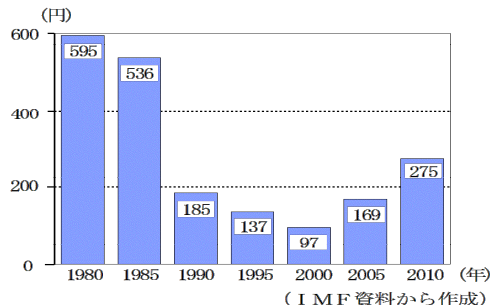
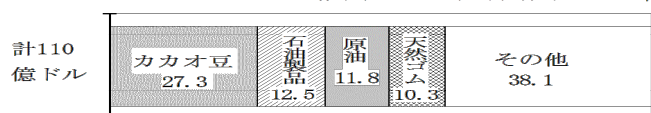


図 コートジボワールの輸出品目の割合(%) 2011年



(「世界国勢図会2012/13」などから作成)

<図と資料3から考えたこと>

- ・資料3からカカオ豆 1 kgあたりの国際価格は、 していないことが分かる。
 - ・図から コートジボワールは、 ことが分かる。
- だから、コートジボワールは、貿易によってした収入を得ることができない。

- ①資料3と図の表題や項目、数値など着目させる点を明確にし、特色を捉えさせる。
- ②関連付ける観点を明確にして、他の資料と関連付けたり、学習した内容と結び付けたりしながら考えさせ、まとめさせる。
- ③生徒が「だから」「つまり」などの表現を用いながら、根拠を示し、自分の言葉で考えを發表したり、意見を交換したりする学習活動を設定する。

分野	内容	評価規準	通し 番号	観 点		
				思考 判断 表現	技能	知識 理解
地 理 的 分 野	(1) ア	・主な国々の名称と位置を理解し、その知識を身に付けている。	(1)			○
	(1) ア	・地球儀と地図を関連付けて、六大陸の大まかな形状と位置関係を捉えている。	(2)		○	
	(1) イ	・世界の主な宗教の分布について理解し、その知識を身に付けている。	(3)			○
	(2) ア	・東半球と西半球にある2地点の時差を基に、それらの地点の位置関係を判断し、適切に表現している。	(4)	○		
	(1) ウ	・各州の地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。	(5)			○
	(1) ウ	・各州の地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。	(6)			○
	(1) エ	・統計資料と地図から読み取れる情報を関連付けて、複数の国々を分類している。	(7)		○	
	(1) エ	・複数の統計資料から読み取れる情報を関連付けて、複数の国々の共通点を捉えている。	(8)		○	
	(2) ア	・日本の地域区分を理解し、都道府県の名称と位置などの知識を身に付けている。	(9)			○
	(2) ア	・日本の領域の特色と変化を理解し、その知識を身に付けている。	(10)			○
	(2) イ	・少子化、高齢化に伴う課題を多面的・多角的に考察し、その結果を適切に表現している。	(11)	○		
	(2) イ	・自然環境から見た日本の特色を多面的・多角的に考察し、その結果を適切に表現している。	(12)	○		
歴 史 的 分 野	(1) ア	・歴史上の人物や、時代区分についての基本的な内容を理解し、その知識を身に付けている。	(13)			○
	(1) イ	・古代の文化の特色を理解し、その知識を身に付けている。	(14)			○
	(1) ウ	・他の時代との共通点や相違点に着目しながら、各時代全体の特色を説明している。	(15)	○		
	(3) ア	・武家政治の特色や東アジア世界との関わりを、古代と比較して考察し、その結果を適切に表現している。	(16)	○		
	(3) イ	・諸産業の発達に関する資料から、有用な情報を適切に選択している。	(17)		○	
	(4) イ	・中世と近世社会を比較・関連付けて考察し、各政策のねらいや結果を適切に表現している。	(18)	○		
	(4) エ	・幕府の政治改革について、代表的な取組を比較・関連付けて考察し、共通点を適切に表現している。	(19)	○		
	(4) ウ	・農業の発達について、複数の資料を関連付けて考察し、その結果を適切に表現している。	(20)	○		

中学校 2年 社会 小問別通過率と設定通過率

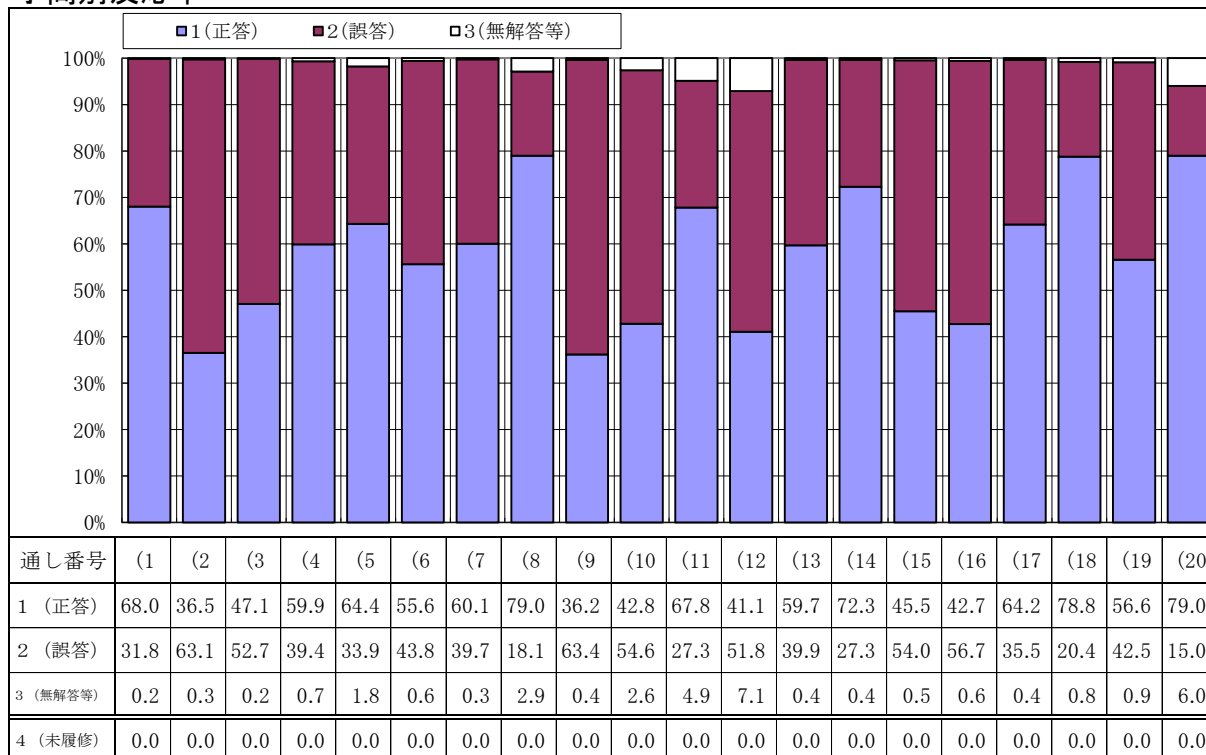
平均通過率 57.9%

通し 番号	出題内容	通過率 (%)	設定 通過率 (%)	0%100%
(1)	国の位置と領域についての考察	68.0%	70.0%	
(2)	六大陸のおおまかな位置の理解	36.5%	60.0%	
(3)	主な宗教の分布の理解	47.1%	70.0%	
(4)	時差についての考察	59.9%	65.0%	
(5)	世界の諸地域「六つの州と主な国の特色」の理解	64.4%	70.0%	
(6)	世界の諸地域「六つの州と主な国の特色」の理解	55.6%	65.0%	
(7)	統計資料と地図の適切な読み取り	60.1%	70.0%	
(8)	複数の資料の比較・関連付け	79.0%	85.0%	
(9)	都道府県の名称と位置，県庁所在地名の理解	36.2%	70.0%	
(10)	領土の特色と変化についての理解	42.8%	65.0%	
(11)	資料を活用した少子高齢化社会についての説明	67.8%	75.0%	
(12)	図や写真から読み取った情報を関連付けた考察	41.1%	65.0%	
(13)	古代の政治に関わる中心人物についての理解	59.7%	65.0%	
(14)	国風文化の特色と文学作品についての理解	72.3%	80.0%	
(15)	古代の各時代の特色についての理解	45.5%	60.0%	
(16)	古代と中世の特色を捉えるために必要な知識についての理解	42.7%	60.0%	
(17)	中世の産業の特色を捉えるために必要な資料の収集と処理	64.2%	70.0%	
(18)	中世から近世への移り変わりにおける諸政策の意義についての理解	78.8%	85.0%	
(19)	複数の歴史的事象の比較・関連付け	56.6%	65.0%	
(20)	江戸時代の農業の発達に関する情報を関連付けた考察と論述	79.0%	85.0%	

※ ―― は設定通過率±10%を示している。

中学校 2年 社会

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (122校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	平均 通過率
100%	1		1	1	2	2	2	6	2	1	7			1		1	2	5	3	4	
90～100%	6			1	2		1	29			11		2	5			1	12		33	
80～90%	18		2	3	12	3	8	53		2	23	1	7	32	2	1	8	45	6	37	
70～80%	43	1	3	19	23	14	18	13	2	4	24	4	15	41	3	1	20	53	7	27	8
60～70%	30	3	16	37	42	29	36	8	7	11	27	6	36	33	10	8	53	7	27	16	36
50～60%	20	13	31	48	35	43	48	9	11	22	14	23	43	6	24	23	30		44	2	70
40～50%	3	24	41	10	4	27	7	3	26	23	9	24	13	3	44	38	6		23	1	8
30～40%		50	21	2	2	2	2	1	45	30	2	33	4		28	35	2		12	1	
20～30%		29	6			1			21	24	3	29	1		6	14					
10～20%		1		1					6	1	1	1			3						
0～10%	1	1	1			1			2	4	1	1	1	1	2	1				1	

中学校 2 年 社会 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

設定通過率の分類	観 点 別			内 容 別		計
	思考・判断・表現	技能	知識・理解	地理的分野	歴史的分野	
+10% より高い	0	0	0	0	0	0
±10% の範囲内	5	3	5	7	6	13
-10% より低い	3	1	3	5	2	7
計	8	4	8	12	8	20

2 考察

(1) 全体について

平均通過率が57.9%であり、昨年度を5.2%下回った。類似問題13問中、昨年度の通過率を10%以上下回った設問が4問あった。各設問において求められている、社会的な見方や考え方、資料活用の技能、社会的事象についての知識・理解などを分析した上で、それらを着実に育成できるよう、指導の改善を図る必要がある。

(2) 成果

- ①表やグラフなどの統計資料を活用し、事象間の関係や事象の特色を読み取る力が高まっている。時差を用いて、地球上における我が国と世界各地との位置関係を捉えることができています。
- ②文献や絵図、地図、統計など歴史学習に係る様々な資料を有効に活用することで、歴史的事象の意義や相互の関連等を考察し、その過程や結果を適切に表現できている。

(3) 課題

- ①地球儀や地図を活用し、大陸と海洋のおよその位置関係などを捉えるとともに、北方領土や竹島など我が国の領土・領域についての理解を深める必要がある。地理的事象の規則性や傾向性などに着目して、国内の地形や気候の特色を捉える力を一層高める必要がある。
- ②各時代の特色を捉える学習、時代の転換の様子を捉える学習、時代の区分やその移り変わりに気付く学習などを通し、歴史の大きな流れについての理解を深める必要がある。また、学習問題に照らして、事象相互の関連を説明できる力を身に付ける必要がある。

3 今後の指導

歴史の学習においては、多くの事象を個別に「覚える」だけの学習ではなく、各時代の特色など、ひとまとまりの学習の焦点や脈絡が「分かる」学習を実現していく必要がある。

○ポイント [(15を例として)]

「思考力・判断力・表現力等を養う」とともに、生徒が各時代の特色について理解したことを自分の言葉で表現できるような「確かな理解と定着を図る」ことが求められる。

○具体例

「各時代の導入」：前の時代の学習で習得した内容を活用し、各時代のイメージを捉えさせる。

- ①前の時代の特色を想記させる。
 - ・前の時代において学習した内容の確かな理解と定着を図る。
- ②政治の展開、産業の発達、社会の様子、文化の特色など、比較・関連付ける観点を明確にし、前の時代との共通点や相違点を予想させる。
- ③「つまりこの時代は」「この時代を代表するものは」など、各時代の特色を大きく捉え、言葉や図などで表しながら、互いに考えを交換する学習活動を展開する。

(例) 平安時代の学習の導入

○主発問「平安時代と古墳、飛鳥、奈良時代の特色の共通点や相違点は何だろうか」

◇補助発問「古墳時代、飛鳥時代、奈良時代には、それぞれどんな特色があったか」

- ・30字程度で生徒に書かせ、既習の内容の習得状況を確認する
 - <古墳> 各地の豪族たちが大王を中心に連合し、国が一つにまとまっていった時代
 - <飛鳥> 天皇を中心とする政治を目指して、大化の改新などの改革が始まった時代
 - <奈良> 平城京で天皇と貴族が中心となり、律令に基づいた政治が行われた時代
- ・比較して分かったことを整理する
 - [共通点] 天皇中心の政治を目指したこと、きまりを基に政治が行われたこと
 - [相違点] 天皇と豪族や貴族との力関係、天皇の権力が及ぶ地域の広さ
- ・上の共通点や相違点を視点にして、平安時代の特色を予想する
 - <平安> 貴族が力を伸ばし、有力な一族が朝廷の実権をにぎって政治を行った時代

4 結果と考察 (3)算数、数学

平成26年度小学校学習状況調査 第4学年 算数 評価規準と評価の観点

学 年	領 域	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点		
					考 え 方	技 能	知 識・ 理 解
第3学年	A 数と計算	(3)アイウ 乗法	・(2位数)×(2位数)の計算ができる。	(1)		○	
			・(3位数)×(1位数)の計算の仕方を理解している。	(18)			○
		(4)アイウエ 除法	・(2位数)÷(1位数)の計算ができる。	(3)		○	
			・余りのある除法について、除数と余りの関係を考えている。	(10)	○		
		(5)アイ 小数の意味や表し方	・1/10の位までの小数の減法ができる。	(2)		○	
		(6)アイウ 分数の意味や表し方	・1より小さい大きさを単位分数の幾つ分かで捉え、分数を用いて表すことができる。	(6)		○	
			・小数と分数の大きさの関係を理解している。	(13)			○
	B 量と測定	(1)アイウ 長さ、重さの単位と測定	・日常生活の場面で、道のりと距離の差を単位を換算して求めることができる。	(11)		○	
			・長さや重さ、かさの単位について理解している。	(17)			○
	C 図形	(1)アイウ 二等辺三角形、正三角形などの図形	・組み合わされた円の直径や半径を見い出して、長さの求め方を考えている。	(7)	○		
			・正三角形の意味や性質について理解している。	(15)			○
			・二等辺三角形の作図の仕方を筋道立てて考え、説明することができる。	(19)	○		
	D 数量関係	(2)アイ 数量の関係を表す式	・未知の数量を□を用いて表すことにより、数量の関係を式で表せることや、□にあてはまる数の求め方を理解している。	(14)			○
第4学年	A 数と計算	(1)ア 整数の表し方	・十進位取り記数法の意味を理解している。	(4)			○
			・数直線上の億を用いた大きな数を読み取ることができる。	(5)		○	
		(3)アイウエ 整数の除法	・数量の関係をテープ図を基に捉え、基準量を求めるために除法が用いられることを理解している。	(8)			○
			・除法に関して成り立つ性質を理解している。	(9)			○
			・2数の倍関係を用いた全体量の求め方を図や式、言葉などを用いて説明することができる。	(12)	○		
			・(3位数)÷(2位数)の計算を、被除数や除数、商との関係を基にして考え、商が十の位からたつ場合を判断することができる。	(16)	○		
	D 数量関係	(1)ア 伴って変わる二つの数量	・棒グラフと折れ線グラフの両方が示されたグラフから、必要な情報を読み取り、読み取ったことが正しいか、正しくないかの理由を説明することができる。	(20)	○		

小学校 4 年 算数 小問別通過率と設定通過率

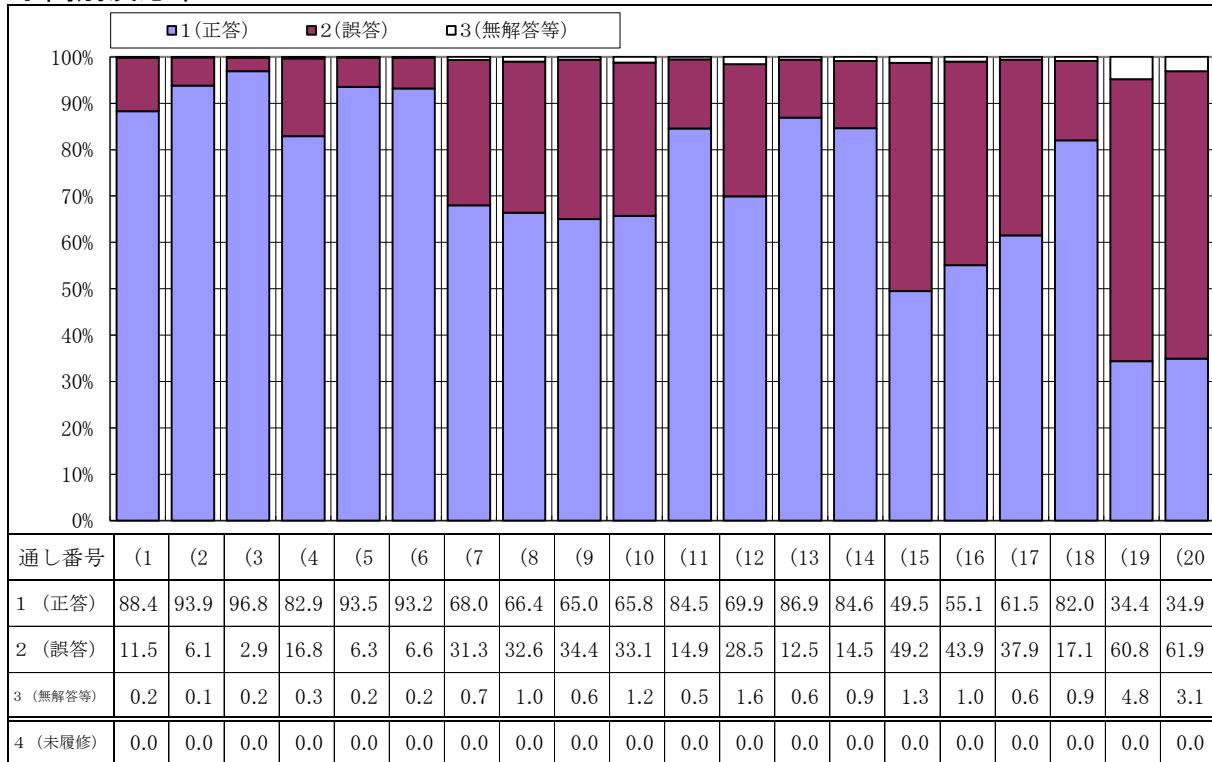
平均通過率 72.9%

通し 番号	出 題 内 容	通過率 (%)	設 定 通過率 (%)	0% 100%
(1)	(2 位数) × (2 位数) の計算	88.4%	90.0%	
(2)	小数第 1 位までの減法	93.9%	90.0%	
(3)	(2 位数) ÷ (1 位数) の計算	96.8%	90.0%	
(4)	十進位取り記数法の意味理解	82.9%	80.0%	
(5)	数直線上の大きな数の読み取り	93.5%	80.0%	
(6)	分数の意味理解とその表現	93.2%	80.0%	
(7)	組み合わされた円の半径の求め方	68.0%	70.0%	
(8)	基準量と比較量の関係	66.4%	70.0%	
(9)	除法の性質についての理解	65.0%	60.0%	
(1 0)	除数と余りの関係についての判断	65.8%	70.0%	
(1 1)	長さの単位換算	84.5%	80.0%	
(1 2)	2 数の倍概念の活用	69.9%	70.0%	
(1 3)	分数と小数の大きさについての理解	86.9%	80.0%	
(1 4)	□を用いた式の理解	84.6%	80.0%	
(1 5)	正三角形の意味や性質の理解	49.5%	60.0%	
(1 6)	商が十の位にたつ場合の判断	55.1%	60.0%	
(1 7)	長さや重さ、かさの単位の意味理解	61.5%	60.0%	
(1 8)	(3 位数) × (1 位数) の理解	82.0%	70.0%	
(1 9)	二等辺三角形の作図の筋道立てた説明	34.4%	60.0%	
(2 0)	2 つのグラフの読み取り	34.9%	60.0%	

※ ―― は設定通過率±10%を示している。

小学校 4年 算数

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (223校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	平均 通過率
100%	36	77	109	26	67	74	12	6	11	8	28	12	48	29	2	5	3	21	2	3	
90～100%	68	100	97	39	104	105	16	7	5	11	51	14	67	49	4	1	1	41	1		5
80～90%	90	38	14	81	45	32	34	29	34	46	80	44	63	90	7	25	21	81	3	6	44
70～80%	26	6	3	54	5	12	48	45	30	55	50	58	31	35	18	17	34	54	6	13	108
60～70%	2	1		17	2		50	75	72	46	11	50	9	14	37	41	65	22	14	9	61
50～60%	1	1		5			46	46	43	33	3	25	3	5	49	54	64	3	23	31	4
40～50%				1			9	11	17	8		11	1	1	48	46	21	1	32	35	1
30～40%							7	2	10	5		6	1		34	25	8		53	37	
20～30%							1	2	1	8		2			11	7	3		53	53	
10～20%										3		1			9	1	2		21	26	
0～10%															4	1	1		15	10	

小学校4年 算数 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

分類	観 点 別			領 域 別				計
	考え方	技能	知識・理解	数と計算	量と測定	図形	数量関係	
設定通過率の +10% より高い	0	2	1	3	0	0	0	3
±10% の範囲内	4	4	6	10	2	1	1	14
-10% より低い	2	0	1	0	0	2	1	3
計	6	6	8	13	2	3	2	20

2 考察

(1) 全体について

- ①20問中17問が、設定通過率の「±10%の範囲内」または「+10%より高い」状況であり、基礎的・基本的な学習内容の定着が図られている。
- ②観点別に見ると「技能」や「知識・理解」は良好であり、領域別に見ると「数と計算」は良好であるが、「図形」や「数量関係」に課題が見られる。

(2) 成果

- ①□を用いた式の意味について、理解が図られている。
- ②長さを単位換算して道のりと距離の差を求めること、数直線上の大きな数を読み取ること、小数についての豊かな感覚を身に付けていること、2数の倍関係を捉え全体量の求め方を説明することについて、改善が図られている。

(3) 課題

- ①円を用いて二等辺三角形をかく手順を筋道を立てて考え、説明することについて課題が見られる。
- ②棒グラフと折れ線グラフの両方が示されたグラフから、必要な情報を読み取り、読み取ったことが正しいか正しくないかの理由を説明することについて課題が見られる。

3 今後の指導

コンパスと定規を使って円の中に二等辺三角形をかく方法や手順を、見直したり説明したりする学習活動の充実を図る。

わたるさんは、コンパスとじょうぎを使って、図のように、半径が3 cmの円の中に辺の長さが3 cm、3 cm、5 cmの二等辺三角形をかきました。

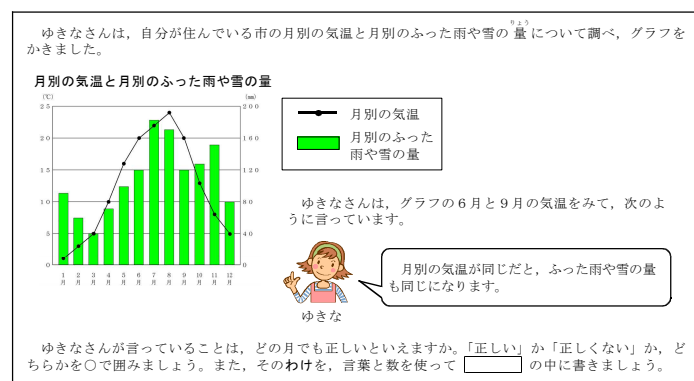
かおりさんは、わたるさんが、どのようにして、円を使って二等辺三角形をかいたのかを、①～⑥の順番で説明しています。③にあてはまる説明を の中に書きましょう。

かおりさんの説明

- ① はじめに、コンパスを使って、半径3 cmの円をかきます。
- ② つぎに、じょうぎを使って、アイのように線をひきます。
- ③
- ④ コンパスのはりをイにさせて、ウの場所を円上にとりまします。
- ⑤ じょうぎを使って、イとウを線でむすびます。
- ⑥ じょうぎを使って、アとウを線でむすびます。

- ・円の中に二等辺三角形をかく手順を、図や言葉などで表現したり、表現したことを関連付けて説明したりする活動を取り入れる。
- ・正しくかけていない例(誤答)を示し、かく手順を見直す活動を通して、二等辺三角形の作図の仕方を筋道を立てて考え、説明する活動を大切にしたい。

グラフの読み取りについて習熟を図るとともに、問題場面に応じて読み取ったことについて根拠を明らかにして説明する学習活動の充実を図る。



- ・問題文で示された事象が、双方のグラフのどの部分にどのように示されているかを確認したり、説明したりする活動を通して、目的に基づいてグラフからの確に読み取ることができる力を培う。
- ・グラフの情報の読み取りについて習熟が図られるよう、グラフに印をつけたり数値を書き込んだりする活動を取り入れる。

平成26年度小学校学習状況調査 第5学年 算数 評価規準と評価の観点

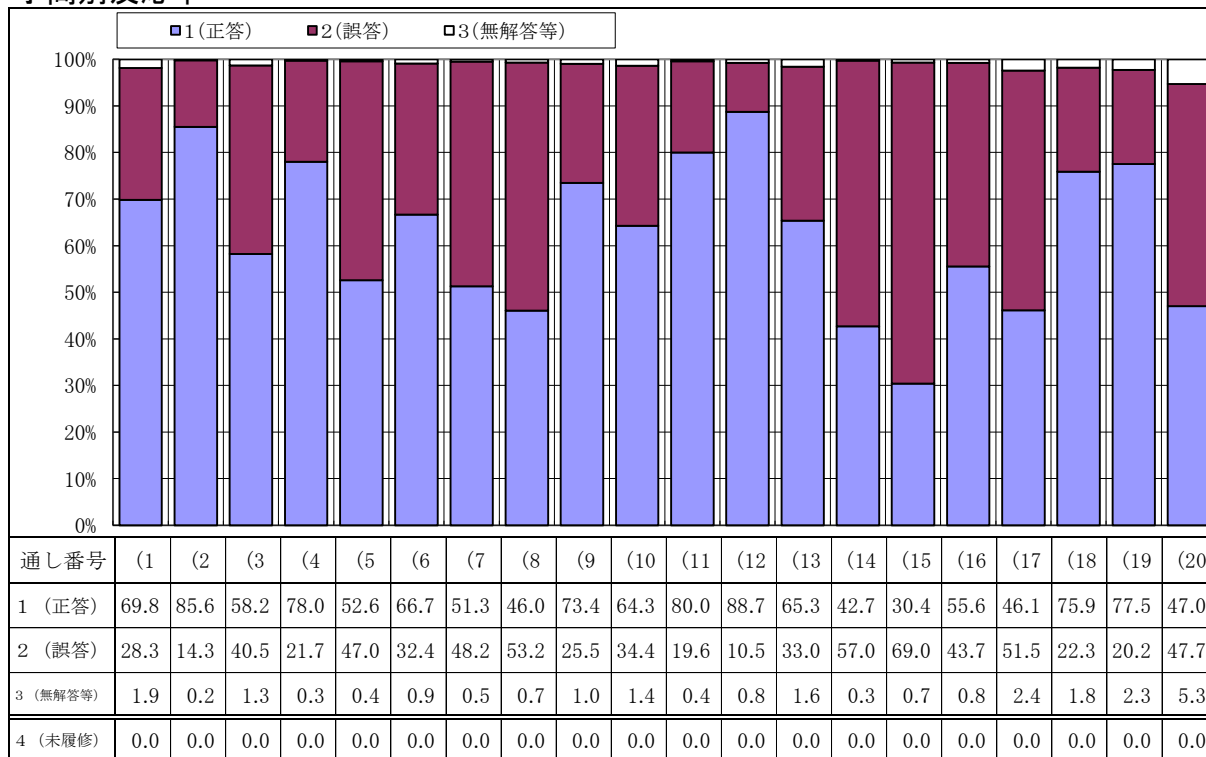
学年	領域	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点		
					考 え 方	技 能	知 識・ 理 解
第4学年	A 数 と 計 算	(2)アイ 概数と四捨五入	・概数の意味を理解している。	(4)			○
		(6)イ 同分母分数の加 法, 減法	・(整数) - (帯分数) の計算ができる。	(1)		○	
	B 量 と 測 定	(1)アイ 面積の単位と測定	・複合図形の面積の求め方を考えている。	(13)	○		
		(2)アイ 角の大きさ	・ 180° より大きい角の大きさを求めることができる。	(11)		○	
	C 図 形	(1)アイ 平行四辺形, ひし 形, 台形	・平行四辺形, 長方形の対角線の性質を理解して いる。	(14)			○
		(2)ア 立方体, 直方体な どの立体図形	・直方体を構成する面の形と面の数を理解してい る。	(16)			○
	D 数 量 関 係	(1)ア 伴って変わる二つ の数量	・伴って変わる二つの数量の関係に着目し, 数量 の関係を式に表すことができる。	(18)		○	
		(3)ア 四則に関して成り 立つ性質	・計算の工夫を読み取り, 四則の混合した式や() を用いた式の計算の仕方について考えている。	(9)	○		
		(4)ア 資料の分類整理	・資料を, 二つの観点から落ちや重なりがないよ うに, 分類整理することができる。	(19)		○	
第5学年	A 数 と 計 算	(1)イ 整数の性質	・具体的な場面において, 倍数や公倍数の考え方を 用いて説明することができる。	(10)	○		
		(3)アイウ 小数の乗法, 除法	・ $1 \div 10$ の位の小数と $1 \div 100$ の位の小数の 乗法の計算ができる。	(2)		○	
			・小数の除法について, 商を小数第二位で四捨五 入して概数で求めることができる。	(3)		○	
			・小数の乗法の積と整数の乗法の積との関係を理 解している。	(5)			○
			・乗数や除数が小数のときの被乗数と積, 被除数 と商の関係を理解している。	(6)			○
			・小数の除法が用いられる場面を理解している。	(7)			○
			・小数の場合も倍の乗法の計算の逆として除法が 用いられることを理解している。	(8)			○
	B 量 と 測 定	(2)アイ 体積の単位と測定	・球の体積の求め方を, 水(直方体)の体積に換 算して説明することができる。	(20)	○		
		(4)ア 異種の二つの量の 割合	・異種の二つの量の割合として捉えられる数量に について, その比べ方を説明することができる。	(17)	○		
	C 図 形	(1)イ 平面図形の性質	・合同な図形を, 対応する辺の長さや角の大きさに 着目してかくことができる。	(12)		○	
			・合同な三角形をかくために必要な構成要素を見 いだしている。	(15)	○		

通し 番号	出 題 内 容	通過率 (%)	設 定 通過率 (%)	0%100%
(1)	(整数)－(帯分数)の計算	69.8%	75.0%	
(2)	(小数)×(小数)の計算	85.6%	85.0%	
(3)	商を概数で求める(小数)÷(小数)の計算	58.2%	70.0%	
(4)	概数の理解	78.0%	80.0%	
(5)	小数の乗法の計算の仕方	52.6%	60.0%	
(6)	小数の計算と大きさの関係	66.7%	70.0%	
(7)	小数の除法の意味	51.3%	60.0%	
(8)	基準量と比較量の関係	46.0%	60.0%	
(9)	計算の工夫	73.4%	75.0%	
(10)	公倍数を適用する場面	64.3%	70.0%	
(11)	180°より大きい角度の測定	80.0%	80.0%	
(12)	合同な図形の作図	88.7%	85.0%	
(13)	複合図形の面積の求め方	65.3%	60.0%	
(14)	特別な四角形の性質	42.7%	70.0%	
(15)	三角形の合同	30.4%	60.0%	
(16)	直方体の面の形	55.6%	60.0%	
(17)	単位当たりの量	46.1%	60.0%	
(18)	伴って変わる2つの数量の関係を式で表現	75.9%	80.0%	
(19)	資料の分類・整理	77.5%	80.0%	
(20)	球の体積を水の体積に換算しての求積	47.0%	60.0%	

※ ―― は設定通過率±10%を示している。

小学校 5年 算数

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (223校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	平均通過率
100%	15	37	12	26	7	14	7	4	20	10	30	42	13	3	1	5	5	19	27	6	
90～100%	12	55	8	27	5	7		5	19	8	27	77	2	1		4		34	39		2
80～90%	38	78	21	75	15	26	11	10	61	23	89	84	32	3	6	10	9	54	65	8	11
70～80%	58	36	30	44	19	52	22	21	51	68	54	17	48	11	8	22	10	51	45	14	49
60～70%	53	11	43	29	42	67	45	25	43	45	14	2	64	17	11	58	30	39	23	39	101
50～60%	29	4	50	19	47	39	58	46	20	33	6		46	41	20	60	50	19	15	43	48
40～50%	10		24	2	42	10	42	37	5	22	1		14	48	25	36	50	6	6	50	11
30～40%	5		17	1	28	5	26	45	3	11	1		4	66	32	18	37		2	28	1
20～30%	2	2	9		14	3	9	21	1	3	1	1		20	59	9	22	1		30	
10～20%			6		2		2	7						8	43	1	9			3	
0～10%	1		3		2		1	2						5	18		1		1	2	

小学校5年 算数 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

分類 設定通過率の	観 点 別			領 域 別				計
	考え方	技能	知識・理解	数と計算	量と測定	図 形	数量関係	
＋10% より高い	0	0	0	0	0	0	0	0
±10% の範囲内	3	6	5	7	2	2	3	14
－10% より低い	3	1	2	2	2	2	0	6
計	6	7	7	9	4	4	3	20

2 考察

(1) 全体について

- ①20問中14問が設定通過率の「±10%範囲内」にあり、学習状況はおおむね良好である。
- ②観点別に見ると「数学的な考え方」に課題が見られ、領域別に見ると「数量関係」が良好であり、「量と測定」と「図形」に課題が見られる。

(2) 成果

- ①経年で比較している問題14問中12問において通過率が向上し、改善が図られている。
- ②「複合図形の面積の求め方」の問題では通過率が大きく向上しており、改善が見られる。また、昨年度の課題の「小数倍」の問題でも昨年度の通過率を上回っている。

(3) 課題

- ①合同な三角形をかくために必要な条件を見いだすことに課題が見られる。
- ②異種の二つの量の割合として捉えられる数量について、その比べ方を説明することに課題が見られる。

3 今後の指導

合同な三角形をかく活動等を通して、合同な三角形をかくために必要な条件を見いだすことができるようにする。

図の三角形ABCと合同な三角形をかくために、三角形ABCのどの辺の長さや角の大きさを調べればよいかを考えます。ア～オは、辺の長さや角の大きさを調べるところに○の印をつけたものです。三角形ABCと合同な三角形をかくことができるものをすべて選んで、その記号を の中に書きましょう。

図

- ・合同な三角形をかくには、基になる三角形の辺の長さや角の大きさを測ったり、三つの頂点の位置を決めたりする必要があることを実感を伴って理解させる。
- ・形が一つに決まらない場合や形は同じだが大きさが違う場合など、合同な三角形をかくことができない場合を取り上げ、条件の理解を深める活動を充実させる。

異種の二つの割合として捉えられる数量について、その比べ方を説明する活動を充実させる。

2つのテントA、Bがあります。下の表はそれぞれのテントにとまる人数とテントの面積を表しています。

A、Bのテントのうち、こんでいるほうのテントの記号を○でかこみ、そう考えたわけを、言葉と式を使って の中に書きましょう。

テント	人数(人)	面積(m ²)
A	6	14
B	5	12

- ・混み具合については、「人数」と「面積」の二つの量の割合として捉えさせるとともに、一方の数量がそろった状態で比較する考え方や、一方の数量を公倍数や単位量当たりでそろえて比較する考え方のよさについて、理解を深める活動を充実させる。
- ・言葉や式を用いて表された考え方を提示して、数や式の意味を考えさせたり、根拠を明らかにして説明させたりする場を設定する。

平成26年度小学校学習状況調査 第6学年 算数 評価規準と評価の観点

学 年	領 域	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点		
					考 え 方	技 能	知 識・ 理 解
第5学年	A 数と 計算	(4)アイウエオ 分数	・ 具体の場面で異分母分数の減法の計算ができる。	(2)		○	
			・ 分数や小数の大小関係について理解している。	(3)			○
	B 量と 測定	(1)ア 図形の面積	・ 三角形の面積を求めるときの高さの意味を理解している。	(4)			○
			・ 四角形と面積が等しくなる三角形を見いだしている。	(9)	○		
			・ 図形を様々な角度から考察し、平行四辺形の高さの求め方を考えている。	(17)	○		
		(3)ア 量の大きさの測定値	・ 二つの集団の平均から集団全体の合計の値の求め方を式で表すことができる。	(15)		○	
	C 図 形	(1)アウ 平面図形の性質	・ 多角形の内角の和の求め方について、図と式を関連付けて考えている。	(7)	○		
			・ 円に内接する正八角形を基にして角の大きさを求めることができる。	(14)		○	
		(2)ア 立体図形の性質	・ 三角柱の見取り図から展開図をかくことができる。	(19)		○	
	D 数 量 関 係	(2) 数量の関係を表す式	・ 二つの数量の関係を図や表や式と関連付けて考え、判断することができる。	(11)	○		
		(4) 円グラフや帯グラフ	・ 帯グラフや与えられた二人の考え方を基に、果汁の量が多いわけを数学的な表現を用いて説明することができる。	(20)	○		
第6学年	A 数と 計算	(1)アイウ 分数の乗法、除法	・ (小数) ÷ (分数) の計算ができる。	(1)		○	
			・ 分数の除法が用いられる場面で式の意味を考えている。	(5)	○		
			・ 分数の場合も倍の乗法の計算の逆として除法が用いられることを理解している。	(13)			○
	B 量と 測定	(2)ア 円の面積	・ 正三角形の三つの角の大きさの和が180°になることを用いて、半円の面積を求めることができる。	(10)		○	
		(4) 速さ	・ 速さと時間から道のりの求め方を考え、数学的な表現を用いて説明することができる。	(12)	○		
	C 図 形	(1)イ 対称な図形	・ 対称な図形の意味を理解している。	(8)			○
			・ 点対称な図形の対称の中心を求めることができる。	(16)		○	
	D 数 量 関 係	(3)ア 文字を用いた式	・ 数量の関係を文字を用いて表すことができる。	(6)		○	
			・ 数量の関係を文字を用いて式に表すことを理解している。	(18)			○

小学校 6年 算数 小問別通過率と設定通過率

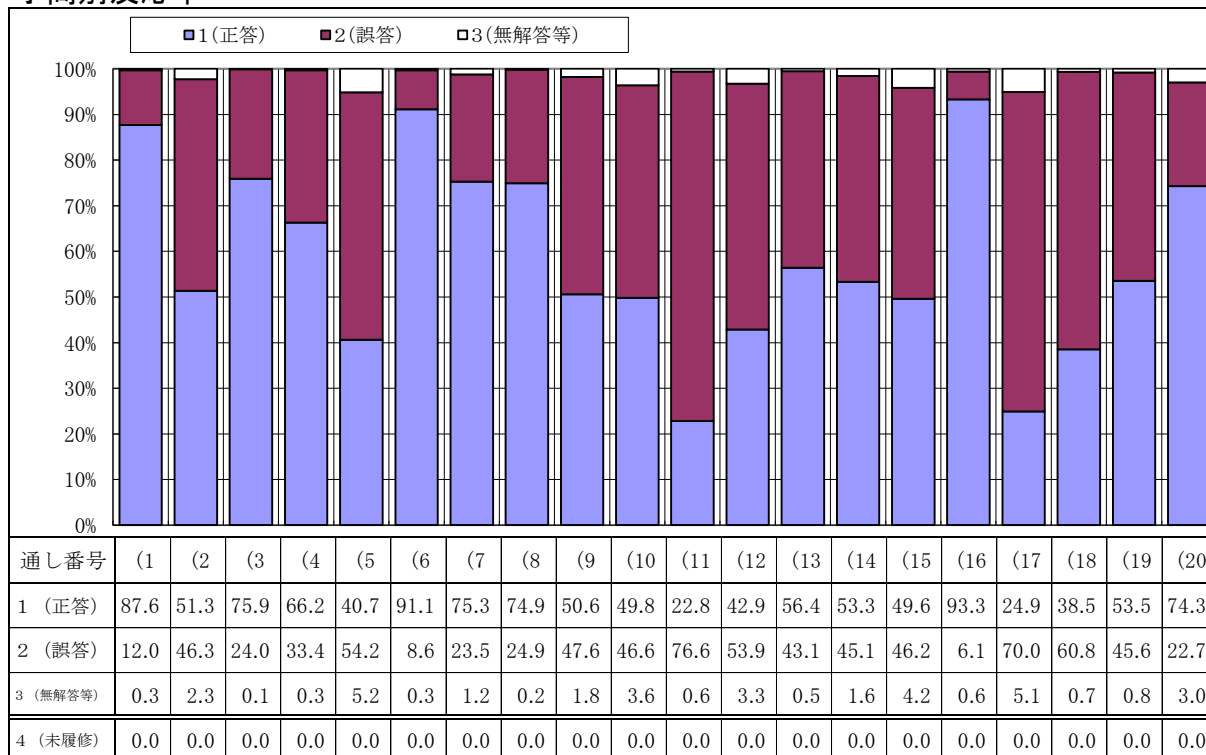
平均通過率 58.7%

通し 番号	出題内容	通過率 (%)	設定 通過率 (%)	0% 100%
(1)	(小数) ÷ (分数) の計算	87.6%	90.0%	
(2)	異分母の分数の減法	51.3%	80.0%	
(3)	小数と分数の大小関係	75.9%	70.0%	
(4)	三角形の高さの意味理解	66.2%	70.0%	
(5)	分数の除法の意味	40.7%	60.0%	
(6)	伴って変わる2つの数量の関係を式で表現	91.1%	90.0%	
(7)	多角形の内角の和	75.3%	70.0%	
(8)	対称な図形の弁別	74.9%	70.0%	
(9)	四角形と面積の等しい三角形	50.6%	60.0%	
(10)	半円の面積の求め方	49.8%	70.0%	
(11)	□や○などを用いた式	22.8%	60.0%	
(12)	速さ、時間、道のりの関係	42.9%	70.0%	
(13)	基準量と比較量の関係	56.4%	70.0%	
(14)	円に内接する正多角形の角の大きさ	53.3%	60.0%	
(15)	平均値から全体の合計値を求める問題	49.6%	60.0%	
(16)	点対称な図形の対称の中心	93.3%	90.0%	
(17)	平行四辺形の高さを求める問題	24.9%	70.0%	
(18)	230 ÷ x = y になる具体の場面を問う問題	38.5%	70.0%	
(19)	展開図をかく問題	53.5%	60.0%	
(20)	他の考えを読み取り、数学的に考え表現する問題	74.3%	60.0%	

※ ——— は設定通過率±10%を示している。

小学校 6年 算数

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (223校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	平均通過率
100%	53	8	20	13	1	53	22	12	8	6	1	2	5	6	4	78	2	1	3	18	
90～100%	69	5	32	9		103	25	23	2	1		1	3	5	3	100	1	1	4	17	
80～90%	64	12	57	34	7	46	56	57	16	12		5	19	14	12	36		2	9	57	3
70～80%	29	28	60	43	10	15	56	63	29	13	2	9	33	21	24	7	2	8	16	62	38
60～70%	7	28	30	55	28	3	35	45	24	30	5	23	42	37	30	2	9	13	44	44	70
50～60%	1	40	19	46	37	1	22	19	43	49	6	47	50	62	48		12	26	62	21	85
40～50%		52	4	15	41	2	5	1	42	54	13	45	42	44	41		18	48	53	4	27
30～40%		36		6	55		2	2	33	41	35	50	18	23	34		36	64	23		
20～30%		12	1	2	24			1	18	10	61	26	7	8	15		59	39	8		
10～20%		2			15				4	6	66	9	4	3	4		56	16	1		
0～10%					5				4	1	34	6			8		28	5			

小学校 6 年 算数 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

分類 設定通過率の	観 点 別			領 域 別				計
	考え方	技能	知識・理解	数と計算	量と測定	図形	数量関係	
+10% より高い	1	0	0	0	0	0	1	1
±10% の範囲内	2	5	3	2	2	5	1	10
-10% より低い	4	3	2	3	4		2	9
計	7	8	5	5	6	5	4	20

2 考察

(1) 全体について

- ①20問中9問が設定通過率の「-10%より低い」ところにあり、基礎的・基本的な学習内容の定着が図られているとはいえない状況である。
- ②観点別に見ると「技能」はおおむね良好であるが、「考え方」に課題がある。領域別に見ると「図形」は良好であるが、「数と計算」や「量と測定」に課題が見られる。

(2) 成果

- ①帯グラフや与えられた二人の考え方を基に、数学的な表現を用いて説明することについて、改善が図られている。
- ②数量の関係を文字を用いて表すこと、分数や小数の大小関係について理解すること、対称な図形の意味を理解していることについて、改善が図られている。

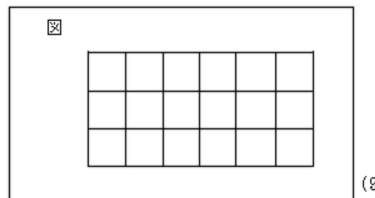
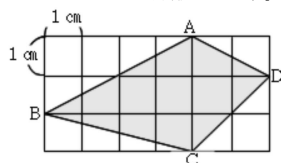
(3) 課題

- ①四角形と面積が等しくなる三角形を見いだすことに課題が見られる。
- ②速さと時間から道のりの求め方を考え、数学的な表現を用いて説明することに課題が見られる。

3 今後の指導

見通しを全体で共有し、解決方法について比較・検討することを通して、図形を多面的に見て考察する面白さを味わわせる。
また、既習の知識や技能の習熟を図りながら、図形に対する豊かな感覚を育てる。

- 8 次の四角形ABCDと面積が等しい三角形を図の中にかきましょう。ただし、方眼は1辺が1cmの正方形とします。



- ・子どもに何が分かると問題が解決できそうか、見通しをもたせ、全体で共有する。
- ・子どもの解決状況を見取り、意図的に取り上げて、比較したり、他の考えを読み取ったりするなどの場を設定し、図形を多面的に見て考察する面白さを味わわせ、図形に対する豊かな感覚を育てる。

速さ、時間、道のりの関係を活用し、数や式、図などの数学的な表現を用いて説明することのよさについて理解を深め、習熟を図る。

- 11 時速240kmで走る新幹線は、2時間20分で何km進むでしょうか。求め方と答えを□の中に書きましょう。

求め方

答え _____ km 進む (12)

- ・全ての子どもが、時速240kmの意味は、1時間(60分)で240km進むことであることを習得する必要がある。
- ・求め方の説明は、教師から一方的に示すのではなく、よりよい説明をみんなで創り上げたという思いがもてるように、学び合いの場を設定する。
- ・よりよい説明を創り上げる活動を通して、数や式、図などの数学的な表現を用いて説明することのよさについて理解を深め、習熟を図る場を設定する。

平成26年度中学校学習状況調査 第1学年 数学 評価規準と評価の観点

学 年	領 域	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点		
					考 え 方	技 能	知 識 ・ 理 解
小学校第6学年	A 数と計算	(1) アイ 分数の乗法, 除法	・ 分数の場合について, 除法が用いられる場面を理解している。	(8)			○
	B 量と測定	(5) メートル法の単位の仕組み	・ 身の回りにあるものの体積や重さの単位が, どのような関係にあるかを理解している。	(14)			○
		(3) ア 角柱及び円柱の体積	・ 見取図を基にして, 角柱の体積の求め方を式に表すことができる。	(16)		○	
	C 図形	(1) ア 縮図や拡大図	・ 一つの頂点に集まる辺や対角線の長さの比が一定であることを基に, 拡大図をかくことができる。	(12)		○	
			・ 実測できない長さについて, 縮図を利用して考え, 長さを求めることができる。	(13)	○		
	D 数量関係	(1) 比	・ 日常生活の場面から, 比の相等関係を見付け出し, 比例式を用いて, 二つの数量を捉えることができる。	(10)	○		
		(2) アウ 比例	・ 伴って変わる二つの数量の関係について考え, 比例と反比例を判断することができる。	(11)	○		
		(4) イ 資料の考察	・ グラフから資料の特徴を読み取って判断し, 数学的な根拠を基に説明することができる。	(15)	○		
		(5) 起こり得る場合	・ 落ちや重なりがないように, 起こりうる場合を順序よく整理して調べることができる。	(17)		○	
中学校第1学年	A 数と式	(1) ウエ 正の数・負の数	・ 正の数, 負の数の四則計算ができる。	(1)		○	
			・ 正の数, 負の数を利用して, 基準の求め方を考え, 解く過程をかくことができる。	(5)	○		
			・ 整数における四則計算の可能性について理解している。	(9)			○
		(2) アイウエ 文字を用いた式	・ 一次式の減法の計算ができる。	(2)		○	
			・ 身近な数量の大小関係を不等式に表すことができる。	(4)		○	
			・ 文字式の表し方の約束を理解している。	(6)			○
			・ 事象の中の数量について, 文字を用いて式に表すことができる。	(7)		○	
			・ 事象の中の数量関係について考え, 文字式と図を関連付けて説明することができる。	(20)	○		
		(3) イウ 一元一次方程式	・ 分数係数の一元一次方程式を解くことができる。	(3)		○	
			・ 一次方程式の解を利用して, 文字の値を求めることができる。	(18)		○	
			・ 一次方程式の意味を読み取り, その式に合う問題場面を判断することができる。	(19)	○		

中学校 1 年 数学 小問別通過率と設定通過率

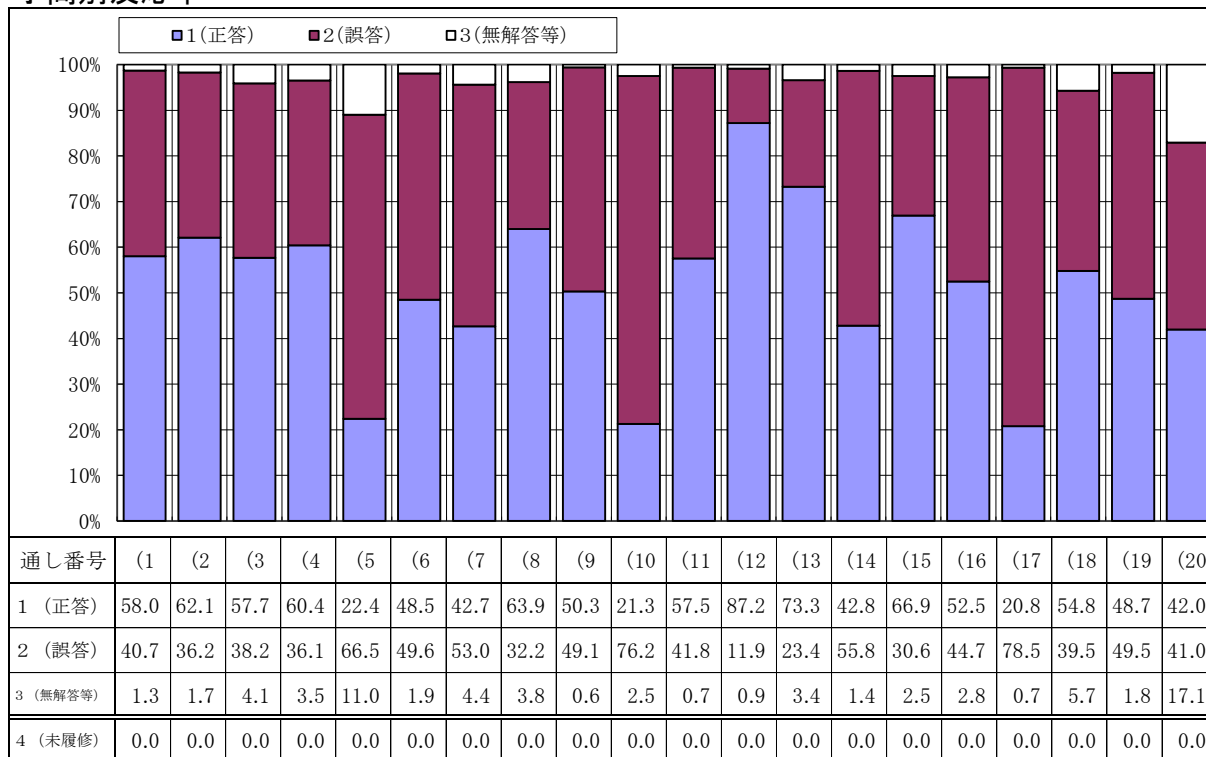
平均通過率 51.7%

通 し 番 号	出 題 内 容	通過率 (%)	設 定 通過率 (%)	0% 100%
(1)	累乗を含む正負の数の四則計算	58.0%	75.0%	
(2)	多項式の減法	62.1%	80.0%	
(3)	分数係数の一次方程式の計算	57.7%	65.0%	
(4)	数量の大小関係の表し方	60.4%	70.0%	
(5)	正の数・負の数の活用	22.4%	60.0%	
(6)	文字式の表し方	48.5%	70.0%	
(7)	文字を使った数量の表し方	42.7%	65.0%	
(8)	分数の除法の演算決定	63.9%	70.0%	
(9)	四則計算の可能性	50.3%	75.0%	
(1 0)	比の活用	21.3%	60.0%	
(1 1)	比例・反比例の識別	57.5%	65.0%	
(1 2)	拡大図の作図	87.2%	90.0%	
(1 3)	縮尺の利用	73.3%	75.0%	
(1 4)	水の体積と重さの単位	42.8%	60.0%	
(1 5)	資料の特徴の読み取り	66.9%	75.0%	
(1 6)	角柱の体積の求め方	52.5%	60.0%	
(1 7)	場合の数	20.8%	80.0%	
(1 8)	一次方程式の解の利用	54.8%	70.0%	
(1 9)	一次方程式からの問題場面の読み取り	48.7%	75.0%	
(2 0)	文字式の読み取り	42.0%	60.0%	

※ ―― は設定通過率±10%を示している。

中学校 1 年 数学

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (121校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	平均通過率
100%	1	1									2	18			2				1	1	
90～100%	1	3						5	2			59	7		2		2	2			
80～90%	9	15	10	8		1	3	18	2		7	30	23	1	23	5		1	2	1	
70～80%	20	27	21	22		7	13	28	9		13	5	45	4	37	5	2	7	1	6	2
60～70%	23	32	27	34	3	16	13	33	20		36	3	41	10	25	19		30	10	9	17
50～60%	38	27	31	30		32	22	21	39	2	32		4	17	22	44	2	43	36	23	63
40～50%	18	6	26	19	3	31	26	13	28	8	22			40	3	33	3	27	51	27	35
30～40%	9	9	4	5	10	26	12	2	14	17	8	3		33	5	10	8	7	17	36	3
20～30%	1		1	2	52	7	15		6	37	1	1		15	1	4	35	3	2	15	1
10～20%					41		14			46		2			1		56			3	
0～10%	1	1	1	1	12	1	3	1	1	11			1	1		1	13	1	1		

中学校 1 年 数学 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

分類 設定通過率の	観 点 別			領 域 別				計
	見方・考え方	技 能	知識・理解	数と計算 数と式	量と測定	図 形	数量関係	
+10% より高い	0	0	0	0 0	0	0	0	0
±10% の範囲内	3	4	1	1 2	1	2	2	8
-10% より低い	4	5	3	0 9	1	0	2	1 2
計	7	9	4	1 1 1	2	2	4	2 0

2 考察

(1) 全体について

- ① 小学校の問題に関する通過率は「±10%の範囲内」にあり、学習内容はおおむね定着している。
- ② 「文字を用いた式」では、設定通過率の「-10%より低い」問題が5問中4問あり、文字式の学習内容について、確実な定着が図られていない。

(2) 成果

- ① 図形領域の拡大図を作図したり、縮図を利用したりする問題の通過率が高く、学習内容の定着が図られている。
- ② テーブ図を用いて文字を使った数量の表し方に関する問題の通過率が大きく向上し、改善が図られている。

(3) 課題

- ① 文章を読み取り、与えられた条件を基に、等しい数量関係を見付けだすことに課題が見られる。
- ② 一次方程式の式を読み取り、その式に合う問題場面を判断することに課題が見られる。

3 今後の指導

日常生活の場面における2つの数量の関係について、図や表、言葉などを用いて比の相等関係を見付けだし、比例式を用いて表す活動を一層充実させる。

次の(問題)を解くとき、下の(解答)のように比例式の考えを使って解きました。アとイに、あてはまる数や文字を書き、牛乳と紅茶のそれぞれの量を求めなさい。(10)

(問題) 牛乳と紅茶を3:5の割合で混ぜ合わせてミルクティーを作ります。

1200mLのミルクティーを作るのに、牛乳と紅茶は、それぞれ何mL必要ですか。

(解答)

牛乳の量をxmLとすると、牛乳とミルクティーの量の関係を表す比例式は、

$$3 : \boxed{} = \boxed{} : 1200$$

これを計算すると、

答 牛乳 mL、 紅茶 mL

- ・指導に当たっては、日常生活との関わりを踏まえて2つの数量の関係を捉えさせる必要がある。そのために、具体的な操作活動をしたり、図や表などに表したりする数学的活動の充実を図る。
- ・簡単な比例式については小学校第6学年で学習しており、それを生かして文字を用いて式に表すことの意義を確認するとともに、文字を用いた式の計算や処理に関する能力の育成を図る。

問題場면을文字を用いた式に表現したり、文字を用いた式の意味を読み取ったりする活動をより一層充実させる。

まことさん、ゆうじさん、さきさんの3人は、求めたい数量をxとして問題を解決するときの方程式が、次のようになる問題をそれぞれ作りました。この中で次のような式にならない問題を作った人を1人選んで、その名前を書きなさい。(19)

$$\text{方程式 } 3x - 240 = 750$$



さとしさんは750円もっています。1個x円のケーキを3個買いたいですが、240円足りません。ケーキ1個の代金はいくらでしょうか。ただし、消費税は考えないものとします。



A駅から時速xkmの新幹線で3時間走ったら、750km離れたB駅まで残り240kmのところまで来ました。この新幹線の時速を求めましょう。



妹は折り紙をx枚持っています。姉は折り紙を750枚持っています。妹の持っている折り紙の枚数を3倍すると、姉の持っている折り紙の枚数より240枚多くなりました。妹の持っている折り紙は何枚でしょうか。

- ・小学校の学習内容との関連を図るとともに、学習形態を工夫したり、効果的に言語活動を取り入れたりして、立式の意味付けや場面を想定する活動を取り入れる。
- ・日常生活や社会との関わりを捉えさせるようにすることが必要である。問題場面を捉えやすくするよう身近な題材から問題を設定したり、式から問題をつくる活動を取り入れたりするなど、事象を多面的に見ることができるよう学習展開を工夫する。

平成26年度中学校学習状況調査 第2学年 数学 評価規準と評価の観点

学 年	領 域	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点		
					考 え 方	技 能	知 識・ 理 解
第1学年	A 数と式	(2) イウエ 文字と式	・一次式の減法の計算をすることができる。	(2)		○	
			・文字を用いて数量の関係を式で表すことができる。	(4)		○	
		(3) ウ 一元一次方程式	・係数が分数の一元一次方程式を解くことができる。	(1)		○	
			・比例式を用いて、問題の中の数量やその関係を考えることができる。	(12)	○		
	B 図形	(1) アイ 平面図形	・折り目の線が角の二等分線になることを捉え、正しく作図することができる。	(14)		○	
		(2) イウ 空間図形	・回転体の表面積を求めることができる。	(6)		○	
			・底面が合同で高さが等しい円柱と円錐の体積の関係を理解している。	(7)			○
			・中心角の大きさの比例関係を捉え、おうぎ形の面積を考えることができる。	(13)	○		
	C 関数	(1) イエ 比例・反比例	・反比例の関係を読み取り、表と関連付けながら式を求めることができる。	(16)		○	
	D 資料の活用	(1) ア 資料の散らばりと代表値	・相対度数の意味を理解している。	(10)			○
第2学年	A 数と式	(1) イウ 式の計算	・等式を目的に応じて変形することができる。	(3)		○	
			・2けたの自然数と入れかえた数の和が11の倍数になることを、文字を用いた式を使って説明することができる。	(9)	○		
		(2) イウ 連立方程式	・連立方程式を解くことができる。	(5)		○	
			・具体的な事象の中の数量の関係を捉え、連立二元一次方程式をつくることができる。	(15)	○		
	B 図形	(1) イ 多角形の角	・多角形の内角の和の求め方を考えることができる。	(8)	○		
		(2) アイウ 合同と図形の性質	・証明のための構想や方針の必要性和意味を理解している。	(19)			○
			・与えられた証明の方針を読み取り、それに基づいて証明することができる。	(20)	○		
	C 関数	(1) イエ 一次関数	・一次関数について、表とグラフを相互に関連付けて理解している。	(11)			○
			・グラフ上の2点の座標から一次関数の式を求めることができる。	(17)		○	
			・事象を数学的に解釈し、グラフと対応させて考察することができる。	(18)	○		

中学校 2 年 数学 小問別通過率と設定通過率

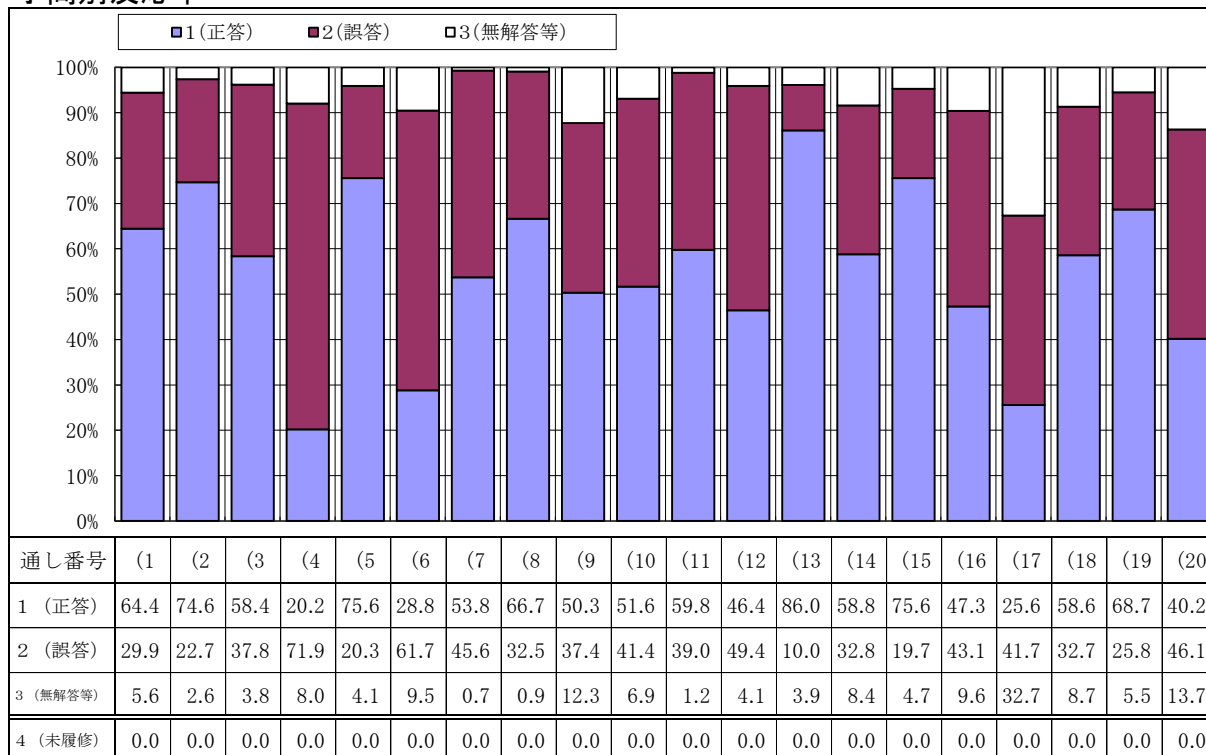
平均通過率 55.6%

通し 番号	出 題 内 容	通過率 (%)	設 定 通過率 (%)	0% 100%
(1)	分数係数の一次方程式の計算	64.4%	70.0%	
(2)	多項式の減法	74.6%	80.0%	
(3)	等式変形	58.4%	65.0%	
(4)	文字を使った式	20.2%	65.0%	
(5)	連立方程式の計算	75.6%	85.0%	
(6)	回転体からの球の表面積	28.8%	65.0%	
(7)	円柱と円錐の体積の関係の意味理解	53.8%	60.0%	
(8)	多角形の内角の和についての意味理解	66.7%	75.0%	
(9)	文字を用いた説明	50.3%	60.0%	
(1 0)	資料の活用 (相対度数の意味理解)	51.6%	60.0%	
(1 1)	一次関数の意味理解	59.8%	65.0%	
(1 2)	比例式の立式	46.4%	65.0%	
(1 3)	おうぎ形の面積	86.0%	90.0%	
(1 4)	基本の作図	58.8%	65.0%	
(1 5)	連立方程式の利用	75.6%	85.0%	
(1 6)	反比例の意味理解	47.3%	85.0%	
(1 7)	反比例と一次関数の利用	25.6%	60.0%	
(1 8)	一次関数の利用 (分速を求める)	58.6%	65.0%	
(1 9)	証明のための方針	68.7%	75.0%	
(2 0)	三角形の合同条件を用いた証明	40.2%	60.0%	

※ ―― は設定通過率±10%を示している。

中学校 2年 数学

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (122校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	平均通過率
100%	1	3	1		4		1	1			1	2	9	1	1	1			1		
90～100%	3	13	6		6		3				2		32	3	7	1			5	1	
80～90%	11	43	10		36		13	13	9	7	5	1	63	12	29	3	1	7	23	4	1
70～80%	33	33	18		44	2	9	33	12	13	18	5	15	22	55	2		22	39	7	10
60～70%	38	18	19	2	26	5	23	49	18	19	39	12	1	27	27	15		31	28	16	28
50～60%	26	7	36	2	6	10	29	22	29	28	36	34	1	26	1	35	1	31	19	15	59
40～50%	7	2	25	5		12	26	3	21	30	13	27		13	1	28	7	21	4	22	20
30～40%	2	1	5	8		25	15	1	20	16	7	31		12		22	25	7	2	22	3
20～30%			1	34		34	2		8	6	1	4		4		12	47	1		20	
10～20%		1		46		26			4	1		4		1		1	30	1		10	1
0～10%	1	1	1	25		8	1		1	2		2	1	1	1	2	11	1	1	5	

中学校2年 数学 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

分類 設定通過率の	観 点 別			領 域 別				計
	見方・考え方	技能	知識・理解	数と式	図 形	関 数	資料の活用	
+10% より高い	0	0	0	0	0	0	0	0
±10% の範囲内	5	5	4	6	5	2	1	14
-10% より低い	2	4	0	2	2	2	0	6
計	7	9	4	8	7	4	1	20

2 考察

(1) 全体について

- ①20問中14問が、設定通過率の「±10%の範囲内」にあり、学習状況はおおむね良好である。
- ②観点別に見ると「見方・考え方」や「技能」に課題が見られる。

(2) 成果

- ①昨年度の課題であった「資料の活用」の問題の通過率が大きく上昇し、改善が図られている。
- ②全国学力・学習状況調査B問題の出題趣旨を踏まえた「文字を使って説明する」ことについての問題は、まだ課題は見られるものの通過率が大幅に上昇してきている。

(3) 課題

- ①文字を用いて数量の関係を式で表すことに課題が見られる。
- ②回転体の表面積を求めることに課題が見られる。

3 今後の指導

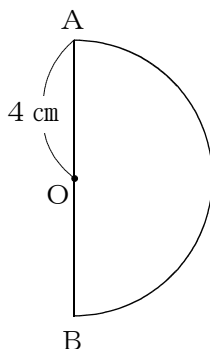
文字を用いて数量の大小関係を不等式に表す学習の充実を図る。

50個のみかんを、1人に a 個ずつ12人に配ったら b 個以上余りました。この数量の関係を不等式で表しなさい。(4)

- ・問題を短く区切りながら場面を読み取らせるなどして、文字を用いて数量を表すことに習熟させる必要がある。
- ・文字にいろいろな数を代入して数量の大小関係を考えさせる活動を設定し、不等式についての理解を深めさせる。
- ・ $50 - 12a \leq b$ のような不等号の向きが違う式、 $\geq$ ではなく $>$ を使った式、 $12a \geq b$ のような数量の一部が欠けている式などの誤答を学び合いの場面で意図的に生かし、比較・検討させることで、文字を用いて表された式の意味や数量の大小関係が理解できるよう授業の展開を工夫する。

球の表面積の公式を作り出していく過程を大切にし、実感を伴った理解が図られる学習の充実を図る。

下の図のように、線分ABを直径とする半円Oがあり、半径は4cmです。この半円Oを、線分ABを軸として1回転してできる立体の表面積を求めなさい。ただし、円周率を π とします。



(6)

- ・球の表面積を求める公式を単に覚えさせるのではなく、既習の円の面積とどのような関係にあるのかに目を向けさせながら授業を展開したい。

〈展開例〉

「①身近にある球を使って、その球の上半分を覆うようにひもを渦状に巻き付けたもの」と、「②画用紙に球の直径と同じ直径の円を1つ描き、その円に、ひもを渦状に敷き詰めたもの」を準備する。

①と②のひもの長さの関係を予想させた上で、実際に2本のひもの長さを確かめる活動を取り入れる。

この活動の後に、球の表面積を求める公式を利用する場面を設定する。

- ・このような活動を通して、球の上半分の表面積が同じ直径の円の面積の2倍であることを実感を伴って理解させ、球の表面積が同じ直径の円の面積の4倍であることに結び付ける。
- ・球の体積についても、実感を伴った理解が図られる活動を取り入れる。

4 結果と考察 (4)理科

平成26年度小学校学習状況調査 第4学年 理科 評価規準と評価の観点

学 年	領 域	内 容	評 価 規 準	通し 番号	観 点		
					思考 表現	技能	知識 理解
第 3 学 年	A 物質・エネルギー	(4)ア	・磁石に引き付けられる物には、磁石に付けると磁石になる物があることを理解している。	(1)			○
		(1)ア	・物の形を変える前と変えたときの重さを比較して、物の形と重さの関係について考察し、表現している。	(3)	○		
		(3)イ	・鏡ではね返した日光を重ね合わせ、物の暖かさを変える方法を考察し、表現している。	(6)	○		
	B 生命・地球	(1)ア	・身近な昆虫の変態の違いを考察し、表現している。	(2)	○		
		(3)ア	・棒の影の位置の変化と太陽の動きを比較して考察し、表現している。	(4)	○		
		(3)ア	・方位磁針を適切に使って、太陽の方位を観察している。	(5)		○	
		(2)ア	・虫眼鏡を適切に使って、生物を観察している。	(7)		○	
第 4 学 年	A 物質・エネルギー	(3)ア	・回路に流れる電流の向きを変えるために、導線のつなぎ方を変えて回路をつくっている。	(8)		○	
		(3)イ	・光電池に当てる光の強さを变えて、回路を流れる電流の強さと、その働きを関係付けて考察し、表現している。	(9)	○		
	B 生命・地球	(1)イ	・人が体を動かすことができるのは、骨や筋肉、関節の働きによることを理解している。	(10)			○
		(3)ア	・天気によって1日の気温の変化の仕方に違いがあることを理解している。	(11)			○
		(4)ウ	・時刻によって星の位置は変わるが、並び方は変わらないことを理解している。	(12)			○

小学校 4 年 理科 小問別通過率と設定通過率

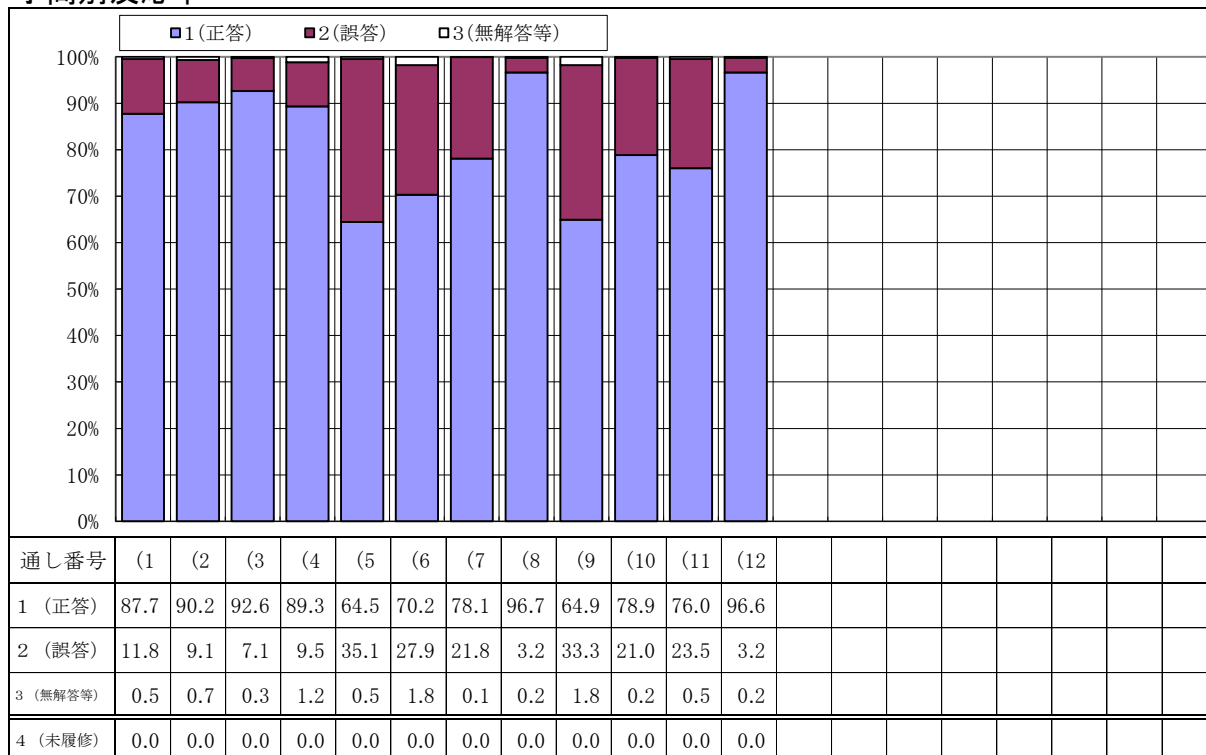
平均通過率 82.1%

通 し 番 号	出 題 内 容	通過率 (%)	設 定 通過率 (%)	0% 100%
(1)	磁石の性質	87.7%	70.0%	
(2)	昆虫の育ち方	90.2%	80.0%	
(3)	物と重さ	92.6%	70.0%	
(4)	太陽の動き	89.3%	75.0%	
(5)	方位磁針の使い方	64.5%	70.0%	
(6)	光の性質	70.2%	70.0%	
(7)	虫眼鏡の使い方	78.1%	75.0%	
(8)	電気の働き	96.7%	80.0%	
(9)	光電池の働き	64.9%	70.0%	
(1 0)	関節の働き	78.9%	75.0%	
(1 1)	天気と1日の気温の変化	76.0%	70.0%	
(1 2)	星の集まりと動き	96.6%	80.0%	

※ ―― は設定通過率±10%を示している。

小学校 4年 理科

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (223校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	平均 通過率
100%	42	63	64	56	8	21	25	106	10	21	16	116	
90～100%	80	77	105	75	11	21	23	100	4	31	25	92	37
80～90%	53	59	43	64	24	48	73	15	30	64	62	13	117
70～80%	30	15	8	17	57	51	60	2	55	63	58	2	58
60～70%	4	7	2	6	50	36	24		59	28	38		11
50～60%	6	1	1	4	40	25	15		36	11	15		
40～50%	4	1		1	17	12	2		15	2	7		
30～40%	1				12	7			10	3	2		
20～30%	2				2	1	1		3				
10～20%						1							
0～10%	1				2				1				

小学校 4 年 理科 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

分類 設定通過率の	観 点 別			領 域 別		計
	科学的思考・表現	技 能	知識・理解	物質・エネルギー	生命・地球	
+10% より高い	3	1	2	3	3	6
±10% の範囲内	2	2	2	2	4	6
-10% より低い	0	0	0	0	0	0
計	5	3	4	5	7	12

2 考察

(1) 全体について

12問全てが設定通過率の「+10%より高い」または「±10%の範囲内」である。全体の通過率は82.1であり、学習状況はおおむね良好である。

(2) 成果

①昨年度の課題であった、解答を文で記述する形式の「科学的な思考・表現」の設問では、通過率の平均が81.4であり、指導の改善が図られている。

②「知識・理解」の設問は、通過率の平均が84.8であり、学習内容の定着が図られている。

(3) 課題

①「技能」の設問のうち、方位磁針の操作に関する新問(5の通過率は64.5であり、他の設問に比べて通過率が低い。操作方法について繰り返し指導し、定着を図る必要がある。

②過年度出題の類似問題(9の通過率は64.9であり、昨年より9.2ポイント上昇しているが、依然として課題のある設問である。光電池に当てる光の強さと回路を流れる電流の強さとを関係付けて予想したり、考察したりする学習活動を充実させる必要がある。

3 今後の指導

方位磁針の機能を理解させた上で、操作の手順に沿って繰り返し練習させるとともに、他学年の内容や社会科の学習においても使用する機会を設定する。

【参考 通し番号 (5)】

方いじしんを使って、午後3時の太陽がどの方いにあるのかを調べました。はじめに、はりが自由に動くように方いじしんを水平に持ち、太陽の方向を向いたところ、図2のようになりました。方いを正しく調べるためには、「北」の文字が図3の **ア**～**エ**のどこに合うように方いじしんを回せばよいですか。1つ選んで、 の中に記号を書きなさい。

図2

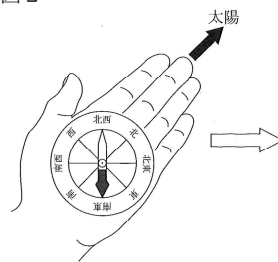
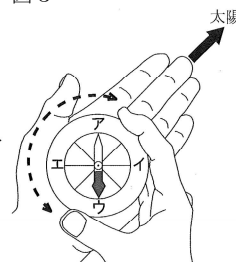


図3



- 例えば、複数の方位磁針を板の上に置き、板を回しても、どの方位磁針の針も南北を指したままで動かない事象を演示したり、一人一人の児童に体験させたりすることを通して、針の色の付いた方はいつも北を指すという方位磁針の機能を実感を伴って理解させる。
- 方位磁針を使って方位を正しく調べるためには、次の3つの手順で操作するように指導し、繰り返し練習させる。
 - ①方位磁針が水平になるように手に持ち、観察対象の方向に体を向ける。
 - ②観察対象の方向に指先を向け、針の動きが止まったら文字盤を回し、針の色の付いた方と文字盤の「北」を合わせる。
 - ③指先の方向にある観察対象の方位を正しく読み取る。
- 児童が体を南に向けたときに、左手は東、右手は西であることを体感を通して捉えさせるとともに、学校の教室や自宅など、一定の場所に立ったときに見える景色と4方位を関連付けて認知させるなど、方位についての空間概念を育てるような手立てを工夫する。

平成26年度小学校学習状況調査 第5学年 理科 評価規準と評価の観点

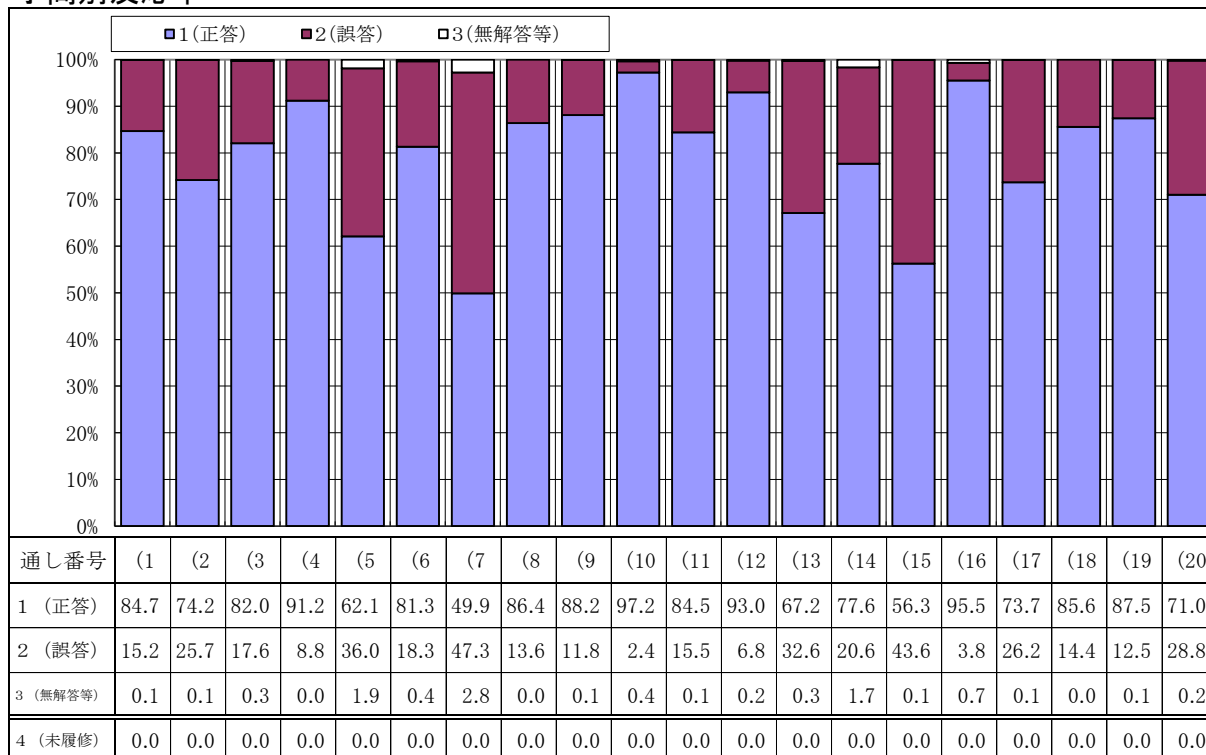
学 年	領 域	内 容	評 価 規 準	通し 番 号	観 点		
					思考 表現	技能	知識 理解
第 4 学 年	A 物 質 ・ エ ネ ル ギ ー	(2)ウ	・0度より低い温度について、温度計の目盛りを適切に読み取っている。	(1)		○	
		(2)ウ	・水の温度が下がり、氷になり始めてから全て氷になるまでの時間について考察している。	(2)	○		
		(2)ウ	・見えない水蒸気の状態変化を、温度の変化と関係付けて理解している。	(3)			○
		(1)イ	・閉じ込めた水は押し縮められないことを理解している。	(4)			○
		(1)ア	・閉じ込めた空気の体積変化を押し返す力と関係付けて考察し、表現している。	(5)	○		
		(2)ア	・金属の温度による体積変化を他の事象へ適用し、考えを表現している。	(6)	○		
		(2)ア	・水は温度によって体積が変化することを考察し、表現している。	(7)	○		
		(2)イ	・アルコールランプを適切に使って実験している。	(8)		○	
		(2)イ	・金属の温まり方の規則性を他の事象へ適用し、考察している。	(9)	○		
		(2)イ	・空気の温まり方を、室内の気温の分布と関係付けて理解している。	(10)			○
第 5 学 年	B 生 命 ・ 地 球	(4)イ	・数日間の雨量情報から、雲の動きの規則性について考察している。	(11)	○		
		(4)イ	・台風による天気の変化の様子を理解している。	(12)			○
		(4)ア	・方位磁針を適切に操作し、雲の方位を観察している。	(13)		○	
		(1)イ	・植物の発芽の条件を捉えるための実験計画を、改善し、表現している。	(14)	○		
		(1)ウ	・植物の成長の条件を捉えるための観察や実験を計画している。	(15)	○		
		(2)ア	・卵からかえったばかりのメダカの腹にある袋には、育つための養分が含まれていることを理解している。	(16)			○
		(2)イ	・顕微鏡を適切な手順で操作し、水中の小さな生物を観察している。	(17)		○	
		(2)イ	・プレパラートを適切に操作し、水中の小さな生物を観察している。	(18)		○	
		(1)エ	・植物の花のつくりを理解している。	(19)			○
		(1)エ	・実験結果から、植物の結実に必要なことを考察し、表現している。	(20)	○		

通し 番号	出題内容	通過率 (%)	設定 通過率 (%)	0%100%
(1)	温度計の読み方	84.7%	80.0%	
(2)	水が状態変化したときの温度変化	74.2%	60.0%	
(3)	水の状態変化	82.0%	75.0%	
(4)	力を加えたときの閉じ込めた水の体積変化	91.2%	80.0%	
(5)	閉じ込めた空気の体積と押し返す力の関係	62.1%	60.0%	
(6)	金属の温度による体積変化	81.3%	70.0%	
(7)	水の温度による体積変化	49.9%	60.0%	
(8)	アルコールランプの使い方	86.4%	80.0%	
(9)	金属の温まり方	88.2%	80.0%	
(10)	空気の温まり方	97.2%	80.0%	
(11)	天気の変化の規則性	84.5%	80.0%	
(12)	台風による天気の変化	93.0%	80.0%	
(13)	方位磁針の使い方	67.2%	75.0%	
(14)	インゲンマメの発芽と水	77.6%	60.0%	
(15)	インゲンマメの成長に必要な条件を調べる実験計画	56.3%	75.0%	
(16)	卵からかえったばかりのメダカの養分	95.5%	80.0%	
(17)	顕微鏡の操作手順	73.7%	70.0%	
(18)	顕微鏡での物の見え方	85.6%	75.0%	
(19)	花のつくり	87.5%	80.0%	
(20)	受粉と結実	71.0%	60.0%	

※「——」は設定通過率±10%を示している。

小学校 5年 理科

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (223校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	平均通過率
100%	33	33	42	60	10	41	7	45	48	130	38	67	10	25	6	104	15	50	45	18	
90～100%	42	40	54	98	9	61	2	76	68	87	63	104	9	35	2	96	31	60	71	21	15
80～90%	83	47	63	53	34	62	8	52	80	6	68	47	49	71	7	13	65	75	69	51	126
70～80%	42	37	35	10	47	26	19	32	20		32	4	51	45	29	6	46	30	26	49	64
60～70%	13	32	15	2	39	19	32	9	3		15		51	20	68	1	35	6	8	43	18
50～60%	8	16	9		45	6	54	3	3		6	1	32	18	51	2	15	2	3	29	
40～50%	1	11	4		14	6	43	5			1		17	6	39	1	12		1	8	
30～40%	1	5	1		16	2	43	1					2	1	12		2			3	
20～30%		1			7		9							2	7		1				
10～20%							4								2		1				
0～10%		1			2		2		1				2								

小学校 5 年 理科 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

分類 設定通過率の	観 点 別			領 域 別		計
	科学的思考・表現	技 能	知 識 ・ 理 解	物質・エネルギー	生命・地球	
+10% より高い	4	1	4	4	5	9
±10% の範囲内	3	4	2	5	4	9
-10% より低い	2	0	0	1	1	2
計	9	5	6	10	10	20

2 考察

(1) 全体について

- ①20問中18問が設定通過率の「+10%より高い」または「±10%の範囲内」であり、学習状況はおおむね良好である。
- ②学習で得られた科学的な概念を他の事象へ適用したり、条件に着目して観察・実験の計画を立てたり、結果からいえることを考察したりする設問の通過率の平均は66.3と低く、指導の改善を一層図る必要がある。

(2) 成果

- ①過年度出題の類似問題については、8問中7問で通過率が上昇しており、指導の改善が図られている。
- ②知識・理解に関する設問の通過率の平均は90.9であり、学習内容の定着が図られている。

(3) 課題

- ①通し番号(7のように、学習したことを他の事象へ適用させて考える設問の通過率が低く、指導を一層充実させる必要がある。
- ②通し番号(15のように、条件に着目して観察・実験の計画を立てる設問の通過率が低い。予想を検証するための観察・実験であることを意識させ、結論までの見通しをもたせる工夫が必要である。

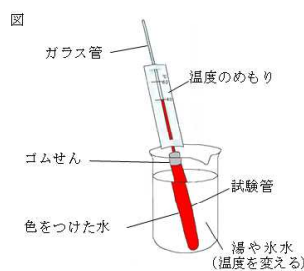
3 今後の指導

学習で得られた科学的な概念を他の事象へ適用して考えさせる指導の手立てを工夫する。

- ・問題解決を通して得られた結論を日常生活の他の事象に適用させて考える活動を設定したり、学習内容と関連のある身近な事象を掲示物等で紹介したりして、学習したことが日常生活に生かされていることを実感できるようにする。
- ・問題解決を通して得られた結論を利用したものづくりや体験活動を単元の指導計画に意図的に組み入れる。

【参考】小学校第5学年 通し番号(7)

春夫さんは、ガラス管がついたゴムせんと試験官を使って、図のような温度計をつくりました。〈しくみ〉の説明が正しくなるように、㊦に当てはまる内容を「温度」という言葉を使って、□の中に書きなさい。



【春夫さんのノート】 〈作り方〉

赤インクで色をつけた水を試験管に入れ、ガラス管がついたゴムせんを試験管にふたをしました。次に、いろいろな温度の水に色水が入っている試験管を入れて、しばらくしてから、色水の水面の位置に、それぞれの温度の目もりを書き入れました。

〈しくみ〉

水の体積が(㊦)ことを利用して、温度をはかることができます。

観察・実験のねらいを明確にし、結論まで見通しをもたせる指導の手立てを工夫する。

- ・児童が自分の予想に基づいて観察・実験を計画する活動を設定する。その際、「……のような観察・実験をすれば、～となるだろう」と見通しをもてるよう、発問等を工夫する。
- ・観察・実験を計画した後に、変える条件と変えない条件に着目して、ペアやグループになって計画を検討し改善する活動を設定する。
- ・観察・実験は成功させることを目的とせず、自分の予想を検証することを目的とさせ、得られた結果について考察する際は、自分の予想と照らし合わせて考察できるようにする。

平成26年度小学校学習状況調査 第6学年 理科 評価規準と評価の観点

学 年	領 域	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点		
					思考 表現	技能	知識 理解
第 5 学 年	A	(2)ア	・振り子の運動の変化とその要因について、予想したことを基に条件に着目して実験を計画している。	(3)		○	
		(2)ア	・実験で得られたデータを基に、振り子の1往復する時間の求め方を身に付けている。	(4)		○	
		(1)イ	・上皿てんびんの正しい使い方を身に付けている。	(7)		○	
		(1)イ	・物が水に溶ける量を、水の温度や水の量と関係付けて考察している。	(8)	○		
		(3)ア	・電流が流れているコイルは、鉄心を磁化する働きがあることを理解している。	(9)			○
		(3)ア	・電磁石と棒磁石の共通点や相違点を理解している。	(10)			○
	B	(3)イ	・川の上流と下流によって、川原の様子に違いがあることを理解している。	(1)			○
		(3)ア	・土地の傾きと流れる水の速さを関係付けて考察し、流れる水の働きについて表現している。	(2)	○		
		(2)ウ	・胎児が母体内で成長していく過程を理解している。	(5)			○
		(2)ウ	・胎児が母体内で成長する理由を、養分の取り入れ方と関連させて考察し、表現している。	(6)	○		
第 6 学 年	A	(1)ア	・物の燃焼と空気の流れを関係付けながら、物の燃焼の仕組みについて推論し、表現している。	(11)	○		
		(1)ア	・気体検知管の正しい使い方を身に付けている。	(12)		○	
		(1)ア	・物が燃えるとき、気体の体積の割合が変化した結果について考察し、表現している。	(13)	○		
	B	(1)イ	・ヨウ素液が反応したときは、でんぷんが含まれていることを理解している。	(14)			○
		(1)イ	・だ液のでんぷんに対する働きについて実験結果と関連させて推論し、表現している。	(15)	○		
		(1)エ	・体内には、生命を維持するための様々な臓器があることを理解している。	(16)			○
		(2)ア	・植物の成長をでんぷんをつくる働きと関連させながら、植物のからだのつくりについて考えたことを表現している。	(17)	○		
		(3)イ	・動物が他の生物を食べる理由を、養分の取り方と関連させて考察し、表現している。	(18)	○		
		(5)ア	・月の形の見え方は、太陽と月の位置関係によって変わることを考察し、表現している。	(19)	○		
		(5)ア	・方位磁針を適切に使って、月の方位を調べている。	(20)		○	

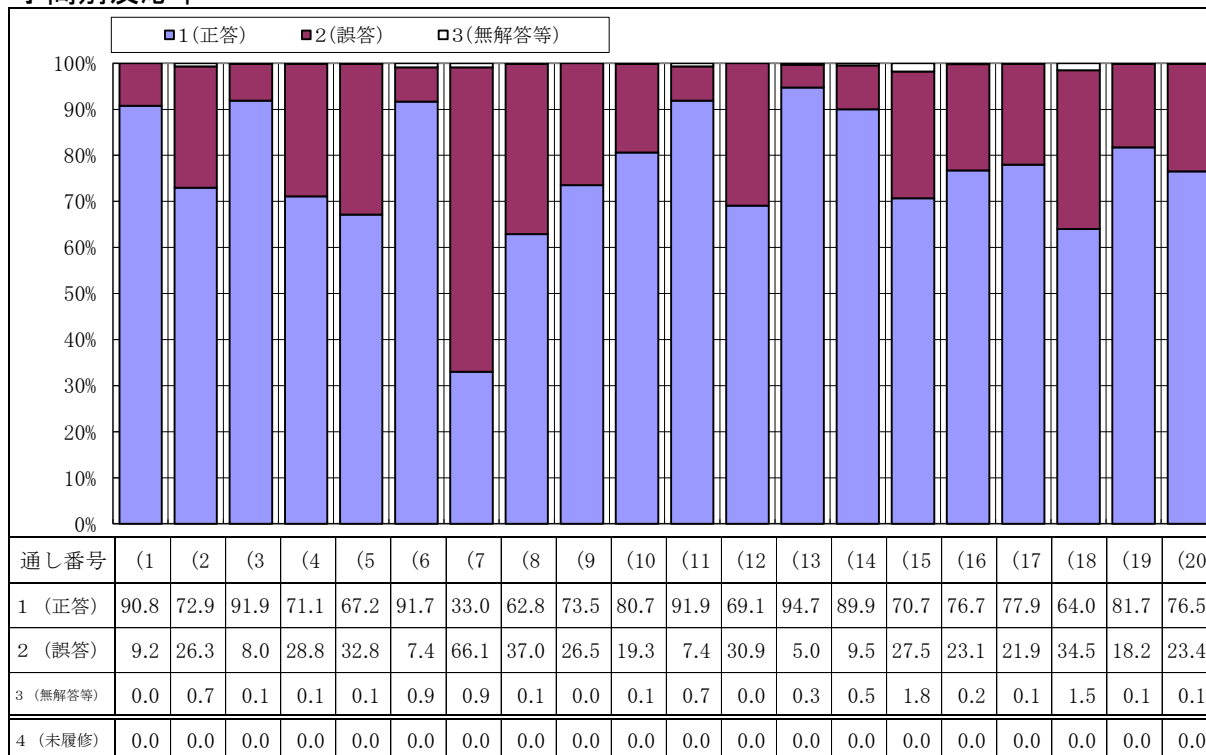
※領域のAは「物質・エネルギー」、Bは「生命・地球」を示している。

通し 番号	出題内容	通過率 (%)	設定 通過率 (%)	0%100%
(1)	川の流域と川原の様子の変化	90.8%	80.0%	
(2)	土地の傾きと流れる水の速さの関係	72.9%	65.0%	
(3)	振り子の規則性を調べる実験の計画	91.9%	80.0%	
(4)	振り子の1往復する時間の求め方	71.1%	60.0%	
(5)	人の発生	67.2%	75.0%	
(6)	母体内での人の養分の取り方	91.7%	75.0%	
(7)	上皿てんびんの使い方	33.0%	75.0%	
(8)	物の溶け方の規則性	62.8%	70.0%	
(9)	電磁石の性質	73.5%	70.0%	
(10)	電磁石と棒磁石の性質の比較	80.7%	70.0%	
(11)	物の燃焼の仕組み	91.9%	70.0%	
(12)	気体検知管の使い方	69.1%	75.0%	
(13)	物の燃焼と空気の変化	94.7%	85.0%	
(14)	ヨウ素液の反応とでんぷんの有無	89.9%	85.0%	
(15)	だ液の働き	70.7%	70.0%	
(16)	体内の様々な臓器	76.7%	80.0%	
(17)	植物の成長と日光	77.9%	65.0%	
(18)	生き物どうしのつながり	64.0%	70.0%	
(19)	月の形の変化	81.7%	70.0%	
(20)	方位磁針の使い方	76.5%	75.0%	

※—— は設定通過率±10%を示している。

小学校 6年 理科

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (223校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	平均通過率
100%	62	20	56	17	7	76	7	3	17	20	81	9	93	53	13	18	26	11	28	24	
90～100%	81	25	106	29	17	86	11	2	25	32	89	16	99	90	28	27	55	19	48	28	14
80～90%	63	66	54	47	44	42	9	24	50	84	38	45	25	62	59	65	49	24	65	68	81
70～80%	13	47	3	46	46	14	17	46	53	61	10	37	6	15	39	67	45	53	54	49	97
60～70%	4	36	4	32	51	3	13	64	46	21	5	47		3	33	29	23	37	21	33	28
50～60%		12		32	37	2	13	60	18	3		40			23	12	20	35	6	17	3
40～50%		12		9	14		9	21	8	2		16			14	2	2	19	1	3	
30～40%		3		6	3		14	2	3			11			10	1	2	13		1	
20～30%		1		5	3		29		1			2			4	2		10			
10～20%		1			1		41	1	1									2			
0～10%							59		1								1				

小学校 6 年 理科 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

分類 設定通過率の	観 点 別			領 域 別		計
	科学的思考・表現	技 能	知識・理解	物質・エネルギー	生命・地球	
+10% より高い	4	2	2	4	4	8
±10% の範囲内	5	2	4	4	7	11
-10% より低い	0	1	0	1	0	1
計	9	5	6	9	11	20

2 考察

(1) 全体について

20問中19問が設定通過率の「+10%より高い」または「±10%の範囲内」であり、学習状況はおおむね良好である。

(2) 成果

昨年度通過率の低かった問題について改善が見られる。特に通し番号(17については、昨年度の通過率を約21ポイント上回っており、指導の改善が図られている。

(3) 課題

観察・実験で用いる器具を正しく操作することや、観察・実験の結果を基に考察し表現することに関する指導を一層充実させる必要がある。

3 今後の指導

観察・実験で用いる器具の操作を確実に習得できるよう、指導の手立てを工夫する。

- 正しい操作のイメージがもてるよう、操作のポイントを押さえながら実物を用いて演示する。
- 初めて使用する学年だけでなく、別の学年で使用する際にも、操作の仕方を再度指導する。
- 一人一人が実際に操作する場면을学習過程に位置付ける。
- 操作のポイントに照らして自己評価したり、相互評価したりする場を設定する。

【参考 通し番号(12)】

ろうそくが燃える前の集気びんの中の空気を、酸素用検知管を使って調べたとき、目もりをどのように読めばよいですか。次のア～エから1つ選んで、□の中に記号を書きなさい。

ア 20 イ 21 ウ 22 エ 23

	酸 素 (%)	二酸化炭素 (%)
燃える前	6.0%~24.0%用 	0.03%~1.0%用
燃えた後	6.0%~24.0%用 	0.5%~8.0%用

観察・実験の結果を基に考察し表現する学習活動において、指導の手立てを工夫する。

【参考 通し番号(8)】

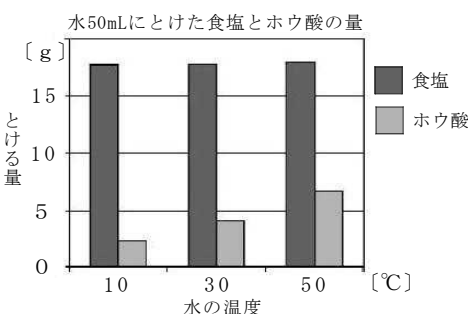
このグラフの結果からいえることとして正しいものは、次のア～エのどれですか。1つ選んで、□の中に記号を書きなさい。

ア 10℃から50℃に水の温度を上げると、とける量のふえ方が大きいのは食塩である。

イ 10gの食塩と10gのホウ酸をそれぞれ50℃の水50mLにとかすとき、残りができるのはホウ酸である。

ウ 50℃の水よう液を全部じょう発させると、とけていたものが多く出てくるのは、ホウ酸である。

エ 50℃の水よう液の温度を10℃になるまで下げていくと、とけていたものが多く出てくるのは食塩である。



- 結果を表やグラフ等を用いて整理させ、複数の事象を比較したり要因と関係付けたりさせるなどし、水に溶ける食塩とホウ酸の量についての共通点や相違点に着目できるようにする。
- 考察の時間を確保し、結果を根拠にして考察させるとともに、科学的な言葉や概念を使って一人一人が表現する活動を計画的に取り入れる。

平成26年度中学校学習状況調査 第1学年 理科 評価規準と評価の観点

学 年	領 域	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点		
					思考 表現	技能	知識 理解
小 学 校 第 6 学 年	A 物質・エネルギー	(4)ウ	・条件を制御しながら、太さの違う電熱線の発熱を比べる実験の方法を考え、表現している。	(1)	○		
		(4)ウ	・実験結果を基に、電熱線の太さと発熱の仕方を関係付けて考え、表現している。	(2)	○		
		(4)エ	・身の回りには、電気の性質や働きを利用した道具があることを理解している。	(3)			○
		(2)イ	・水溶液には固体が溶けているものと、気体が溶けているものがあることを理解している。	(4)			○
		(2)ア	・中性とアルカリ性の水溶液を区別する方法を考え、表現している。	(5)	○		
		(2)ア	・水溶液の性質を調べる方法を理解し、安全に実験する技能を身に付けている。	(6)		○	
		(3)イ	・てこを傾ける働きが、支点から力点や作用点までの距離によって変わることを理解している。	(7)			○
	B 生命・地球	(2)ア	・植物の成長をデンプンをつくる働きと関連させながら、植物の体のつくりについて考えたことを表現している。	(8)	○		
		(4)イ	・火山の噴火によってつくられた地層には、火山灰や多くの穴をもつ石が含まれていることを理解している。	(9)			○
		(4)ア	・地層は各地点を連ねるように広がりをもって分布していることから、地層の様子を推測することができる。	(10)	○		
中 学 校 第 1 学 年	化 学 的 領 域	(2)ア (イ)	・気体の発生方法を理解している。	(11)			○
		(2)ア (イ)	・気体の捕集法などの基本操作を身に付けている。	(12)		○	
		(2)イ (ア)	・水溶液の濃さを質量パーセント濃度で表す方法を理解している。	(13)			○
		(2)ウ (イ)	・エタノールの沸点を調べる実験を安全に行う技能を身に付けている。	(14)		○	
		(2)ウ (イ)	・物質の状態が変化するときの温度の測定を行い、結果の整理の仕方を身に付けている。	(15)		○	
	生 物 的 領 域	(1)ウ (ア)	・植物の体のつくりの特徴を理解している。	(16)			○
		(1)ア (ア)	・顕微鏡を適切に操作して、観察する技能を身に付けている。	(17)		○	
		(1)イ (イ)	・植物の葉の表面の様子や蒸散について理解している。	(18)			○
		(1)イ (イ)	・植物の光合成について調べる実験の技能を身に付けている。	(19)		○	
		(1)イ (イ)	・実験結果から、光合成に必要な条件について考察している。	(20)	○		

中学校 1 年 理科 小問別通過率と設定通過率

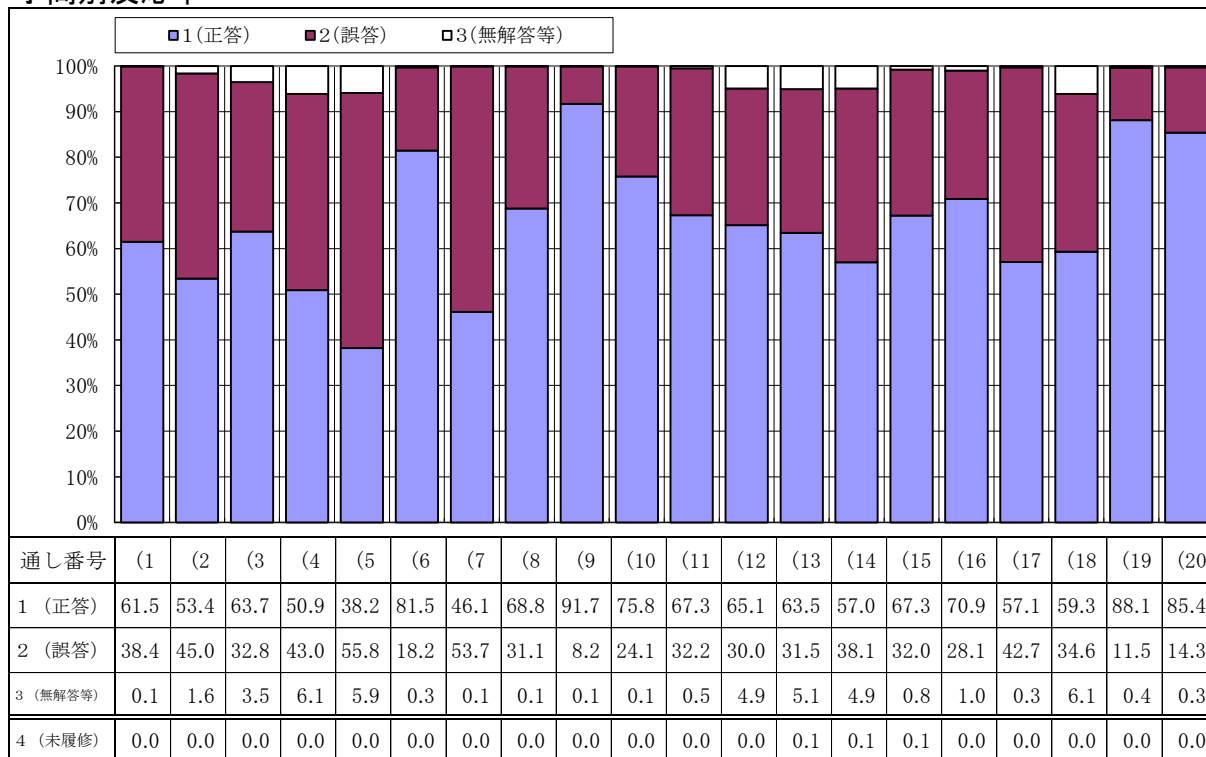
平均通過率 65.6%

通し 番号	出 題 内 容	通過率 (%)	設 定 通過率 (%)	0% 100%
(1)	発熱の実験における変えない条件	61.5%	70.0%	
(2)	電熱線の発熱	53.4%	60.0%	
(3)	電熱線を利用した器具	63.7%	70.0%	
(4)	水溶液に溶けているもの	50.9%	65.0%	
(5)	アルカリ性の性質の調べ方	38.2%	60.0%	
(6)	水溶液の実験における注意点	81.5%	80.0%	
(7)	てこの原理	46.1%	70.0%	
(8)	植物の成長と日光	68.8%	70.0%	
(9)	地層の成因	91.7%	90.0%	
(1 0)	地層の広がり	75.8%	65.0%	
(1 1)	水素の発生	67.3%	75.0%	
(1 2)	気体の捕集方法	65.1%	65.0%	
(1 3)	質量パーセント濃度の理解	63.5%	65.0%	
(1 4)	エタノールを湯煎する理由	57.0%	60.0%	
(1 5)	エタノールの温度変化のグラフ	67.3%	70.0%	
(1 6)	葉脈の様子と根のつくり	70.9%	75.0%	
(1 7)	顕微鏡の使い方	57.1%	65.0%	
(1 8)	蒸散の仕組み	59.3%	65.0%	
(1 9)	葉の緑色の脱色方法	88.1%	90.0%	
(2 0)	光合成の条件	85.4%	70.0%	

※ ―― は設定通過率±10%を示している。

中学校 1 年 理科

小問別反応率



※ 1～3は、4を除いた解答類型1～3の合計に対する割合。4は全体に対する割合。

小問別通過率度数分布表 (121校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	平均通過率
100%	2	2	1			1	1		23	3	3	4	1	1	2	3	1	1	8	3	
90～100%		9	5		1	22		3	63	14	6	4	4	3	22	14		3	51	32	
80～90%	4	16	13	2	1	56		12	30	41	16	19	19	17	30	21	7	14	53	62	5
70～80%	20	19	27	10	5	30	4	43	3	25	32	25	28	17	15	29	16	18	7	18	36
60～70%	44	18	35	23	6	6	13	46	1	14	34	32	22	24	18	33	38	32	2	3	65
50～60%	44	10	19	33	14	5	25	14		13	18	17	30	26	11	13	28	29		1	14
40～50%	2	11	16	37	19		43	2		7	6	11	10	14	8	5	17	18		1	
30～40%	2	23	3	14	46		31			2	5	8	4	14	9	1	9	4			
20～30%	2	10	1	1	25		4			1	1	1		2	2	1	4	1			1
10～20%		2			3								1	1	1						
0～10%	1	1	1	1	1	1		1	1	1			1	1	2	1	1	1		1	

中学校 1 年 理科 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

分類 設定通過率の	観 点 別			領 域 別				計
	科学的な思考・表現	技 能	知 識 ・ 理 解	エネルギー・物質	生命・地球	化学	生物	
+10% より高い	2	0	0	0	1	0	1	2
±10% の範囲内	3	6	6	4	2	5	4	15
-10% より低い	1	0	2	3	0	0	0	3
計	6	6	8	7	3	5	5	20

2 考察

(1) 全体について

平均通過率は設定通過率より約5ポイント下回っている。大きく下回っている学習内容に係る問題を中心に指導の改善を図る必要がある。

(2) 成果

昨年度の課題として出題した問題のうち、9問中8問が昨年度の通過率を上回っている。また、それらの問題の通過率の平均も昨年度の59.4から70.6となり、指導の改善が図られている。

(3) 課題

- ①予想や仮説を確かめる観察・実験を計画したり、知識・技能を日常生活の中に見られる事物・現象と関連付けて考察したりする設問の通過率が低い。
- ②既習事項を活用して基礎的・基本的な内容を適切に文章で説明する活動を日々の授業に取り入れるなど、指導の手立てを一層工夫する必要がある。

3 今後の指導

予想や仮説を検証するための観察・実験の方法を生徒に計画させ、検討や改善を図りながら、目的意識をもって観察・実験を行うことができるよう指導の手立てを工夫する。

- ・学習課題から自分なりの予想や仮説を立て、観察・実験を行う際に、どのような方法で調べ、その結果がどのようになれば仮説が正しいといえるのかを考えさせるなど、解決への見通しをもたせつつ検証計画を立案させる。
- ・(5の設問において、アルカリ性の水溶液を区別する方法を考えさせる際には、既習事項を生かして適した方法を選択できるようにするなど、基礎的・基本的な学習内容を活用して考える活動を設定することが大切である。

【参考 通し番号(5)】

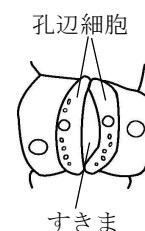
食塩水が中性、石灰水がアルカリ性であることの違いから2つの水溶液を区別するとき、どのような**方法**で調べ、どのような**結果**になると、「この水溶液は石灰水である」と言えますか。**方法と結果**をそれぞれ書きなさい。

基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図り、自然の事物・現象について考えたり、科学的な言葉や概念を用いて説明したりする言語活動を充実させる。

- ・観察や実験の結果を基にした考察やまとめの場面では、自分の考えを自分の言葉で表現したり、互いに説明し合ったりする活動を充実させる。
- ・(18の設問において、気孔の働きについて説明させる際には、顕微鏡で観察した気孔のつくりの特徴を捉えさせるとともに、光合成や呼吸、蒸散を総合的に関連付けて考えさせるなど、植物の体の仕組みについての科学的な概念を身に付けさせることが大切である。

【参考 通し番号(18)】

ツクサの葉の裏側の表皮を顕微鏡で観察すると、図のように三日月形の孔辺細胞が2つ向かい合わせに並び、その間にすきまが見られました。このすきまですきまで起こる蒸散とは、どのような現象ですか。**すきまの名称**を用いて書きなさい。



平成26年度中学校学習状況調査 第2学年 理科 評価規準と評価の観点

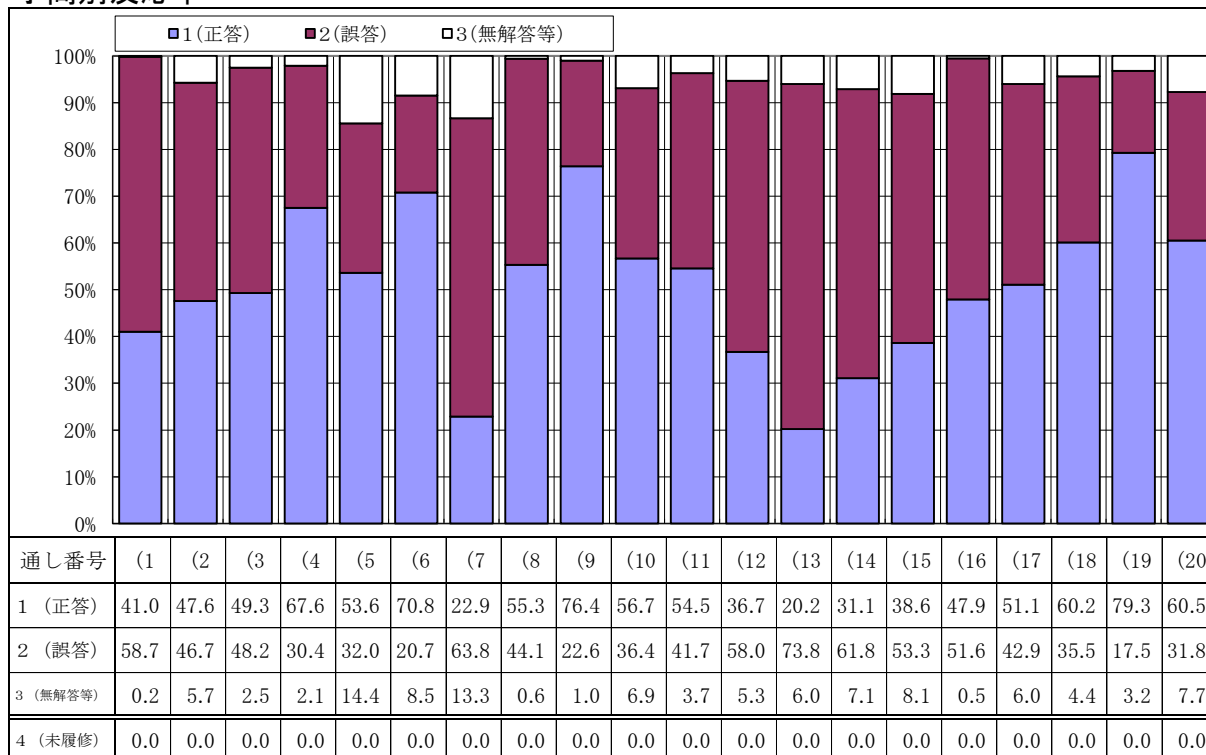
学 年	領 域	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点		
					思考 表現	技能	知識 理解
第 1 学 年	物 理 的 領 域	(1)ア (イ)	・凸レンズによる実像の位置や大きさについて理解している。	(1)			○
		(1)ア (イ)	・上半分をおおった凸レンズによる実像の明るさを光の量と関連付けて考え、表現している。	(2)	○		
		(1)ア (ウ)	・音の大きさと振幅の関係及び音の高さと振動数の関係を音の波形として表す技能を身に付けている。	(3)		○	
		(1)イ (ア)	・ばねに加わる重力を力の矢印で表す技能を身に付けている。	(4)		○	
		(1)イ (ア)	・ばねに加える力の大きさとばねののびの関係を見だし、ばねののびから力の大きさを推定している。	(5)	○		
	地 学 的 領 域	(2)イ (ア)	・地層の重なりにおける断層について理解している。	(6)			○
		(2)イ (ア)	・地層の褶曲について理解し、その成因について説明している。	(7)			○
		(2)ア (イ)	・初期微動継続時間について理解し、地震計の記録を示したグラフから読み取っている。	(8)			○
		(2)ア (イ)	・地震計の記録を示したグラフから、地震が発生した時刻を推定している。	(9)	○		
		(2)ア (イ)	・地震の原因をプレートの動きと関連付けて図や言葉で説明している。	(10)	○		
第 2 学 年	化 学 的 領 域	(4)ウ (イ)	・物質の酸化による質量変化を示した表を基に、実験結果を適切にグラフに表している。	(11)		○	
		(4)ウ (イ)	・銅と酸素が結びつく化学変化を、化学反応式で表している。	(12)			○
		(4)ウ (イ)	・原子の質量について、化学変化において結びつく原子の割合を基に推定している。	(13)	○		
		(4)ウ (イ)	・質量保存の法則について理解し、実験結果に当てはめて計算している。	(14)			○
		(4)イ (ウ)	・化学カイロのしくみを理解し、実験結果を解釈して表現している。	(15)	○		
	生 物 的 領 域	(3)ア (ア)	・顕微鏡を適切に操作して、観察する技能を身に付けている。	(16)		○	
		(3)ア (ア)	・細胞を観察するためのプレパラートの作り方を理解している。	(17)			○
		(3)ア (ア)	・動物の細胞のつくりを植物の細胞と比較して表現している。	(18)	○		
		(3)イ (ア)	・メダカの呼吸と水草の光合成について理解している。	(19)			○
		(3)ウ (ア)	・両生類の親と子の生活場所の変化について、セキツイ動物の進化と関連付けて表現している。	(20)	○		

通し 番号	出 題 内 容	通過率 (%)	設 定 通過率 (%)	0%100%
(1)	凸レンズによる実像の位置と大きさ	41.0%	65.0%	
(2)	凸レンズによる像の明るさ	47.6%	60.0%	
(3)	同じ高さで大きな音の波の形	49.3%	60.0%	
(4)	力の矢印の作図	67.6%	75.0%	
(5)	ばねののびと力の大きさ	53.6%	60.0%	
(6)	断層についての理解	70.8%	80.0%	
(7)	褶曲についての理解	22.9%	70.0%	
(8)	初期微動継続時間の理解	55.3%	80.0%	
(9)	地震が発生した時刻の推定	76.4%	80.0%	
(1 0)	地震の原因とプレートの動きの関係	56.7%	60.0%	
(1 1)	金属の質量と化合した酸素の質量との関係を表すグラフの作成	54.5%	60.0%	
(1 2)	銅が酸化する化学変化の化学反応式	36.7%	70.0%	
(1 3)	化学変化と原子の質量	20.2%	60.0%	
(1 4)	質量保存の法則についての理解	31.1%	75.0%	
(1 5)	化学カイロの仕組み	38.6%	60.0%	
(1 6)	顕微鏡の使い方	47.9%	85.0%	
(1 7)	細胞観察のときに染色する理由	51.1%	80.0%	
(1 8)	動物の細胞	60.2%	70.0%	
(1 9)	魚類の呼吸と水草の光合成	79.3%	80.0%	
(2 0)	両生類の生息場所とセキツイ動物の進化	60.5%	70.0%	

※ ―― は設定通過率±10%を示している。

中学校 2年 理科

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (122校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	平均通過率
100%				5		3		1	4	2	2						1	1	4	4	
90～100%		1		5		10	1	1	10	2						1	5	2	29	3	
80～90%	3	7		30	5	35	2	4	37	15	12				1	2	7	9	36	15	
70～80%	2	8	12	26	11	25		8	47	18	14	5		1	2	8	21	26	29	23	2
60～70%	12	17	23	31	26	25	3	27	15	26	27	10		3	10	21	16	35	15	31	25
50～60%	14	31	28	10	44	17	7	52	8	27	34	20	3	8	20	24	21	21	6	16	49
40～50%	34	22	29	4	25	4	10	18	1	15	15	17	7	17	29	32	15	18	2	12	41
30～40%	36	17	19	4	9	3	14	9		10	11	23	13	37	28	18	18	8		15	4
20～30%	12	11	8	3	1		26	1		4	5	31	34	43	20	13	13			3	1
10～20%	8	6	2	2			41			3	1	12	45	11	8	2	4	1			
0～10%	1	2	1	2	1		18	1			1	4	20	2	4	1	1	1	1		

中学校 2 年 理科 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

分類 設定通過率の	観 点 別			領 域 別				計
	科学的な思考・表現	技能	知識・理解	物理	化学	生物	地学	
+10% より高い	0	0	0	0	0	0	0	0
±10% の範囲内	5	2	2	2	1	3	3	9
-10% より低い	3	2	6	3	4	2	2	11
計	8	4	8	5	5	5	5	20

2 考察

(1) 全体について

- ① 平均通過率が設定通過率より18.9ポイント低く、「-10%より低い」問題が半数以上を占めていることから、指導の一層の改善を図る必要がある。
- ② 「知識・理解」の観点の問題では、「-10%より低い」ものが8問中6問あり、通過率の平均も48.5と低くなっている。基礎的・基本的事項を定着させる指導の手立ての工夫が必要である。

(2) 成果

- ① 昨年度の課題として出題した問題は、9問中8問が昨年の通過率を上回り、通過率の平均も昨年度の41.6から56.1となり、指導の改善が見られる。
- ② 「科学的な思考・表現」の観点の問題は、通過率の平均が昨年度の42.1から51.7となり、改善傾向が見られる。

(3) 課題

- ① 自然の事物・現象を説明するために必要な基礎的・基本的な知識を確実に身に付けることができるよう、実感を伴った理解を促す必要がある。
- ② 観察・実験の結果を分析・解釈して文で表現する設問の通過率が低い。既習事項や生活体験と照らし合わせて考察したことを交流させる場面を日常的に設定するなど、指導の手立てを一層工夫する必要がある。

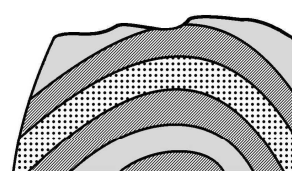
3 今後の指導

基礎的・基本的な知識・技能を、体験を通して身に付けられるよう、指導の手立てを工夫する。

- ・ 科学的な概念について、実感を伴った理解となるよう、直接体験やモデル化した実験を通した指導を行う。
- ・ (7の設問において、地層のしゅう曲の成因について理解させる際には、実際の地層の観察や視聴覚教材を基にして学習を進めるようにする。地層のように直接実験することができない事象については、異なる色の粘土やスポンジ等を積み重ねた物を左右から押しつけるなどのモデル実験を通して、その成因について実感を伴った理解を促すことが大切である。

【参考 通し番号(7)】

- 図の地層について、ひろしさんは水平に堆積しているはずの地層が曲がっていることを次のように考えました。ひろしさんが考えた次の文が正しくなるよう、Xに当てはまる内容を書きなさい。



図のような地層の曲がりをしゅう曲といい、地層がいちど水平に堆積した後、その地層を 力がはたらいてできる。

観察・実験の結果から分析し解釈したことを、既習事項や生活経験と関連させて説明し合ったり、検討し合ったりするなどの言語活動を充実させる。

- ・ 観察・実験の結果を基に、一人一人が考察したことを交流させ、事象について様々な視点での気づきを大切にする学習を展開する。
- ・ (19の設問において、ペットボトルがつぶれた理由を考察させる際には、容器内の気体の体積変化について、鉄粉と容器内の酸素が結びつく化学変化を根拠として考えることができるように、考察の視点を示すことが大切である。

【参考 通し番号(15)】

- ペットボトルの容器に鉄粉18g、活性炭9g、食塩水1g、温度を入れ、ふたをして振り混ぜた。しばらくおいたところ、容器内の温度計は55℃を示し、図のようにペットボトルが少しつぶれていました。それはなぜですか、書きなさい。



4 結果と考察 (5)英語

平成26年度中学校学習状況調査 第1学年 英語 評価規準と評価の観点

学 年	領 域	内 容	評 価 規 準		通 し 番 号	観 点		
						表 現	理 解	知 識 ・ 理 解
第 1 学 年	聞 く こ と	ア (イ)	[正確な 聞き取り]	・短い英文を聞いて正しく内容を聞き取ることができる。	(1		○	
		ア (オ)	[適切な 聞き取り]	・まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を聞き取ることができる。	(2 (3 (4 (5		○	
		ア (ウ)	[適切な 聞き取り]	・質問を聞いて適切に応じることができる。	(6 (7		○	
	読 む こ と	ウ (ウ)	[正確な 読み取り]	・書かれた内容について正しく読み取ることができる。	(8 (9		○	
		ウ (ウ)	[正確な 読み取り]	・話の流れを理解し、文章を的確に読み取ることができる。	(10		○	
		ウ (エ)	[適切な 読み取り]	・書かれた内容を読んで、適切に応じることができる。	(11		○	
		ウ (エ)	[言語について の知識・理解]	・場面や状況にふさわしい表現に関する知識を身に付けている。	(12 (13			○
	書 く こ と	エ (イ)	[正確な筆記]	・語句や表現、文法事項などの知識を活用して、正しく書くことができる。	(14 (15 (16	○		
		エ (オ)	[適切な筆記]	・自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように書くことができる。	(17	○		
		エ (イ)	[言語について の知識・理解]	・文構造についての知識を身に付けている。。	(18 (19 (20			○

中学校 1 年 英語 小問別通過率と設定通過率

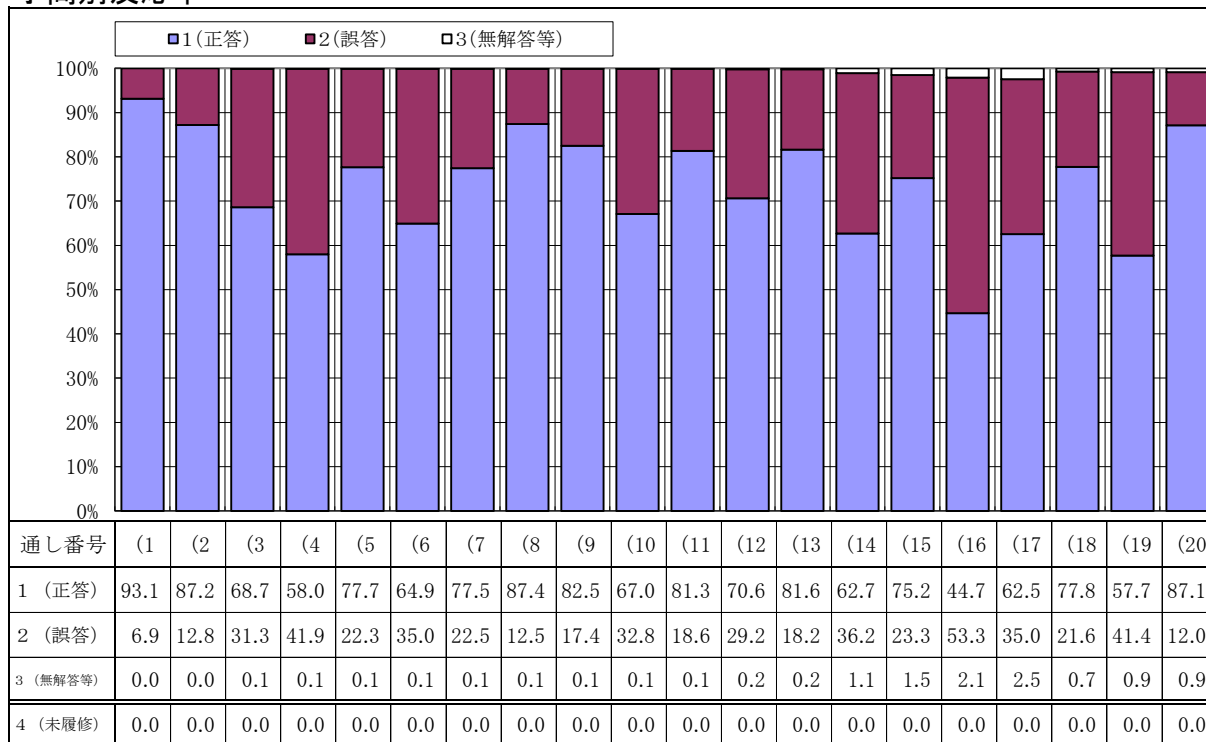
平均通過率 73.3%

通し 番号	出 題 内 容	通過率 (%)	設 定 通過率 (%)	0% 100%
(1)	(聞) 飼っている動物についての聞き取り	93.1%	90.0%	
(2)	(聞) バスケットボールを練習する曜日の聞き取り	87.2%	90.0%	
(3)	(聞) 持っている日本語の本の数の聞き取り	68.7%	85.0%	
(4)	(聞) CDを持っているかどうかについての聞き取り	58.0%	70.0%	
(5)	(聞) 演奏する楽器についての聞き取り	77.7%	70.0%	
(6)	(聞) 荷物に関する質問への適切な応答	64.9%	75.0%	
(7)	(聞) 朝食に関する質問への適切な応答	77.5%	75.0%	
(8)	(読) 飼っている犬に関する説明の読み取り	87.4%	70.0%	
(9)	(読) 公園の案内板の読み取り	82.5%	70.0%	
(10)	(読) 3人の会話文の読み取り	67.0%	75.0%	
(11)	(読) メモの読み取り	81.3%	70.0%	
(12)	(読) 適切な会話の構成	70.6%	90.0%	
(13)	(読) 適切な会話の構成	81.6%	80.0%	
(14)	(書) 三人称単数の主語に対応した現在形の一般動詞	62.7%	60.0%	
(15)	(書) 疑問詞 (What) の文	75.2%	60.0%	
(16)	(書) 三人称の否定文	44.7%	60.0%	
(17)	(書) 手紙の内容に関する質問	62.5%	60.0%	
(18)	(書) How manyを含む文の文構造	77.8%	70.0%	
(19)	(書) 形容詞+名詞を含む文の文構造	57.7%	60.0%	
(20)	(書) 一般動詞の疑問文を含む文の文構造	87.1%	75.0%	

※ ―― は設定通過率±10%を示している。

中学校 1 年 英語

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (121校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	平均通過率
100%	22	10	2	1	2	2	4	5	4		2	2	3	4	3	1	3	5	2	18	
90～100%	78	40	4	3	22	3	22	37	24	1	11	2	16	2	19		3	16	4	44	2
80～90%	19	56	20	5	37	11	40	66	51	9	56	16	55	13	42	2	16	42	16	34	21
70～80%	1	12	35	23	30	21	25	8	39	32	41	51	34	24	21	3	24	31	21	16	58
60～70%	1	1	41	23	21	45	14	4	3	50	10	36	9	34	8	15	31	16	26	5	35
50～60%			13	34	8	28	8	1		21	1	11	3	20	17	27	27	7	19	3	5
40～50%		1	4	20	1	6	5			6		2		16	7	29	11	2	7	1	
30～40%			2	8		3	1			1		1		7	2	22	5	1	6		
20～30%				1		1	1							1	1	17			11		
10～20%				2												4	1		7		
0～10%		1		1		1	1			1			1		1	1		1	2		

中学校 1 年 英語 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

分類 設定通過率の	観 点 別			領 域 別			計
	表現の能力	理解の能力	知識・理解	聞くこと	読むこと	書くこと	
+10%より高い	1	3	1	0	3	2	5
±10%の範囲内	2	5	3	4	2	4	10
-10%より低い	1	3	1	3	1	1	5
計	4	11	5	7	6	7	20

2 考察

(1) 全体について

- ①「表現の能力」の学習状況は、「正確な筆記」に課題が見られる。
- ②「理解の能力」の学習状況は、特に「聞くこと」において課題が見られる。
- ③「言語についての知識・理解」に課題が見られる。

(2) 成果

- ①「読むこと」の学習状況は概ね良好である。書かれた内容について正確に読み取ったり、適切に応じたりする力が付いている。
- ②「書くこと」の学習状況は概ね良好である。特に、疑問詞を含む疑問文の文構造についての知識が身に付いている。

(3) 課題

- ①「聞くこと」において、特にスピーチの内容について情報を正しく理解したり、短い会話の内容についての質問に正しく答えたりする力が十分に身に付いていない。
- ②「書くこと」において、特に会話の内容について読み取ったことを、文法事項（三人称単数現在形を用いた否定文）を活用しながら正しく書く問題について課題が見られる。文法事項の理解、得た情報を発信に結び付ける力が不足している。

3 今後の指導

文法については、コミュニケーションを支えるものであることを踏まえ、言語活動と効果的に関連付けて指導を行う必要がある。

- 例えば三人称単数現在形の文は、一人称や二人称の文の平叙文や疑問文などの関連のある事項をまとまりをもって整理したり、友達や家族、ALTなど、生徒に身近な人物を取り上げるなどの場面設定を工夫したりするなど、指導の改善を図る。
- 習得した文法事項を実際のコミュニケーションの中で正しく用いることができるようにするために、「聞くこと」や「読むこと」を通して得た情報を、「話すこと」や「書くこと」に結び付けた4技能の統合を図る言語活動の充実が必要である。

「聞くこと」について、情報を正確に聞き取る力を付ける必要がある。

- 外国語活動で学習した内容に関連付けた言語活動を工夫する。
- 事実や出来事などについての必要な情報を正しく理解することができるよう、視聴覚機器を用いるなどして、まとまりのある英語を聞かせたり、スピーチや問答を取り入れたりするなど、英語を聞く場面を多く設定する。

※指導例：(3)

【聞き取った内容のメモを基に人物紹介文を作成する活動】

- ①自己紹介のスピーチで聞き取った内容のメモを取る。
- ②メモを基に人物紹介文を作成する。
- ③クイズ形式で、発表された人物が誰のことであるのかを当てる。

参考：「言語活動の充実に関する指導事例集【中学校版】」
(文部科学省) p131

自己紹介の発表
My name is Yoko.
I live in Teramachi.
I play basketball.
I like dogs, but I don't like cats.

Memo
Name — Yoko
Live — Teramachi
Play — basketball
Like — ○ dogs
× cats

人物紹介文の作成・発表
My friend plays basketball.
She likes dogs.
But she doesn't like cats.
She lives in Teramachi.
Who is she?

平成 26 年度中学校学習状況調査 第 2 学年 英語 評価規準と評価の観点

学 年	領 域	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点		
					表 現	理 解	知 識 ・ 理 解
第 2 学 年	聞 く こ と	ア (イ)	[正確な 聞き取り]	・短い英文を聞いて正しく内容を聞き取ることが できる。	(1	○	
		ア (オ)	[適切な 聞き取り]	・まとまりのある英語を聞いて、概要や要点 を聞き取ることができる。	(2 (3 (4 (5	○	
		ア (ウ)	[適切な 聞き取り]	・質問を聞いて適切に応じることができる。	(6 (7	○	
	読 む こ と	ウ (ウ)	[正確な 読み取り]	・書かれた内容について正しく読み取ること ができる。	(8 (9	○	
		ウ (エ)	[適切な 読み取り]	・書かれた内容について大切な部分を読み取 り、適切に応じることができる。	(10 (11	○	
		ウ (ウ)	[正確な 読み取り]	・話の流れを理解し、文章を的確に読み取る ことができる。	(12 (13		○
	書 く こ と	エ (イ)	[正確な筆記]	・語句や表現、文法事項などの知識を活用し て、正しく書くことができる。	(14 (15	○	
		エ (オ)	[適切な筆記]	・自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく 伝わるように書くことができる。	(16 (17	○	
		エ (イ)	[言語について の知識・理解]	・正しい語順を用いて文を構成する知識を身 に付けている。	(18 (19 (20		○

中学校 2 年 英語 小問別通過率と設定通過率

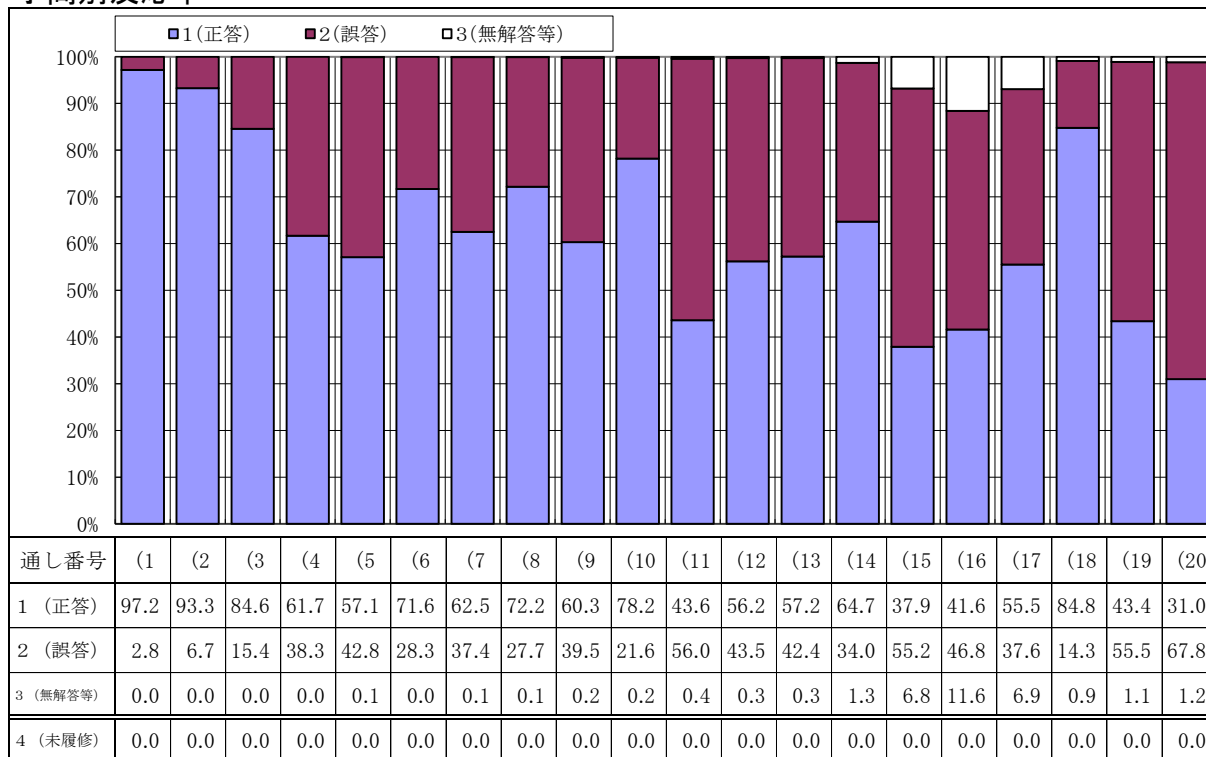
平均通過率 62.7%

通し 番号	出 題 内 容	通過率 (%)	設 定 通過率 (%)	0% 100%
(1)	(聞) 飼っている動物についての聞き取り	97.2%	90.0%	
(2)	(聞) 日本に来た年の聞き取り	93.3%	80.0%	
(3)	(聞) 空手をする曜日の聞き取り	84.6%	70.0%	
(4)	(聞) サッカーをしなかった理由の聞き取り	61.7%	60.0%	
(5)	(聞) 何について話しているかの聞き取り	57.1%	60.0%	
(6)	(聞) 友達への適切な応答	71.6%	65.0%	
(7)	(聞) 店員の質問への適切な応答	62.5%	90.0%	
(8)	(読) 会話文と図表の読み取り	72.2%	80.0%	
(9)	(読) まとまりのある英文の読み取り	60.3%	60.0%	
(1 0)	(読) まとまりのある英文の読み取り	78.2%	80.0%	
(1 1)	(読) 英文を読んだ上での適切な応答	43.6%	75.0%	
(1 2)	(読) 適切な文章の構成	56.2%	65.0%	
(1 3)	(読) 適切な文章の構成	57.2%	65.0%	
(1 4)	(書) 三人称単数の主語に対応した現在形の一般動詞	64.7%	60.0%	
(1 5)	(書) How longを用いた疑問文	37.9%	65.0%	
(1 6)	(書) 楽しんだ内容を相手に伝える表現	41.6%	60.0%	
(1 7)	(書) 英語15語以上のまとまりのある英作文	55.5%	60.0%	
(1 8)	(書) don't have toを用いた文の構造	84.8%	85.0%	
(1 9)	(書) 不定詞の形容詞的用法の構造	43.4%	60.0%	
(2 0)	(書) that節を用いた文の構造	31.0%	75.0%	

※ ―― は設定通過率±10%を示している。

中学校 2年 英語

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (122校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	平均通過率
100%	35	16	7	1		1	2		1	4		1	1	1	1		1	6			
90～100%	82	88	30	1		4	2	2		12				5		1	4	33	1	1	
80～90%	4	16	62	8	2	28	8	21	7	41		3	3	16	3	6	10	54	2	3	3
70～80%		2	19	14	8	38	28	58	17	50	1	11	10	23	4	2	15	22	2	1	17
60～70%			3	46	31	34	37	31	45	12	11	28	33	30	6	8	15	5	11	2	57
50～60%			1	40	50	12	30	6	33	3	22	51	45	30	14	20	24	2	19	4	40
40～50%				10	23	2	10	2	17		44	21	27	8	19	22	26		35	14	5
30～40%				1	5	2	4	1	1		34	6	2	5	30	34	16		34	25	
20～30%					2		1		1		7	1	1	2	26	23	8		14	39	
10～20%				1							1			1	13	4	2		3	25	
0～10%	1				1	1		1			2			1	6	2	1		1	8	

中学校2年 英語 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

分類 設定通過率の	観 点 別			領 域 別			計
	表現の能力	理解の能力	知識・理解	聞くこと	読むこと	書くこと	
+10% より高い	0	2	0	2	0	0	2
±10% の範囲内	2	9	1	4	5	3	12
-10% より低い	2	2	2	1	1	4	6
計	4	13	3	7	6	7	20

2 考察

(1) 全体について

- ①「表現の能力」の学習状況は、特に「書くこと」に課題が見られる。
- ②「理解の能力」の学習状況は、「適切な聞き取り」に課題が見られる。
- ③「言語についての知識・理解」に課題が見られる。

(2) 成果

- ①短い英文を聞いて正しく内容を聞き取ることや、まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を聞き取ることについての学習状況は良好である。
- ②経年比較している問題において、11問中7問で通過率の上昇が見られ、指導の改善が図られている。

(3) 課題

- ①「書くこと」の中で、特に文法事項等の知識を活用して正しく書くことや、正しい語順を用いて文を構成する知識が身に付いていない。特に、that節を用いた英文を正しく並べかえて書くことや、疑問詞で始まる疑問文を正しく書くことに課題が見られる。
- ②「聞くこと」「読むこと」の中で、質問を聞いて適切に応じることや、書かれた内容について大切な部分を読み取り、適切に応じること課題が見られる。

3 今後の指導

文法事項等の知識を活用して正しく書く力を付けるための指導の工夫が必要である。

- ・文法については、コミュニケーションを支えるものであることを踏まえ、言語の使用場面や言語の働きに配慮し、言語活動と効果的に関連付けるなど活用を通して定着を図る。
- ・that節を含む英文については、thatが省略される場合を含めて語順の理解を図るとともに、意味を考えながら適切な動詞を選択できるようにする。また、教科書本文の内容や友達の発表に対して、自分の考えや感想などを述べる場面を意図的に設定して定着を図る。
- ・疑問詞で始まる疑問文の文構造や語法については、他の疑問詞を用いた疑問文と比較対照しながら理解を図り、実際のコミュニケーション場面に結び付けた言語活動を設定したり、繰り返し指導したりして定着を図る。

話し手や書き手の質問や依頼、意向などを理解し、話したり書いたりして適切に応じるための指導の工夫が必要である。

- ・教科書等の本文の内容理解にとどまらず、本文の題材や言語材料を活用して、自分の考えや気持ちを伝え合うなど、4技能を統合的に取り入れた言語活動の充実を図る。
- ・話し手や書き手が伝えたいことや必要な情報を正しく理解させるために、事前に聞き取りのポイントを与えたり、読み取りのヒントとなる語句や表現を示したりする。

※指導例：(15)、(20)

春休みの予定について書かれた英文を基に、その内容や文法事項等の理解を図る活動を取り入れる。その後、友達の発表を聞いて、内容について生徒同士で問答したり感想を述べたりするなど、実際のコミュニケーションを通して文法事項等の定着を図る。

[春休みの予定（高校入試等の英文を参考にして作成する）]

Kazuo is going to visit Hokkaido this spring vacation. He is going to stay with his uncle from March 24 to 28. He'll enjoy seafood and great nature.

<英文の内容に関する対話例>

A: ① _____ is Kazuo going to stay in Hokkaido?

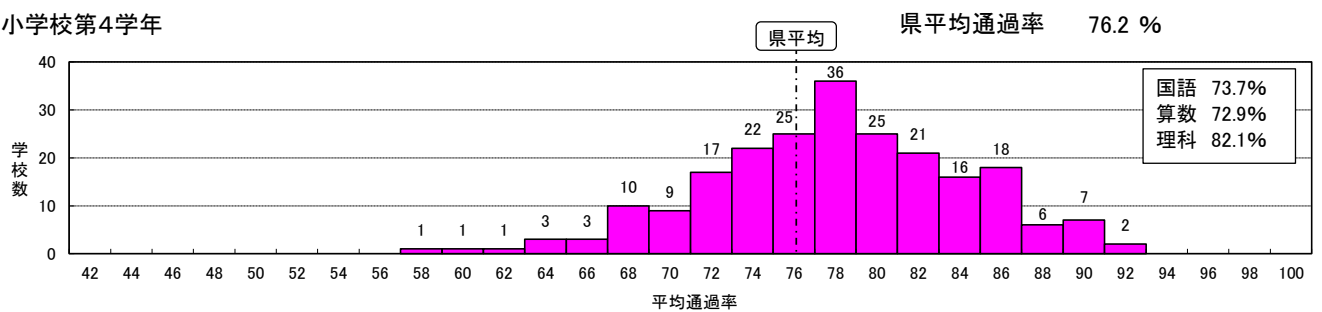
B: For five days. ② [he'll / I / his stay / enjoy / hope /] there.

- (1) 下線部①に適する語句を書く。
- (2) ②について、[]内の語を会話が成立するように並べかえ、英文を完成する。

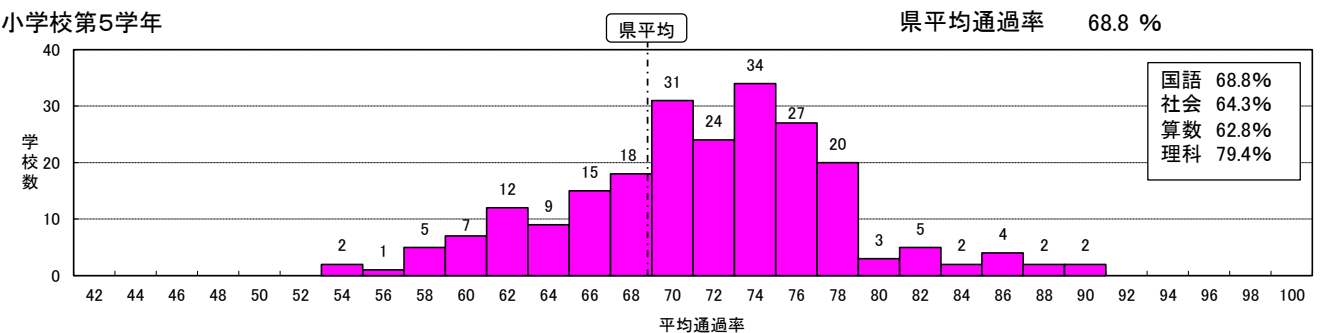
※友達の春休みの予定を聞き、生徒同士で問答したり感想を述べたりする。

5 平均通過率の度数分布グラフ

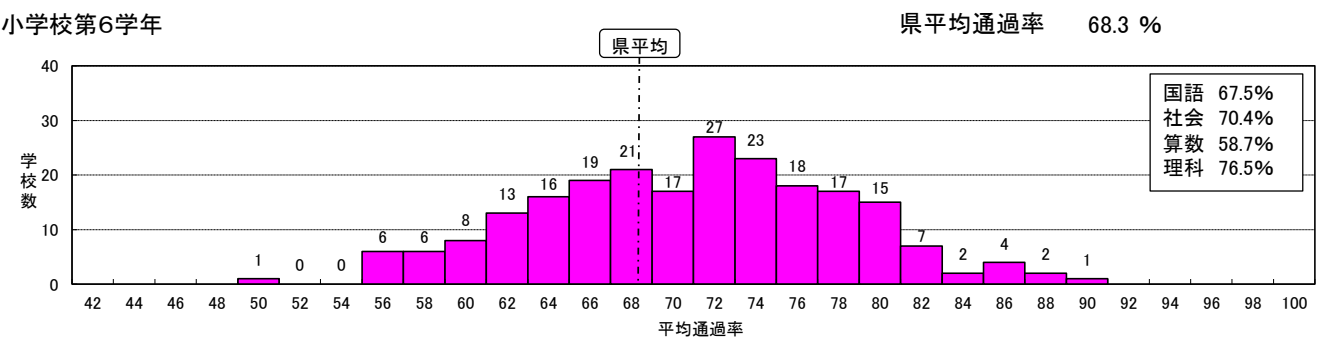
小学校第4学年



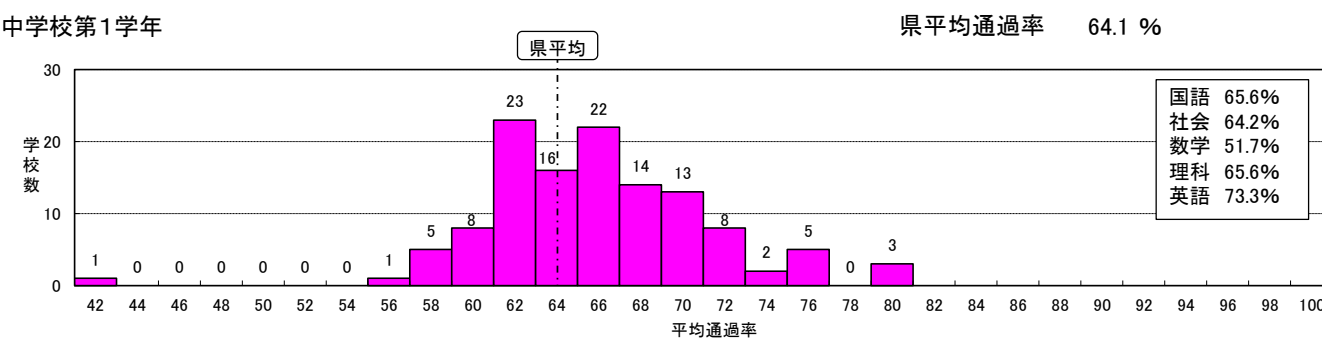
小学校第5学年



小学校第6学年



中学校第1学年



中学校第2学年

